本文

○法律

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル監獄法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
司法大臣　男爵千家尊福

法律第二十八號
監獄法

第一章　總則

第一條　監獄ハ之ヲ左ノ四種トス
一　懲役監　懲役ニ處セラレタル者ヲ拘禁スル所トス
二　禁錮監　禁錮ニ處セラレタル者ヲ拘禁スル所トス
三　拘留場　拘留ニ處セラレタル者ヲ拘禁スル所トス
四　拘置監　刑事被告人及ヒ死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ拘禁スル所トス

拘置監ニハ懲役禁錮又ハ拘留ニ處セラレタル者ヲ一時拘禁スルコトヲ得
警察官署ニ附屬スル留置場ハ之ヲ監獄ニ代用スルコトヲ得但懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ヲ一月以上繼續シテ拘禁スルコトヲ得ス

第二條　二月以上ノ懲役ニ處セラレタル十八歳未滿ノ者ハ特ニ設ケタル監獄又ハ監獄内ニ於テ特ニ分界ヲ設ケタル場所ニ之ヲ拘禁ス

前項ノ規定ニ依ル者ハ滿二十歳ニ至ルマテ又滿二十歳ニ至リタル後三月内ニ刑期終了ス可キ者ハ共殘刑期間仍ホ繼續シテ之ヲ拘禁スルコトヲ得

第三條　監獄ニ男監及ヒ女監ヲ設ケ之ヲ分隔ス

懲役監禁錮監拘留場及ヒ拘置監ノ同一區劃内ニ在ルモノハ之ヲ分界ス

第四條　主務大臣ハ少クトモ二年毎ニ一回官吏ヲシテ監獄ヲ巡閲セシムル可シ

判事及ヒ檢事ハ監獄ヲ巡視スルコトヲ得

第五條　監獄ノ參觀ヲ請フ者アルトキハ學術ノ研究其他正當ノ理由アリト認ムル場合ニ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許スコトヲ得

第六條　本法ニ依リ沒入シ又ハ國庫ニ歸屬シタル物ハ之ヲ監獄慈惠ノ用ニ充ツ

第七條　在監者監獄ノ處置ニ對シ不服アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ巡閲官吏ニ情願ヲ爲スコトヲ得

第八條　勞役場ハ之ヲ監獄ニ附設ス

前五條ノ規定ハ之ヲ勞役場ニ準用ス

第九條　本法中別段ノ規定アルモノヲ除ク外刑事被告人ニ適用ス可キ規定ハ死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用シ懲役囚ニ適用ス可キ規定ハ勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十條　本法ハ陸海軍ニ屬スル監獄ニ之ヲ適用セス

第二章　收監

第十一條　新ニ入監スル者アルトキハ令狀又ハ判決書及ヒ執行指揮書其他適法ノ文書ヲ查閲シタル後入監セシムル可シ

第十二條　新ニ入監スル婦女其子ヲ携帶センコトヲ請フトキハ必要ト認ムル場合ニ限リ滿一歳ニ至ルマテ之ヲ許スコトヲ得

監獄ニ於テ分娩シタル子ニ付テモ亦前項ノ例ニ依ル

第十三條　新ニ入監スル者傳染病豫防法ニ依リ豫防方法ノ施行ヲ必要トスル傳染病ニ罹リタルモノナルトキハ之ヲ入監セシメサルコトヲ得

第十四條　新ニ入監スル者アルトキハ其身體及ヒ衣類ノ檢查ヲ爲ス可シ在監中ノ者ニ付キ必要ト認ムルトキ亦同シ

第三章　拘禁

第十五條　在監者ハ心身ノ狀況ニ因リ不適當ト認ムルモノヲ除ク外之ヲ獨居拘禁ニ付スルコトヲ得

心身發育ノ狀況ニ因リ必要ト認ムル者ハ前二項ノ適用ニ付キ年齡ニ拘ハラサルコトヲ得

第三條　監獄ニ男監及ヒ女監ヲ設ケ之ヲ分隔ス

懲役監禁錮監拘留場及ヒ拘置監ノ同一區劃内ニ在ルモノハ之ヲ分界ス

第四條　主務大臣ハ少クトモ二年毎ニ一回官吏ヲシテ監獄ヲ巡閲セシムル可シ

判事及ヒ檢事ハ監獄ヲ巡視スルコトヲ得

第五條　監獄ノ參觀ヲ請フ者アルトキハ學術ノ研究其他正當ノ理由アリト認ムル場合ニ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許スコトヲ得

第六條　本法ニ依リ沒入シ又ハ國庫ニ歸屬シタル物ハ之ヲ監獄慈惠ノ用ニ充ツ

第七條　在監者監獄ノ處置ニ對シ不服アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ巡閲官吏ニ情願ヲ爲スコトヲ得

第八條　勞役場ハ之ヲ監獄ニ附設ス

前五條ノ規定ハ之ヲ勞役場ニ準用ス

第九條　本法中別段ノ規定アルモノヲ除ク外刑事被告人ニ適用ス可キ規定ハ死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用シ懲役囚ニ適用ス可キ規定ハ勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十條　本法ハ陸海軍ニ屬スル監獄ニ之ヲ適用セス

第二章　收監

第十一條　新ニ入監スル者アルトキハ令狀又ハ判決書及ヒ執行指揮書其他適法ノ文書ヲ查閲シタル後入監セシムル可シ

第十二條　新ニ入監スル婦女其子ヲ携帶センコトヲ請フトキハ必要ト認ムル場合ニ限リ滿一歳ニ至ルマテ之ヲ許スコトヲ得

監獄ニ於テ分娩シタル子ニ付テモ亦前項ノ例ニ依ル

第十三條　新ニ入監スル者傳染病豫防法ニ依リ豫防方法ノ施行ヲ必要トスル傳染病ニ罹リタルモノナルトキハ之ヲ入監セシメサルコトヲ得

第十四條　新ニ入監スル者アルトキハ其身體及ヒ衣類ノ檢查ヲ爲ス可シ在監中ノ者ニ付キ必要ト認ムルトキ亦同シ

第三章　拘禁

第十五條　在監者ハ心身ノ狀況ニ因リ不適當ト認ムルモノヲ除ク外之ヲ獨居拘禁ニ付スルコトヲ得

第7423号 本文

第十六條　雜居者ハ在監者ノ罪質性格及犯歴等ヲ斟酌シテ其監房ヲ別ツ

第二十條　第二項及ヒ第三項ノ場合ニ於テハ在監者ノ種類ニ依リ其監房ヲ別ツ

第二十一條　前三項ノ規定ハ工場ニ於ケル就業ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條　刑事訴訟法ニ於テ被告人ニ對スル訴訟行爲ノ代理人ハ其ノ訴訟ニ關シ被告人ニ代リテ之ヲ爲ス

第二十八條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ家長ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　被告人ニ對スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　刑事ニ關スル訴訟行爲ニ付テハ其ノ代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第三十七條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第三十八條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第三十九條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十一條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十二條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十三條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十四條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十五條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十六條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十七條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十八條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第四十九條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第五十條　在監者ノ頭髮鬚髯ハ之ヲ剪ラシムルコトヲ得但刑事被告人ノ

第五十一條　在監者ノ携帯スル物ハ檢査シテ之ヲ領置ス

第五十二條　領置ヲ爲シタル物ハ之ヲ保存ス

第五十三條　保存ノ費用ハ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第五十四條　保存ニ要スル費用ハ領置ヲ爲シタル物ノ價額ヲ超ユルトキハ其超過額ヲ領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ支給ス

第五十五條　領置ヲ爲シタル物ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ還付ス

一　領置ヲ解キタルトキ

二　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ言渡アリタル場合ニ於テ其言渡ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

三　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

四　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

五　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

六　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

七　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

八　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

九　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

十　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

第五十六條　領置ヲ爲シタル物ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ還付ス

一　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ言渡アリタル場合ニ於テ其言渡ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

二　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

三　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

四　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

五　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

六　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

七　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

八　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

九　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

十　領置ヲ爲シタル物ノ所有者ニ對シ刑ノ執行ヲ爲ス場合ニ於テ其執行ニ從ヒ還付ヲ爲スヘキトキ

第五十七條　死亡者ノ遺留物ハ死亡ノ日ヨリ一年內ニ前條ニ掲ケタル者ノ請求ニ因リ相續人、家族又ハ親族ニ之ヲ交付ス

第五十八條　死亡者ノ遺留物ハ死亡ノ日ヨリ一年內ニ前條ニ掲ケタル者ノ請求ニ因リ相續人、家族又ハ親族ニ之ヲ交付ス

第五十九條　逃走者ノ遺留物ハ逃走ノ日ヨリ一年內ニ居所分明セサルトキハ亦同シ

第六十條　逃走者ノ遺留物ハ逃走ノ日ヨリ一年內ニ居所分明セサルトキハ亦同シ

第六十一條　前條ニ掲ケタル者ノ請求ニ因リ相續人、家族又ハ親族ニ之ヲ交付ス

第六十二條　第五十七條乃至第六十條ノ規定ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第六十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ相續人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第六十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第八十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百三十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百四十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百五十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百六十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百七十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十二條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十三條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十四條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十五條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ配偶者又ハ直系ノ親族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十六條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ兄弟姉妹ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ家族ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十八條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ戸主ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十九條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ保佐人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第二百條　在監者ノ死亡ニ關スル訴訟ニ付テハ其ノ法定代理人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

第7423号　本文

第六十二條 懲罰ニ處セラレタル者疾病其他特別ノ事由アルトキハ其懲罰ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

懲罰ニ處セラレタル者改悛ノ狀著シキトキハ其懲罰ヲ免除スルコトヲ得

第十二章 釋放

第六十三條 在監者ノ釋放ハ恩赦、職權アル者ノ命令又ハ刑期ノ終了ニ因リ關係文書ヲ查閱シテ其手續ヲ爲ス可シ

第六十四條 恩赦ヲ受ケ又ハ假出獄若クハ假出場ヲ許サレタル者ハ其裁可狀又ハ許可書ノ監獄ニ達シタル後二十四時間內ニ之ヲ釋放ス

第六十五條 前條ノ場合ヲ除ク外命令ニ因リ釋放ヲ爲ス可キ者ハ命令書ノ監獄ニ達シタル後十時間內ニ之ヲ釋放ス

第六十六條 假出獄又ハ假出場ヲ許サレタル者ヲ釋放スルトキハ之ニ證票ヲ交付ス

第六十七條 假出獄ヲ許サレタル者ハ其期間左ノ規定ヲ遵守ス可シ

一 正業ニ就キ善行ヲ保ツコト

二 警察官署ノ監督ヲ受クルコト但警察官署ハ監獄ノ意見ヲ聽キ他ニ其監督ヲ委任スルコトヲ得

三 住居ヲ轉移シ又ハ十日以上旅行ヲ爲サントスルトキハ監督者ノ許可ヲ請フコト

主務大臣ハ假出獄ヲ許サレタル者ノ帝國外ニ旅行ヲ爲スヲ許スコトヲ得

第六十八條 滿期ノ者ハ其刑期終了ノ翌日午後六時マテニ之ヲ釋放ス

第六十九條 釋放セラル可キ者重キ疾病ニ罹リ監獄ニ於テ醫療中ナルトキハ其請求ニ因リ仍ホ在監セシムルコトヲ得

第七十條 釋放セラル可キ者歸住旅費若クハ相當ノ衣類ヲ有セサルトキ又ハ監獄行政ノ便宜ニ因リ移監セシメタルカ爲メ歸住旅費ノ增加ヲ要スルニ至リタルトキハ衣類又ハ旅費ヲ給與スルコトヲ得

第十三章 死亡

第七十一條 死刑ノ執行ハ監獄內ノ刑場ニ於テ之ヲ爲ス

大祭祝日、一月一日二日及ヒ十二月三十一日ニハ死刑ヲ執行セス

第七十二條 死刑ヲ執行スルトキハ絞首ノ後死相ヲ檢シ仍ホ五分時ヲ經ルニ非サレハ絞繩ヲ解クコトヲ得ス

第七十三條 在監者死亡シタルトキハ之ヲ假葬ス

死體ハ必要ト認ムルトキハ之ヲ火葬スルコトヲ得

死體又ハ遺骨ハ假葬後二年ヲ經テ之ヲ合葬スルコトヲ得

第七十四條 死亡者ノ親族故舊ニシテ死體又ハ遺骨ヲ請フ者アルトキハ何時ニテモ之ヲ交付スルコトヲ得但合葬後ハ此限ニ在ラス

第七十五條 受刑者ノ死體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ解剖ノ爲メ病院、學校又ハ其他ノ公務所ニ之ヲ送付スルコトヲ得

附則

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

監獄則ハ之ヲ廢止ス但懲治人ニ關スル規定ハ當分ノ內仍ホ其效力ヲ有ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル刑法施行法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望
司法大臣 男爵千家尊福

法律第二十九號

刑法施行法

第一條 本法ニ於テ舊刑法ト稱スルハ明治十三年第三十六號布告刑法ヲ謂ヒ他ノ法律ト稱スルハ刑法施行前ニ公布シタル法律及ヒ勅令、布告ニシテ法律ト同一ノ效力ヲ有スルモノヲ謂フ

第二條 刑法施行前ニ舊刑法ノ罪又ハ他ノ法律ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ左ノ例ニ從ヒ刑法ノ主刑ト舊刑法ノ主刑トヲ對照シ刑法第十條ノ規定ニ依リ其輕重ヲ定ム

刑法ノ刑	舊刑法ノ刑
死刑	死刑
無期懲役	無期徒刑
無期禁錮	無期流刑
有期懲役	有期徒刑、重懲役、輕懲役、重禁錮
有期禁錮	有期流刑、重禁獄、輕禁獄、輕禁錮
罰金	罰金
拘留	拘留
科料	科料

第三條 法律ニ依リ刑ヲ加重減輕ス可キトキ又ハ酌量減輕ヲ爲ス可キトキハ加重又ハ減輕ヲ爲シタル後刑ノ對照ヲ爲ス可シ

數罪ヲ犯シタル者ニ付テハ併合罪又ハ數罪俱發ニ關スル規定ヲ適用シタル後刑ノ對照ヲ爲ス可シ

一罪ニ付キ二個以上ノ主刑ヲ併科ス可キトキ又ハ二個以上ノ主刑中其一個ヲ科ス可キトキハ其中ニテ重キ刑ノミニ付キ對照ヲ爲ス可シ併合罪又ハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リ數罪ノ主刑ヲ併科ス可キトキ亦同シ

第四條 刑法施行前舊刑法又ハ他ノ法律ノ規定ニ依リ告訴ヲ待テ論ス可キ罪ヲ犯シタル者ハ刑法ノ規定ニ依リ告訴ヲ要セサルモノト雖モ告訴アルニ非サレハ其罪ヲ論セス

第五條 刑法第六條ニ依リ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用スル場合ニ於テハ剝奪公權、停止公權、監視又ハ罰金ヲ附加ス可キトキト雖モ之ヲ附加セス

第六條 刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ刑法施行ノ前又ハ後ニ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ストキハ左ノ例ニ依ル

一 確定裁判アリタル罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖モ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ニ於テハ其罪ト餘罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

二 確定裁判アリタル罪ニ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用シタルトキト雖モ舊刑法又ハ他ノ法律ニ於テハ其罪ト餘罪トニ付キ數罪俱發ニ關スル規定ニ依ル

第七條 左ニ記載シタル者刑法施行前更ニ刑法ノ有期懲役ニ相當スル刑ニ該ル罪ヲ犯シ刑法施行後其罪ニ付キ裁判ヲ爲ストキハ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ニ於テハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

一 舊刑法又ハ他ノ法律ニ依リ刑法ノ懲役ニ相當スル刑ニ處セラレタル者

二 舊刑法又ハ他ノ法律ニ依リ刑法ノ懲役ニ相當スル刑ニ該ル罪ト同質ノ罪ニ因リ死刑ニ處セラレ其執行ノ免除ヲ得又ハ減刑ニ因リ懲役ニ相當スル刑ニ減輕セラレタル者

刑法第五十六條第三項ノ規定ハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リ處斷セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第八條 刑法施行前ニ犯シタル一罪ト刑法施行後ニ犯シタル一罪又ハ數罪トニ付キ同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ刑法施行前ノ罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用ス可キトキト雖モ其罪ト刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條 刑法施行前ニ犯シタル數罪ト刑法施行後ニ犯シタル一罪又ハ數罪トニ付キ同時ニ裁判ヲ爲ス場合ニ於テ刑法施行前ノ罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用ス可キトキハ數罪俱發ニ關スル規定ニ依リテ定マリタル一ノ重キ罪ト刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ刑法施行前ノ罪ニ刑法又ハ刑法ノ刑名ニ依リ刑ヲ定メタル法令ヲ適用ス可キトキハ其數罪ト刑法施行後ノ一罪又ハ數罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ適用ス

第十條 刑法施行後ニ犯シタル罪ニ付キ確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ其罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖モ確定裁判アリタル罪ト其罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條 刑法施行前ニ犯シタル罪ニ付キ刑法施行後確定裁判アリタル後刑法施行前ニ犯シタル餘罪ニ付キ裁判ヲ爲ス場合ニ於テハ確定裁判アリタル罪ニ舊刑法又ハ他ノ法律ヲ適用シタルトキト雖モ其罪ト餘罪トニ付キ併合罪ニ關スル規定ヲ準用ス

第十二條 第七條第一項各號ニ記載シタル者刑法施行後有期懲役ニ該ル罪ヲ犯シタルトキハ累犯ニ關スル規定ヲ準用ス

第七條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條 刑法施行後ハ舊刑法又ハ舊刑法施行前ノ法令ノ刑ニ處セラレタル者ト雖モ刑ノ執行、假出獄及ヒ時效ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス但罰金又ハ科料ヲ完納スルコト能ハサル者ヲ勞役場ニ留置スル場合ニ於テハ檢事ノ請求ニ依リ裁判所決定ヲ以テ其言渡ヲ爲ス可シ

前項ノ場合ニ於テハ第二條及ヒ明治十四年第八十一號布告第一條ノ例ニ依リ主刑ノ對照ヲ爲ス可シ

舊刑法ノ刑ニ處セラレタル者ノ刑法施行前ニ於ケル時效期間ノ起算及ヒ時效ノ中斷ニ付テハ期滿免除ニ關スル規定ニ從フ

第十四條 刑法施行後ハ舊刑法ノ刑ニ處ス可キ者ト雖モ刑ノ執行猶豫ニ付テハ刑法ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ第二條ノ例ニ依リ主刑ノ對照ヲ爲ス可シ

第十五條 刑法施行前假出獄ヲ許サレタル者及ヒ幽閉ヲ免セラレタル者ニ付テハ刑法施行ノ日ヨリ刑法ノ假出獄ニ關スル規定ヲ準用ス

刑法施行前罰金又ハ科料ヲ納完セサル爲メ輕禁錮又ハ拘留ニ換ヘラレタル者ニ付テハ刑法施行ノ日ヨリ刑法第十八條及ヒ第三十條ノ規定ヲ準用ス但留置ノ日數ハ其執行ノ日ヨリ起算シ刑法第十八條ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條 懲治場留置ノ執行ハ刑法施行後ト雖モ從前ノ例ニ從フ但司法大臣ハ何時ニテモ其留置ヲ解キ又ハ感化院ニ入院セシムルコトヲ得

第十七條 闕席判決ヲ以テ言渡シタル刑ノ時效期間ハ其言渡ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第十八條 剝奪公權、停止公權、監視及附加ノ罰金ノ言渡ハ刑法施行ノ日ヨリ其效力ヲ失フ但既ニ徵收シタル附加ノ罰金ハ之ヲ還付セス

第十九條 他ノ法律ニ定メタル主刑ハ第二條ノ例ニ準シ刑法ノ刑ニ對照シテ之ヲ刑法ノ刑名ニ變更ス但單ニ禁錮トアルハ之ヲ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ變更ス

他ノ法律ノ規定中剝奪公權、停止公權、監視及ヒ附加ノ罰金ニ處ス可キ旨ヲ定メタルモノハ之ヲ廢止ス

第7423号 本文

第二十條　他ノ法律ニ定メタル刑ニ付テハ其期間又ハ金額ヲ變更セス但他ノ法律中特ニ期間又ハ金額ヲ定メサル刑ニ付テハ仍ホ舊刑法總則中期間又ハ金額ニ關スル規定ニ從フ

第二十一條　他ノ法律ニ定メタル刑ヲ加重又ハ減輕ス可キ場合ニ於テハ第二十三條ノ場合ヲ除ク外舊刑法ノ加減例ニ關スル規定ニ依ル

第二十二條　他ノ法律中舊刑法ノ規定ヲ掲ケ又ハ舊刑法ノ規定ニ依リ若クハ之ニ依ラサルコトヲ定メタル場合ニ付キ刑法中其規定ニ相當スル規定アルモノハ刑法ノ規定ニ變更ス

爆發物取締罰則第十條ハ之ヲ廢止ス

第二十三條　前條ノ規定ニ依リ刑法ノ刑ヲ適用ス可キ場合ニ於テハ他ノ法律中刑ノ加重ニ關スル特別ノ規定ハ之ヲ適用セス刑ノ減輕ノ方法ニ付テハ刑法ノ加減例ニ關スル規定ニ從フ

第二十四條　明治二十二年法律第二十八號及ヒ明治二十三年法律第九十九號ハ之ヲ廢止ス

第二十五條　左ニ記載シタル舊刑法ノ規定ハ當分ノ內刑法施行前ト同一ノ效力ヲ有ス

一　第二編第三章第五節
二　第百九十八條乃至第二百條
三　第二編第四章第七節及ヒ第九節
四　第二編第五章第三節
五　第三編第二章第四節

刑法第八條ノ規定及ヒ本法中他ノ法律ニ關スル規定ハ之ヲ前項ノ規定ニ準用ス

第二十六條　左ニ記載シタル罪ハ刑法第二條ノ例ニ從フ

一　軍機保護法ニ掲ケタル罪
二　徵兵令ニ掲ケタル罪
三　明治三十八年法律第六十六號ニ掲ケタル罪
四　通貨及證券模造取締法ニ掲ケタル罪
五　船舶法ニ掲ケタル罪
六　船員法ニ掲ケタル罪
七　船舶職員法ニ掲ケタル罪
八　船舶檢査法ニ掲ケタル罪
九　戶籍法ニ掲ケタル罪
十　郵便法ニ掲ケタル罪
十一　舊刑法中印紙ノ僞造、變造及ヒ其知情使用ニ關スル罪

第二十七條　左ニ記載シタル罪ハ刑法第三條ノ例ニ從フ

一　著作權法ニ掲ケタル罪
二　重要物產同業組合法ニ掲ケタル罪
三　移民保護法ニ掲ケタル罪

第二十八條　人ノ資格其他ノ事項ニ關シ舊刑法ノ刑名又ハ罪別ヲ掲ケタル他ノ法律ノ規定ハ刑法施行ノ爲メ變更セラルルコトナシ

第二十九條　死刑、無期又ハ短期一年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ト看做ス

第三十條　前條ニ該當セサル懲役若クハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕罪ト看做ス

前條ニ該當セサル懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕罪ト看做ス

前條ニ該當セサル懲役ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重禁錮ニ該ル罪ト看做ス

前條ニ該當セサル禁錮ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕禁錮ニ該ル罪ト看做ス

第三十一條　拘留又ハ科料ニ該ル罪ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ違警罪ト看做ス

第三十二條　他ノ法律ニ定メタル罪ニシテ死刑、無期又ハ短期六年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ該ルモノノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十三條　死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

第三十四條　前條ニ記載シタル者及ヒ舊刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ公權ヲ剝奪セラレタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ復權ヲ得タル者ニハ之ヲ適用セス

第三十五條　六年未滿ノ懲役若クハ禁錮又ハ罰金ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕罪ノ刑ニ處セラレタルモノト看做ス

六年未滿ノ懲役ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重禁錮ニ處セラレタルモノト看做ス

六年未滿ノ禁錮ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ輕禁錮ニ處セラレタルモノト看做ス

第三十六條　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者及ヒ舊刑法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ他ノ法律ノ適用ニ付テハ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其執行ヲ受クルコトナキニ至ルマテ公權ヲ停止セラレタルモノト看做ス

第三十七條　他ノ法律中舊刑法第三十一條又ハ第三十三條ノ規定アル爲メ人ノ資格ニ關シ別段ノ規定ヲ設ケサリシ場合ニ付テハ舊刑法第三十一條及ヒ第三十三條ノ規定ハ人ノ資格ニ關シ刑法施行前ト同一ノ效力ヲ有ス

第三十八條　刑事訴訟法第八條ヲ左ノ如ク改ム

第八條　公訴ノ時效ハ左ノ期間ヲ經過スルニ因テ完成ス

一　死刑ニ該ル罪ニ付テハ十五年
二　無期又ハ長期十年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ十年

三　長期十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ七年
四　長期五年未滿ノ懲役若クハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪ニ付テハ三年
五　刑法第百八十五條ノ罪ニ付テハ一年
六　拘留又ハ科料ニ該ル罪ニ付テハ六月

第三十九條　刑事訴訟法第六十二條第三號ヲ左ノ如ク改ム

第三　區裁判所ノ管轄ニ屬スル罪ト思料シタル事件ニ付テハ證據書類ニ意見書ヲ添ヘ之ヲ區裁判所檢事ニ送致ス可シ

第四十條　刑事訴訟法第百二十五條第二號ヲ左ノ如ク改ム

第二　醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人、公證人又ハ此等ノ職ニ在リシ者及ヒ宗教若クハ禱祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リシ者其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル事實ニシテ默祕ス可キモノニ關スルトキ

第四十一條　刑事訴訟法第百二十六條第一項中「刑法第百八十條ニ從ヒ罰金」ヲ「四十圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ改メ同條第二項中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

同法第百三十八條中「刑法第百七十九條ニ從ヒ罰金」ヲ「四十圓以下ノ罰金又ハ科料」ニ改ム

同法第百四十四條第一項中「罰金」ヲ「罰金又ハ科料」ニ改ム

第四十二條　刑事訴訟法第百六十七條第一項ヲ左ノ如ク改メ第三項ヲ削ル

被告事件其裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト思料シタルトキハ公判ニ付スル言渡ヲ爲ス可シ

第四十三條　刑事訴訟法第百七十二條ヲ左ノ如ク改ム

第百七十二條　檢事ハ免訴又ハ管轄違ノ決定ニ對シ抗告ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　刑事訴訟法第二百三十六條中「輕罪、重罪ノ」ヲ削ル

第四十五條　刑事訴訟法第二百四十一條ヲ左ノ如ク改ム

第二百四十一條　裁判所ニ於テ輕罪トシテ受理シタル事件ヲ重罪ナリトスルトキハ其事件ヲ豫審判事ニ送付スル決定ヲ爲ス可シ檢事ノ請求アルトキ亦同シ

被告事件豫審ヲ經タルトキハ公判ヲ止メ受命判事ヲシテ其事件ノ取調ヲ爲シ報告ヲ爲サシムヘシ

受命判事ハ豫審判事ニ屬スル處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　刑事訴訟法第二百六十四條中「更ニ重罪事件トシテ裁判ス可キ旨ノ決定ヲ爲シ」ヲ削ル

第四十七條　刑事訴訟法第三百十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

監獄ニ於テ執行ス可キ二個以上ノ主刑ノ執行ハ其重キモノヲ先ニス但特別ノ事由アルトキハ檢事ハ重キ刑ノ執行ヲ停止シ他ノ刑ノ執行ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條　刑事訴訟法第三百十八條ノ次ニ左ノ二條ヲ加フ

第三百十八條ノ二　死刑ノ執行ハ檢事及ヒ裁判所書記ノ立會ニテ之ヲ爲ス可シ

死刑ノ執行ニ關スル者ノ外刑場ニ入ルコトヲ得ス但檢事又ハ監獄ノ長ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニ在ラス

第三百十八條ノ三　死刑ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失シタルトキハ司法大臣ノ命令ニ因リ其痊癒ニ至ルマテ執行ヲ停止ス

死刑ノ言渡ヲ受ケタル婦女懷胎ナルトキハ分娩後司法大臣ノ命令アルニ非サレハ執行ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條　刑事訴訟法第三百十九條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其事故ノ止ムマテ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

一　心神喪失ノ狀態ニ在ルトキ
二　刑ノ執行ニ因リ生命ヲ保ツコト能ハサル虞アルトキ
三　受胎後七月以上ナルトキ
四　分娩後一月ヲ經過セサルトキ

第五十條　刑事訴訟法第三百二十條中「之ヲ爲ス可シ」ノ下ニ「刑ノ執行ノ停止ニ付キ亦同シ」ヲ加ヘ第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ徵收ニ付テハ非訟事件手續法第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第五十一條　刑事訴訟法第二十四條、第六十三條、第百六十八條、第百七十三條及ヒ第百七十四條但書ハ之ヲ削ル

第五十二條　刑事訴訟法中復權及ヒ特赦ニ關スル規定ハ之ヲ削ル

第五十三條　刑法第五十二條又ハ第五十八條ノ規定ニ依リ刑ヲ定ム可キ場合ニ於テハ其犯罪事實ニ付キ最終ノ判決ヲ爲シタル裁判所ノ檢事其裁判所ニ請求ヲ爲ス可シ

前項ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ被告人又ハ其代理人ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲ス可シ此決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　刑ノ執行猶豫ハ裁判所ニ於テ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ刑ノ言渡ト同時ニ判決ヲ以テ之ヲ言渡ス可シ

第五十五條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ハ上訴ニ因リ其效力ヲ失フコトナシ但原判決ヲ取消シ又ハ破毀シタル場合ハ此限ニ在ラス

上訴裁判所ハ新ニ執行猶豫ノ言渡ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ取消ス可キ場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ所在地又ハ最後ノ住所地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事其裁判所ニ請求ヲ爲ス可シ

前項ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ被告人又ハ其代理人ノ意見ヲ聽キ決定ヲ爲ス可シ此決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　第五十三條及ヒ前條ノ裁判及ヒ抗告ニ付テハ刑事訴訟法ノ規定ヲ準用ス

第7423号　本文

第五十八條　明治三十八年法律第七十號ニ依リ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ仍ホ猶豫ノ期間ヲ經過セサル者ハ刑法ニ依リ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノト看做ス

第五十九條　明治三十九年法律第五十四號ハ之ヲ廢止ス

第六十條　私訴ハ公訴ニ附帶スルトキハ民事訴訟ノ方式ニ依ラス書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　贓物犯人ノ手ニ在ルトキハ被害者ノ請求ナシト雖モ之ヲ還付スル言渡ヲ爲スヿヲ得

第六十二條　左ニ記載シタルモノヲ以テ公訴ニ關スル訴訟費用トス

一　豫審、公判ニ付キ呼出シタル證人鑑定人及ヒ通事ニ給與スヿヲ得キ日當、旅費及ヒ止宿料

二　第六十六條ニ記載シタル費用

第六十三條　證人、鑑定人及ヒ通事ノ日當ハ左ノ範圍內ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム

一　證人ノ日當ハ出頭一度ニ付金二十錢乃至金五十錢但止宿料ヲ給與スルヿヲ得ス場合ニ於テハ日當ヲ給與セス

二　鑑定人及ヒ通事ノ日當ハ出頭一度ニ付キ金三十錢乃至金五圓

第六十四條　證人、鑑定人及ヒ通事ノ旅費ハ海陸路一里ニ付キ金五錢乃至金二十錢ノ範圍內ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム但通路兩線以上アルトキハ最近ノ通路ヲ以テ旅費ヲ算定ス

前項ニ揭ケタル者ノ止宿料ハ一日ニ付キ金二十錢乃至金一圓ノ範圍內ニ於テ豫審判事、受託判事又ハ裁判所之ヲ定ム但八里以上ノ地ヨリ來リ滯在スルトキニ非サレハ之ヲ給與セス

第六十五條　證人、鑑定人及ヒ通事ノ日當旅費及ヒ止宿料ハ豫審ニ於テハ其終結前公判ニ於テハ其判決前ニ本人ヨリ請求スルニ非サレハ之ヲ給與セス

第六十六條　鑑定、通譯ニ付キ數多ノ時間又ハ特別ノ技能若クハ費用ヲ要スルトキハ日當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給與スルコトヲ得

第六十七條　共犯ノ訴訟費用ハ共犯人ノ連帶負擔トス

附　則

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

刑法附則其他舊刑法施行ノ爲メ公布シタル法令ハ之ヲ廢止ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル裁判所構成法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

司法大臣　男爵千家尊福

法律第三十號

裁判所構成法中左ノ通改正ス

第十六條ノ一　區裁判所ハ刑事ニ於テ左ノ事項ニ付裁判權ヲ有ス但シ第二以下ニ記載シタル罪ハ豫審ヲ經サルモノニ限ル

第一　拘留又ハ科料ニ該ル罪

第二　竊盜ノ罪

第三　竊盜及刑法第二百五十四條ノ罪ノ贓物ニ關スル罪

第四　刑法第百三十條、第百七十五條、第百八十五條乃至第百八十七條及第二百九條ノ罪竝ニ第百三十條ノ未遂罪

第五　一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三百圓ヲ超過セサル罰金ニ該ル罪

二個以上ノ主刑中其ノ一個ヲ科スヘキ罪ニシテ其ノ刑前項第一又ハ第五ノ規定ニ適セサルモノアルトキハ區裁判所ハ其ノ裁判權ヲ有セス

第十六條ノ一ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘ「第十六條ノ二」ヲ「第十六條ノ三」ニ改ム

第十六條ノ二　前條第一項第五ニ記載シタル罪ニ付テハ累犯又ハ併合罪トシテ處分スヘキ場合ト雖モ區裁判所其ノ裁判權ヲ有ス

第五十條第二號ヲ左ノ如ク改ム

第二　第一審ニシテ終審トシテ

刑法第七十三條、第七十五條及第七十七條乃至第七十九條ノ罪竝ニ皇族ノ犯シタル罪ニシテ禁錮以上ノ刑ニ處スヘキモノノ豫審及裁判

附　則

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ提起シタル訴訟ハ本法ニ依リ他ノ裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノト雖モ受訴裁判所之ヲ裁判スヘシ

本法施行後重禁錮又ハ輕禁錮ニ處スヘキ罪ノ裁判權ニ付テハ重禁錮ヲ懲役ト看做シ輕禁錮ヲ禁錮ト看做ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル裁判所構成法施行條例中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

司法大臣　男爵千家尊福

法律第三十一號

裁判所構成法施行條例中左ノ通改正ス

第十四條　削除

附　則

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル裁判所管轄區域變更ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

司法大臣　男爵千家尊福

法律第三十二號

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中長野地方裁判所管內上田區裁判所管轄信濃國更級郡武村、八幡村、桑原村及稻荷山町ヲ同地方裁判所管內長野區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附　則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前上田區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ同區裁判所之ヲ裁判ス

法律第三十三號

明治二十三年法律第六十二號裁判所位置及管轄區域表中名古屋地方裁判所管內西尾區裁判所管轄三河國碧海郡安城町大字福釜、赤松、古井、同國同郡依佐美村大字高棚及同國幡豆郡豐坂村大字逆川、桐山、上六栗ヲ同地方裁判所管內岡崎區裁判所ノ管轄ニ、同地方裁判所管內岡崎區裁判所管轄同國碧海郡櫻井村大字川島村高ヲ同地方裁判所管內西尾區裁判所ノ管轄ニ變更ス

附　則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前西尾區裁判所又ハ岡崎區裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ其ノ各區裁判所之ヲ裁判ス

朕海軍造兵廠條例中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

海軍大臣　男爵齋藤實

○勅令

許可 7423 号 本文

勅令第五十號

海軍造兵廠條例中左ノ通改正ス

第八條中「部長及材料庫主管」ヲ「部長、材料庫主管及工場庫主管」ニ改ム

第十條中「材料庫主管」ヲ「主管」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朕監獄官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十一年三月二十七日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望

司法大臣　男爵千家尊福

勅令第五十一號

監獄官制中左ノ通改正ス

別表中長崎監獄ノ項中「長崎縣長崎市」ヲ「長崎縣北高來郡諫早町」ニ、千葉監獄ノ項中「千葉縣千葉郡千葉町」ヲ「千葉縣千葉郡都村」ニ改ム

附　則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○省令

内務省令第四號

明治四十年勅令第四十五號第三條ニ依リ村ヲ廢置分合シ其ノ區域ヲ變更シタル場合ニ於テハ明治三十年内務省令第三號ノ規定ヲ準用ス

明治四十一年三月二十八日　内務大臣　原敬

内務省令第五號

沖繩縣及島嶼町村制ノ施行ニ際シ取扱方ノ件左ノ通定ム

明治四十一年三月二十八日　内務大臣　原敬

第一條　沖繩縣及島嶼町村制施行ニ際シ事務取扱ニ關シテハ明治二十一年内務省令第四號ノ規定ヲ準用ス但同省令第四條ノ豫算ハ町村長ニ於テ之ヲ設ケ監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二條　明治二十一年内務省令第四號第七條精算ノ場合ニ於テ其ノ殘餘アルトキハ町村長ハ町村會ノ決議ヲ經テ之ヲ町村ノ歲入ニ繰越シ又ハ基本財産ト爲スコトヲ得

第三條　町村役場ノ位置ハ府縣知事ニ於テ之ヲ定ムヘシ

司法省令第八號

明治二十六年司法省令第十號登記管轄區域表中左ノ通改正ス

明治四十一年三月二十八日　司法大臣　男爵千家尊福

長野地方裁判所ノ部「長野區裁判所中津出張所」ノ管轄欄及「上田區裁判所屋代出張所」ノ管轄欄ヲ左ノ如ク改ム

中津	信濃	更級郡ノ内　中津村　鹽崎村　信田村　川柳村　信里村　布施村　共和村　今里村　笹井村　稻里村　小島田村　御厨村　柴村　青木島村　更級村　八幡村　桑原村　稻荷山町
屋代	信濃	埴科郡ノ内　屋代町　埴生村　杭瀨下村　五加村　森村　倉科村　雨宮縣村

附　則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

司法省令第九號

明治二十六年司法省令第十號登記管轄區域表中左ノ通改正ス

明治四十一年三月二十八日　司法大臣　男爵千家尊福

名古屋地方裁判所ノ部「岡崎區裁判所」ノ管轄欄「岡崎區裁判所福岡出張所」ノ管轄欄「岡崎區裁判所知立出張所」ノ管轄欄「西尾區裁判所」ノ管轄欄及「西尾區裁判所新川出張所」ノ管轄欄ヲ左ノ如ク改ム

岡崎		三河	額田郡ノ内　岡崎町　岡崎村　龍谷村　藤川村　河合村　美合村　男川村　廣幡町　常磐村　岩津村　碧海郡ノ内　六ッ美村大字井内、宮地、上和田、土井、法性寺、赤澁、牧御堂、中ノ郷、西本郷、暮戸、北本郷、富永、桑子、新堀、小望、館出、坂戸、島、池端、西牧内、東牧内、上佐々木、下佐々木、河野、中園、舳越、森越、北野、橋目、東大友、西大友　矢作町大字矢作、渡、筒針、東本郷　上郷村大字中切、宗友、川端、上中島、阿彌陀堂、國江、配津、上野、桝塚
	福岡	三河	額田郡ノ内　福岡町　廣田村　碧海郡ノ内　六ッ美村大字下青野、在家、上青野、合歡木、高橋、福桶、安藤、高畑、下中島、正名、定國、下三ッ木、上三ッ木、中、國正、坂左右、下和田、野畑　幡豆郡ノ内　豐坂村
	知立	三河	碧海郡ノ内　知立町　刈谷町　高岡村　富士松町　依佐美村　安城町　矢作町大字小針、柿崎、宇頭、尾崎、宇頭茶屋　上郷村大字渡刈、鴛鴨、隣松寺、永覺新郷、和會、廣畔新郷、福受新郷
西尾		三河	幡豆郡ノ内　西尾町　平坂村　寺津村　三和村　福地村大字鵜ヶ池、十郎島、宅野島、細池、須脇、小焼野、深池、川口、菱池　碧海郡ノ内　櫻井村　明治村大字城ヶ入、南中根、米津
	新川	三河	碧海郡ノ内　新川町　大濱町　棚尾村　高濱町　旭村　明治村大字西端、東端、榎前、和泉、根崎

附　則

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○訓令

大藏省訓令第十四號

專賣局

專賣局旅費支給規則左ノ通定メ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス明治三十七年十月大藏省訓令第四十九號其ノ他從前ノ令達ニシテ本規則ニ抵觸スルモノハ總テ之ヲ廢止ス

明治四十一年三月二十八日　大藏大臣　松田正久

專賣局旅費支給規則

第一條　專賣局作業歲出支辨ニ屬スル旅費ハ内國旅費規則及明治三十九年五月當省達往第五九八六號ニ依ルノ外本規則ニ依リ之ヲ支給ス

第二條　此規則ニ於テ支部局ト稱スルハ專賣局收納所、專賣局製造所、專賣局販賣所ヲ謂ヒ支所ト稱スルハ專賣局收納所、專賣局製造所、專賣局販賣所ノ出張所、分工場、藏置所、試驗場及專賣官吏派出所ヲ謂フ

第三條　内國旅費規則第九條ニ該當スルトキハ高等官ハ一日金四拾錢判任官及見習員ハ一日金參拾五錢雇員ハ一日金參拾錢ノ車馬賃ヲ支給ス但シ特別ノ事情アル地方ニ限リ專賣局長官ハ特ニ金五拾錢マテヲ支給スルコトヲ得

在勤廳所在地附近ノ市町村若ハ其ノ一部ニシテ在勤廳所在地ト別ニ區分ヲ要セサルモノハ在勤廳所在地ニ準シ其ノ巡回里程遠距離ニ渉ルトキハ前項ノ車馬賃ノミヲ支給スルコトヲ得

第四條　專賣ニ關スル檢査、査定、指定引渡及專賣取締ノ爲メ其ノ區域内ノ巡回並收納、賣渡、回送、保管及工事督役ノ爲メ支部局又ハ支所所在地若ハ其ノ他ノ用務地ニ滯在中ノ旅費ハ判任官及見習員ハ日額金貳拾錢以内雇員ハ日額金壹圓以内ヲ支給ス

第五條　前條ノ區域ハ專賣局收納所、同出張所ノ所屬市町村若ハ專賣局製造所、專賣局販賣所、及其ノ分工場、藏置所ノ販賣區域トス

北海道及島嶼其ノ他特別ノ事情アル地方ニ在リテハ專賣局長官ニ於テ前項ノ區域ヲ變更シ若ハ特ニ區域ヲ設定スルコトヲ得

第六條　煙草製造作業監督ノ爲メ專賣局製造所又ハ同分工場所在地、準所在地區域内ノ巡回ニシテ遠距離ニ渉ルトキ又ハ所在地準所在地ニ非ルモ陸路一里以内汽車路五哩以内水路五浬以内ノ地ヘ出張ノ旅費ハ判任官ハ車馬賃又ハ日額金四拾錢以内雇員ハ車馬賃又ハ日額金參拾錢以内其ノ以外ノ地ヘ出張ノ旅費ハ判任官ハ日額金八拾錢以内雇員ハ日額金六拾錢以内專賣局製造所又ハ同分工場所在地、準所在地以外ノ作業場所在地ニ常時駐在中ノ旅費ハ判任官ハ日額金七拾錢以内雇員ハ日額金六拾錢以内ヲ支給ス

在勤廳所屬以外ノ作業場所在地ニ滯在中ノ旅費ハ判任官ハ日額金壹圓雇員ハ同金八拾錢ヲ支給ス

第七條　專賣ニ關スル檢査、査定、指定引渡及專賣取締ノ爲メ各區間ノ旅行ニハ日額旅費ノ規定ヲ適用セス其ノ區域内ノ巡回ト一日中ニ跨リタルトキ當日分ノ旅費ニ付テモ亦同シ

第八條　專賣ニ關スル事項ノ講習又ハ練習ノ爲メ其ノ講習地若ハ練習地ニ滯在中ノ旅費ハ判任官及見習員ハ日額金壹圓貳拾錢以内雇員ハ日額金壹圓以内ヲ支給ス

見習員實地練習ノ爲メ出張ノ旅費ハ日額金壹圓以内ヲ支給ス

第7423号本文

第九條　生產費調查、試驗地監督及耕作、栽培竝製鹽改良ノ指導奬勵ノ爲メ收納所、出張所所屬區域又ハ特設區域內ノ巡回　旅費ハ判任官ハ日額金壹圓屬員ハ日額金八拾錢ヲ支給ス

第十條　特別用途鹽ノ檢查及取締ノ爲メ常時其ノ用務地ニ駐在中ノ旅費ハ判任官ハ日額金七拾錢以內屬員ハ日額金六拾錢以內ヲ支給ス

第九條ノ用務ニ依リ一定ノ地ニ駐在中ノ旅費亦前項ニ同シ

第十一條　專賣局、支部局又ハ支所員ニシテ交互兼勤シ其ノ兼勤廳所在地滯在中ノ旅費ハ判任官及見習員ハ日額金壹圓屬員ハ日額金八拾錢ヲ支給ス

第十二條　他廳勤務ノ職員ニシテ囑託ヲ受ケ其ノ用務ニ依リ旅行スルトキハ前各條ニ準シ本官相當ノ旅費額ヲ支給ス

前項以外ノ囑託員ニシテ其ノ囑託事務ノ爲メ旅行スルトキハ特ニ定ムルモノヽ外月額百圓以上ノ者ハ奏任官、月額參拾圓以上ノ者ハ判任官、月額參拾圓未滿ノ者ハ屬員ト同一ノ旅費額ヲ支給ス

第十三條　第五條ニ依ル所屬市町村及第三條第二項ニ依リ在勤廳ト區分ヲ要セサルモノハ支部局長之ヲ定メ專賣局長官ニ報告スヘシ之ヲ改定シタルトキ亦同シ

第十四條　第四條第六條第八條第十條ノ支給額ハ專賣局長官ニ於テ適宜之ヲ定ムヘシ

第十五條　旅費額ヲ減少セムトスルトキ又ハ別ニ日額旅費ヲ設ケムトスルトキ若ハ特別ノ事情ニ依リ日額旅費、日額車馬賃ヲ增額セムトスルトキ及日額旅費ノ規定ヲ適用シ難ク普通旅費ヲ支給セムトスルトキハ經伺ノ上專賣局長官ニ於テ其ノ支給額及施行期日ヲ定ムヘシ

附　則

從前ノ規定ニ依リ經伺ノ上定メタル特別支給額及第四條ニ依ル所屬市町村竝特設區域ハ明治四十一年四月三十日マテハ從前ノ例ニ據ル

○告示

內務省告示第二十五號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

明治四十一年三月二十八日　　內務大臣　原敬

郡名	村名	字名	地番
滋賀縣			
栗太	大宇金勝	東坂	壹番
		必行路	三〇九、二七九、二七八

同　同　同　中山　一一二、一一七、一一八、一二〇、一二二、一二三、一九三
同　上田上　桐生　鳥谷
蒲生　鏡山　藥師　砂山　一二七八ノ至三五四、自三六一同至三六四、自三六七同至三八二、自三八五同至三九〇、自三九二同至三九七、同三九八、同自四〇一至四〇五

司法省告示第十號

明治三十六年司法省告示第十八號中長崎監獄ノ項島原分監ノ前ニ左ノ一項ヲ加ヘ明治四十一年四月一日ヨリ開廳ス

明治四十一年三月二十八日　　司法大臣　男爵千家尊福

長崎監獄	片淵分監	長崎縣長崎市

文部省告示第百六號

明治四十一年勅令第十一號暴風雨標條例第四條ニ依リ暴風雨標式ヲ左ノ如ク定メタル旨中央氣象臺長ヨリ報告セリ

明治四十一年三月二十八日　　文部大臣　男爵牧野伸顯

暴風雨標式

一暴風雨標ハ午前六時午後二時午後十時ニ於ケル暴風雨ノ中心ノ位置竝ニ其進行方向等ヲ示スモノトス

一暴風雨標ハ球圓筒圓錐圓菱鼓形ヨリ成立シ高柱ニ連揭スルモノトス

一中心ノ位置及其進行方向ヲ示スニハ三箇ノ標ヲ組合セ檣架ノ一端ニ懸垂スルモノトス

上ノ二箇ハ第一表ニ依リ中心ノ位置ヲ示シ下ノ一箇ハ第二表ニ依リ中心ノ進行スヘキ方向ヲ示ス

一進行ノ遲速及中心附近ノ氣壓ヲ示スニハ二箇ノ標ヲ組合セ橫架ノ他ノ一端ニ懸垂スルモノトス

上ノ一箇ハ第三表ニ依リ中心ノ進行スル遲速ヲ示シ下ノ一箇ハ第四表ニ依リ中心附近ニ於ケル氣壓ヲ示ス

一時刻ハ一箇ノ標ヲ柱頭ニ揭揚シ之ヲ示スモノトス但赤球ハ午前六時ヲ示シ赤圓筒ハ午後二時ヲ示シ標ヲ揭ケサルハ午後十時ヲ示ス

一夜間ハ二箇或ハ三箇ノ燈ヲ橫架ニ懸垂シ第一表ニ依リ單ニ中心ノ位置ノミヲ示スモノトス

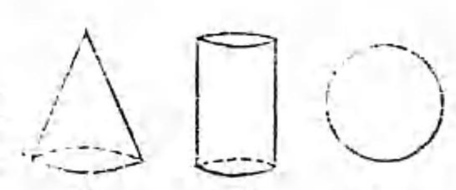
一球圓筒等ノ寸法ハ大略左ノ如シ

	赤球	赤圓筒	赤圓錐	赤圓菱	赤鼓形
直徑	一・〇米	〇・七	一・二	一・〇	一・二五
高サ	一・〇	一・二	一・二	一・五	一・〇

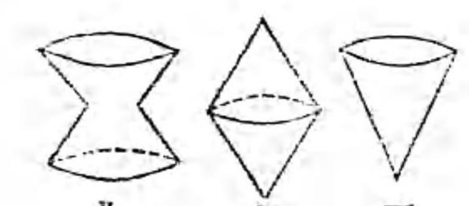
許可 7423 郵便物認可

第7423号 本文

第二表　進行方向

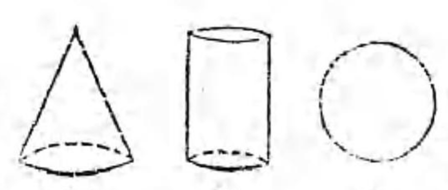


北東　東　南東

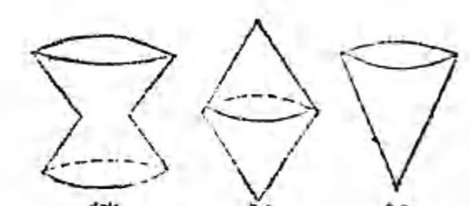


西　北西　北

第三表　進行遲速

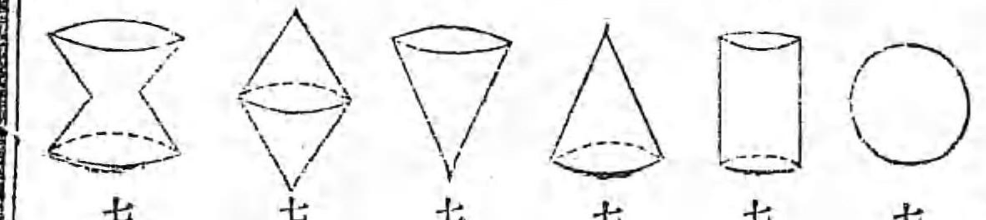


殆ント停滯
每時十二粁内外（每時五浬内外）
每時二十粁内外（每時十浬内外）



每時三十粁内外（每時十五浬内外）
每時五十粁内外（每時二十五浬内外）
轉向セントス

第四表　氣壓示度



七百三十粍未滿（二十八吋七四未滿）
七百三十粍乃至七百三十五粍（二十八吋七四乃至二十八吋九四）
七百三十六粍乃至七百四十粍（二十八吋九八乃至二十九吋一三）
七百四十一粍乃至七百四十五粍（二十九吋一七乃至二十九吋三三）
七百四十六粍乃至七百五十粍（二十九吋三七乃至二十九吋五三）
七百五十一粍以上（二十九吋五七以上）

第五表　中心ノ位置

符號	晝間標	位置	夜間標
一一	○○	比律賓西方	赤赤赤
一二	○□	呂宋	赤赤青
一三	○△	呂宋ノ東方	赤赤白
一四	○▽	香港附近	赤青赤
一五	○◇	臺灣	赤青青
一六	○⧖	八重山附近	赤青白
二一	□○	沖繩島ノ南方	赤白赤
二二	□□	琉球小笠原島ノ中間	赤白青
二三	□△	小笠原島附近	赤白白
二四	□▽	沖繩及奄美大島附近	青赤赤
二五	□◇	南海岸遙カノ沖	青赤青
二六	□⧖	八丈島ノ南方	青赤白
三一	△○	揚子江流域ノ南方	青青赤
三二	△□	東海南部	青青青
三三	△△	揚子江流域ノ北方	青青白
三四	△▽	上海附近	青白赤
三五	△◇	東海ノ北東部	青白青
三六	△⧖	黃海流域ノ下部	青白白
四一	▽○	九州	白赤赤
四二	▽□	四國、内海、紀伊半島附近	白赤青
四三	▽△	東海道及海上	白赤白
四四	▽▽	本州中部、能登半島及其沖	白青赤
四五	▽◇	本州東部及東海岸	白青青
四六	▽⧖	東海岸遙カノ沖	白青白
五一	◇○	山東半島黃海及遼東半島	白白赤
五二	◇□	韓國	白白青
五三	◇△	日本海南部	白白白
五四	◇▽	北清	赤赤
五五	◇◇	滿洲西部	赤青
五六	◇⧖	韓國及滿洲東部	赤白
六一	⧖○	浦鹽附近	青赤
六二	⧖□	日本海中部及北部	青青
六三	⧖△	津輕海峽及北海道西部	青白
六四	⧖▽	北海道東部及千島南部ノ海上	白赤
六五	⧖◇	タルタリ海峽	白青
六六	⧖⧖	樺太南部及海上	白白

文部省告示第百七號

私立順正高等女學校ヲ岡山縣上房郡高梁町ニ設置シ明治四十一年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十一年三月二十八日　文部大臣　男爵牧野伸顯

文部省告示第百八號

上諏訪町立諏訪高等女學校ヲ長野縣諏訪郡上諏訪町ニ設置シ明治四十一年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

明治四十一年三月二十八日　文部大臣　男爵牧野伸顯

文部省告示第百九號

明治三十八年文部省告示第九十六號小學校敎科用圖書翻刻發行許可者中江草斧太郎死亡ニ付家督相續人江草重忠ニ右翻刻發行承繼ノ件本日許可セリ

明治四十一年三月二十八日　文部大臣　男爵牧野伸顯

文部省告示第百十號

私立向山文庫ヲ山口縣熊毛郡周防村ニ設置ノ旨設立者ヨリ開申セリ

明治四十一年三月二十八日　文部大臣　男爵牧野伸顯

文部省告示第百十一號

神奈川縣横濱市海岸通神奈川縣測候所構内ニ設置セル官立正式警報信號標ハ改築ノ爲當分揚卸ヲ中止ノ旨報告セリ

明治四十一年三月二十八日　文部大臣　男爵牧野伸顯

（一四）

逓信省告示第三百六十五號

帝國鐵道廳官制第十三條ニ依リ明治四十年三月逓信省告示第百七十三號中若松建設事務所ノ次ニ中津建設事務所ヲ追加シ其所管區域及位置左ノ通相定メ本年四月十日ヨリ施行ス

明治四十一年三月二十八日　逓信大臣　子爵堀田正養

名稱	所管區域	位置
中津建設事務所	宇佐大分間	中津

逓信省告示第三百六十六號

明治四十年十月逓信省告示第六百四十號帝國鐵道廳所管貨物專用線哩程中左記ノ通追加シ又後藤寺起行間勝野桐野間勝野菅牟田間金田糒間ヲ改訂ス

明治四十一年三月二十八日　逓信大臣　子爵堀田正養

（追加）　貨物專用線

伊田、池尻間

		從伊田	從池尻
伊田	〇・〇	〇・〇	三・〇
西身内谷	一・〇	一・〇	二・〇
後藤寺	〇・六	一・六	一・四
後藤寺原	〇・六	二・二	〇・八
池尻	〇・八	三・〇	〇・〇

川崎、第一大任間

		從川崎	從第一大任
川崎	〇・〇	〇・〇	〇・五
第一大任	〇・五	〇・五	〇・〇

後藤寺、豐國間

		從後藤寺	從豐國
後藤寺	〇・〇	〇・〇	二・一
大數	一・一	一・一	一・〇
宮床	〇・七	一・八	〇・三
豐國	〇・三	二・一	〇・〇

小竹、鹽頭間

		從小竹	從鹽頭
小竹	〇・〇	〇・〇	一・四
鹽頭	一・四	一・四	〇・〇

小竹、幸袋間

		從小竹	從幸袋
小竹	〇・〇	〇・〇	三・一
目尾分岐點	一・四	一・四	一・七
幸袋	一・七	三・一	〇・〇

目尾分岐點、目尾間

		從目尾分岐點	從目尾
目尾分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・二
目尾	〇・二	〇・二	〇・〇

幸袋、潤野間

		從幸袋	從潤野
幸袋	〇・〇	〇・〇	一・七
伊岐須分岐點	一・〇	一・〇	〇・七
潤野	〇・七	一・七	〇・〇

伊岐須分岐點、伊岐須間

		從伊岐須分岐點	從伊岐須
伊岐須分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・六
伊岐須	〇・六	〇・六	〇・〇

鯰田、飯塚間

		從鯰田	從飯塚
鯰田	〇・〇	〇・〇	二・九
山野分岐點	一・九	一・九	一・〇
飯塚	一・〇	二・九	〇・〇

山野分岐點、山野間

		從山野分岐點	從山野
山野分岐點	〇・〇	〇・〇	三・一
芳雄	〇・二	〇・二	二・九
上三緒	一・六	一・八	一・三
山野	一・三	三・一	〇・〇

飯塚、白井間

		從飯塚	從白井
飯塚	〇・〇	〇・〇	四・三
平恒分岐點	一・〇	一・〇	三・三
白井	三・三	四・三	〇・〇

平恒分岐點、平恒間

		從平恒分岐點	從平恒
平恒分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・三
平恒	〇・三	〇・三	〇・〇

直方、中泉間

		從直方	從中泉
直方	〇・〇	〇・〇	二・六
本洞分岐點	一・一	一・一	一・五
中泉	一・五	二・六	〇・〇

本洞分岐點、本洞間

		從本洞分岐點	從本洞
本洞分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・四
本洞	〇・四	〇・四	〇・〇

中泉、日燒間

		從中泉	從日燒
中泉	〇・〇	〇・〇	〇・九
大城第一分岐點	〇・二	〇・二	〇・七
藤棚	〇・三	〇・五	〇・四
日燒	〇・四	〇・九	〇・〇

大城第一分岐點、大城第一間

		從大城第一分岐點	從大城第一
大城第一分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・八
大城第二分岐點	〇・二	〇・二	〇・六
大城第一	〇・六	〇・八	〇・〇

大城第二分岐點、大城第二間

		從大城第二分岐點	從大城第二
大城第二分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・六
大城第二	〇・六	〇・六	〇・〇

中泉、金田間

		從中泉	從金田
中泉	〇・〇	〇・〇	三・五
赤池分岐點	二・五	二・五	一・〇
金田	一・〇	三・五	〇・〇

赤池分岐點、赤池間

		從赤池分岐點	從赤池
赤池分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・三
赤池	〇・三	〇・三	〇・〇

（改訂）

後藤寺、起行間

		從後藤寺	從起行
後藤寺	〇・〇	〇・〇	〇・四
起行	〇・四	〇・四	〇・〇

勝野、桐野間

		從勝野	從桐野
勝野	〇・〇	〇・〇	三・三
菅牟田分岐點	一・六	一・六	一・七
桐野	一・七	三・三	〇・〇

菅牟田分岐點、菅牟田間

		從菅牟田分岐點	從菅牟田
菅牟田分岐點	〇・〇	〇・〇	一・二
菅牟田	一・二	一・二	〇・〇

金田、糒間

		從金田	從糒
金田	〇・〇	〇・〇	一・八
金田分岐點	〇・六	〇・六	一・二
糒	一・二	一・八	〇・〇

金田分岐點、金田間

		從金田分岐點	從金田（貨）
金田分岐點	〇・〇	〇・〇	〇・三
金田	〇・三	〇・三	〇・〇

（一五）

逓信省告示第三百六十七號

明治三十七年六月逓信省告示第三百二十號萬國電信條約附屬細目規則中各國隨意規定事項第七項第四號韓國内電報別使配達料及艀船配達料金表中「龍岩浦局」ノ部「龍岩浦錨地多獅島」ノ下「四、〇〇〇」トアルヲ「六、〇〇〇」ト改正シ來四月一日ヨリ施行ス

明治四十一年三月二十八日　逓信大臣　子爵堀田正養

逓信省告示第三百六十八號

來四月一日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十一年三月二十八日　逓信大臣　子爵堀田正養

現名稱	改稱	位置
蒲生郵便局	越廼（コシノ）郵便局	福井縣丹生郡越廼村

逓信省告示第三百六十九號

本日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ但シ其取扱時間左ノ通相定ム

明治四十一年三月二十八日　逓信大臣　子爵堀田正養

名稱	位置	取扱時間
箱根郵便局	神奈川縣足柄下郡箱根町	一、三月一日ヨリ十月三十一日マデ　午前六時ヨリ午後十時マデ 一、十一月一日ヨリ翌年二月末日マデ　午前七時ヨリ午後十時マデ

第7423号 本文

遞信省告示第三百七十號

本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務及電話通話事務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

名稱	位置
濱松郵便局	靜岡縣濱名郡濱松町

遞信省告示第三百七十一號

本月二十九日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

名稱	位置
牛津郵便局	佐賀縣小城郡牛津町

遞信省告示第三百七十二號

來四月六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始シ電報規則第七十五條ニ依ル電話加入者ノ託送電報ヲモ取扱フ

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

名稱	位置
小松島郵便局	徳島縣勝浦郡小松島村

遞信省告示第三百七十三號

福岡縣ニ於テ島原海灣三池港北突堤端ヘ左記ノ燈臺ヲ建設シ本年四月一日以後毎夜點火ノ旨同縣ヨリ報告セリ

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

三池港燈臺

一位置 北緯約三十三度零分十五秒、東經約百三十度二十三分十八秒（水路部出版第百六十九號海圖）

一構造及著色 鐵造圓柱形、白色

一自基礎至燈火高 三丈四尺三寸

一自水面至燈火高 四丈五尺

一等級及燈質 無等明暗白色、燈光發射ノ時間十五秒、遮暗ノ時間四秒

一明弧 磁針方位北三十七度十五分西ヨリ北、東、南ヲ經テ南五十二度四十五分西マテ二百七十度間

但磁針方位北三十七度十五分西ヨリ北二度四十五分東マテ四十度間及北十八度三十分東ヨリ東、南ヲ經テ南五十二度四十五分西マテ二百十四度十五分間ハ紅光ヲ以テ淺瀬ヲ示ス

右方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス

一燭光數 白光九十五 紅光三十八

一光達距離 晴天ノ夜白光十浬 紅光七浬

遞信省告示第三百七十四號

本月三十日ヨリ左記電信取扱所ヲ設置ス

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

名稱	位置
大藏（オオクラ）電信取扱所	福岡縣遠賀郡八幡町大藏停車場（帝國鐵道）（八幡局ノ配達區內）

遞信省告示第三百七十五號

本月三十日ヨリ左記郵便局ニ電話通話事務ヲ開始ス

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

名稱	位置
八代郵便局	熊本縣八代郡八代町

遞信省告示第三百七十六號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中「肥後國鹿本郡來民町」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

一肥後國八代郡八代町、太田郷村大字松江字北松江、同南松江

遞信省告示第三百七十七號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號加入區域外通話區域及電話料、電話呼出料中左ノ通追加ス

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

	加入區域外通話區域	一通話ノ電話料	一回ノ電話呼出料
「熊本小竹間」ノ次ニ	熊本八代間	金二十錢	金十五錢
「若松小竹間」ノ次ニ	若松八代間	金五十五錢	金二十錢
「川尻植木間」ノ次ニ	川尻八代間	金二十錢	金十五錢
「福岡小竹間」ノ次ニ	福岡八代間	金四十錢	金二十錢
「大牟田山鹿間」ノ次ニ	大牟田八代間	金二十五錢	金十五錢
「若津柳河間」ノ次ニ	若津八代間	金二十五錢	金十五錢
「久留米植木間」ノ次ニ	久留米八代間	金二十五錢	金十五錢
「山鹿來民間」ノ次ニ	山鹿八代間	金二十五錢	金十五錢
「折尾小竹間」ノ次ニ	八代長崎間	金七十五錢	金二十錢
	八代佐世保間	金五十五錢	金二十錢
	八代佐賀間	金二十五錢	金十五錢

遞信省告示第三百七十八號

本月三十一日ヨリ左記郵便局ヲ移轉ス

明治四十一年三月二十八日 遞信大臣 子爵堀田正養

名稱	現在位置	移轉位置
小川郵便局	高知縣吾川郡小川村	高知縣吾川郡下八川村

○敍任及辭令

○明治四十一年三月二十七日

任大藏大臣祕書官
敍高等官四等 司法大臣祕書官正六位 原田十衛

任專賣局主事 兼大藏省參事官如故
敍高等官六等 大藏大臣祕書官兼大藏省參事官正七位勳六等 森俊六郎

任東京帝國大學農科大學敎授兼農商務技師
敍高等官三等 農商務技師從五位勳四等理學博士 岸上鎌吉

任大阪府池田師範學校長
敍高等官六等 徳島縣立高等女學校長從七位 山岡光太郎

任徳島縣女子師範學校長
敍高等官七等 文部屬 寄藤好實

陞敍高等官三等 關東都督府技師正六位 山路魁太郎

陞敍高等官四等 關東都督府技師從六位勳五等 有田彥信

陞敍高等官五等 關東都督府技師正七位勳七等 吉田弟彥

任埼玉縣兒玉郡長
敍高等官五等 埼玉縣北葛飾郡長正六位勳五等 白倉通倫

任埼玉縣大里郡長
敍高等官五等 埼玉縣入間郡長正六位勳五等 島崎廣太郎

任埼玉縣北埼玉郡長
敍高等官六等 埼玉縣兒玉郡長正七位勳六等 東郷重清

任埼玉縣入間郡長
敍高等官六等 埼玉縣北埼玉郡長正七位勳六等 市川湊太郎

任埼玉縣南埼玉郡長
敍高等官六等 埼玉縣秩父郡長正七位勳六等 奥田榮之助

任埼玉縣秩父郡長
敍高等官七等 埼玉縣屬從七位勳八等 佐野貞治郎

任埼玉縣北葛飾郡長
敍高等官七等 埼玉縣屬從七位勳八等 小林嘉行

任埼玉縣比企郡長
敍高等官七等 埼玉縣入間郡書記正八位勳七等 水谷麻之助

任埼玉縣事務官補
敍高等官八等 埼玉縣屬從七位勳八等 木原守三郎

任埼玉縣事務官補
敍高等官八等 埼玉縣屬勳八等 石井半左衛門

任埼玉縣警視
敍高等官七等 埼玉縣警部 武田熊藏

徳島縣立高等女學校長ニ任ス 寄藤好實

醫術開業試驗委員被仰付
正七位 一井正典
埼玉縣大里郡長 中村孫兵衛
（各通）
埼玉縣比企郡長 阪本與惣次郎
石川縣技師 芝山直清

依願免本官

長野縣小縣郡立上田高等女學校長兼長野縣小縣郡立上田高等女學校敎諭 三浦直

願ニ依リ本職竝兼職ヲ免ス

京都府立第二中學校敎諭 山本辰吉
（各通）
岐阜縣立農林學校長 岸秀次
青森縣立畜産學校敎諭 加藤濟三

願ニ依リ本職ヲ免ス（以上三月二十七日內閣）

馬政官正五位勳五等 新山莊輔
（各通）
海軍敎授正六位勳四等 豐島定

佛蘭西共和國政府ヨリ贈與シタル「オフィシエー、ド、ロルドル、ナシオナル、ド、ラ、レジオン、ドノール」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

馬政官陸軍騎兵中佐正六位勳四等 大橋豐之助

佛蘭西共和國政府ヨリ贈與シタル「シユヴァリエー、ド、ロルドル、ナシオナル、ド、ラ、レジオン、ドノール」勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍砲兵中佐正六位勳四等功三級 石坂善次郎

土耳其國皇帝陛下ヨリ贈與シタル「メヂチエ」第二等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍砲兵中佐正六位勳四等功三級 石坂善次郎

西班牙國皇帝陛下ヨリ贈與シタル陸軍有功赤色第二級勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

陸軍歩兵少佐從六位勳四等功五級 沓谷榮輔

清國皇帝陛下ヨリ贈與シタル三等第一雙龍寶星ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル

統監府屬 神保信吉
（各通）
小田倉啓

韓國皇帝陛下ヨリ贈與シタル勳六等八卦章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許セラル（以上三月十九日賞勳局）

六級俸下賜 石川縣技師 芝山直清

北海道廳警視 園田半之助

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

新潟縣北蒲原郡長 清水中四郎

三級俸下賜 新潟縣西蒲原郡長 田宮從義

（各通）

新潟縣南魚沼郡長 石川赳夫

四級俸下賜

第7423号 本文

二級俸下賜　埼玉縣大里郡長　中村孫兵衞
三級俸下賜　埼玉縣比企郡長　阪本與惣次郎
（各通）　埼玉縣南埼玉郡長　神谷　厚
埼玉縣兒玉郡長　白倉　通倫
四級俸下賜　埼玉縣大里郡長　島崎廣太郎
三級俸下賜　埼玉縣北埼玉郡長　東鄉　重清
（各通）　埼玉縣入間郡長　市川春太郎
四級俸下賜　埼玉縣南埼玉郡長　奧田榮之助
五級俸下賜　埼玉縣北足立郡長　早川　光藏
三級俸下賜　埼玉縣秩父郡長　佐野貞治郎
（各通）　埼玉縣北葛飾郡長　小林　嘉行
五級俸下賜　埼玉縣比企郡長　水谷廉之助
六級俸下賜　埼玉縣事務官補　木原守三郎
四級俸下賜　埼玉縣事務官補　石井半左衞門
五級俸下賜　埼玉縣警視　松岡　景常
三級俸下賜　埼玉縣南埼玉郡長　神谷　厚
（各通）　埼玉縣警視　松岡　景常
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス　埼玉縣警視　武田　熊藏
四級俸下賜　埼玉縣警視　武田　熊藏
補浦和警察署長（以上三月二十七日內務省）
三級俸下賜　大藏大臣祕書官　原田　十衞
四級俸下賜（以上三月二十七日大藏省）　專賣局主事　森　俊六郎
免本職補騎兵第十七聯隊中隊長　騎兵第十五聯隊中隊長陸軍騎兵大尉　三木嘉久二
騎兵第十五聯隊附被免　陸軍騎兵大尉　稻生　鐵吉
補騎兵第十五聯隊中隊長　陸軍騎兵大尉　稻生　鐵吉
佐世保重砲兵大隊附被免　陸軍砲兵大尉　湯澤　正次
補佐世保重砲兵大隊中隊長　陸軍砲兵大尉　湯澤　正次
免本職補佐世保重砲兵大隊附　陸軍砲兵大尉　小林　萬里
免本職補佐世保重砲兵大隊副官（以上三月二十七日陸軍省）　佐世保重砲兵大隊附陸軍砲兵中尉　山口　重二
測量ノ為メ松江乘組被仰付　海軍少佐　並木寅之助
免本職補春日軍醫長　橫須賀海軍病院附海軍軍醫少監　山本　英忠
免本職橫須賀鎭守府附被仰付　春日軍醫長海軍軍醫少監　渡邊　開吉
香取乘組被免　海軍大軍醫　中野　才智
待命被仰付但吳ニ滯在スヘシ　海軍大軍醫　中野　才智
三笠乘組被免香取乘組被仰付　海軍中軍醫　小倉　俊圓
隅田乘組被免　海軍中主計　榊　幹
待命被仰付但佐世保ニ滯在スヘシ　海軍中主計　榊　幹
免本職隅田乘組被仰付　舞鶴海兵團附海軍中主計　山本新太郎
測量ノ為メ松江乘組被仰付　海軍水路大監　荒畑岩次郎
測量ノ為メ葛城乘組被仰付　海軍水路大監　岸田吉三郎
測量ノ為メ大和乘組被仰付　海軍水路中監　値賀　寬
測量ノ為メ葛城乘組被仰付　海軍水路大技士　新井　雄吉
測量ノ為メ松江乘組被仰付　海軍水路大技士　大谷　志善
（各通）　海軍水路中技士　飯塚　太郎
測量ノ為メ葛城乘組被仰付（以上三月二十七日海軍省）　海軍技師　中野　德郎
水產製造學研究ノ為滿二箇年間獨國及米國ヘ留學ヲ命ス（三月二十七日文部省）　町田　咲吉
大臣官房監察課兼務ヲ命ス（三月二十六日遞信省）　遞信書記官　森　義一
帝國鐵道廳主事補　日下部愛之
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（三月二十七日同）
八級俸下賜（三月二十日靜岡縣）　靜岡縣立志太郡農學校長兼教諭　小松　省吾

○彙報

○官廳事項

○官吏發著　曩ニ參謀本部參謀演習旅行實視ノタメ同演習地ヘ差遣ノ侍從武官瀨司照道ハ本月二十五日歸京、陸軍野戰砲兵射擊學校ヘ差遣ノ侍從武官山中次郎ハ一昨二十六日出發卽日歸京セリ
木村第十八師團長ハ步兵第四十六聯隊第一期檢閱視察ノタメ大村ニ向ヒ、兒玉步兵第二十八旅團長ハ步兵第五十六聯隊第一期檢閱視察ノタメ姫路地方ニ向ヒ本月二十二日孰モ出發●曩ニ大分地方ヘ出張ノ香川步兵第三十五旅團長ハ同日歸著●近江地方ヘ出張ノ奥參謀總長ハ同二十五日、千葉縣下萬原地方ヘ出張ノ梅澤近衞步兵第二旅團長ハ一昨二十六日孰モ歸京セリ
學術實地指導ノタメ千葉縣下演習林ヘ出張ノ東京帝國大學農科大學助教授擱田正逸ハ本月二十二日歸京●學術上取調ノタメ靜岡愛知ノ二縣下ヘ出張ヲ命セラレタル石川同學教授ハ同二十五日、同上ノタメ宮城栃木二縣下ヘ出張ヲ命セラレタル松村同學理科大學教授ハ一昨二十六日孰モ出發セリ
曩ニ上京ノ福島縣事務官齋藤美智麿ハ本月二十四日出發歸任セリ

○華族薨去　正三位勳二等男爵岩崎彌之助ハ本月二十五日薨去セリ

○官吏死去　豫備役陸軍三等軍醫正八位勳六等松岡信榮ハ去月二十三日、陸軍步兵中尉從七位勳六等柿崎元長ハ本月十九日孰モ死去セリ

判決

○行政裁判所判決　郡會議員當選效力ニ關スル訴ニ對シ本月十八日行政裁判所ニ於テ左ノ如ク判決セリ

明治四十年第一五七號

裁判宣告書

京都府宇治郡山科村大字小山

原告　中川　儀造

被告　京都府參事會

京都府知事　大森　鍾一

右當事者間ニ於ケル郡會議員當選效力ニ關スル訴文書ニ就キ審理判決スルコト左ノ如シ

(一八)

主文

原告ノ請求相立タス

訴訟費用ハ原告ノ負擔トス

事實及理由

原告ハ明治四十年九月三十日執行セラレタル宇治郡會議員選擧ニ當選シ十月五日宇治郡長ヨリ當選證書ヲ交付セラレタルニ同十五日宇治郡參事會ハ原告外數人カ選擧ノ當時區長又ハ區長代理者ノ職ニ在リタルノ故ヲ以テ郡制第六條第八項ニ所謂選擧事務ニ關係アル吏員ニ該當スルトナシ其當選ヲ無效トスト決定セリ原告ハ之ニ服セスシテ京都府參事會ニ訴願シ終ニ本訴ヲ提起スルニ至リタリ

以上ノ事實ハ當事者間ニ於テ相爭ハサル所ニシテ本訴ノ爭點ハ區長及區長代理者ハ選擧ニ關係アル吏員ナリヤ否ヤノ法律問題ニ歸著ス

原告主張ノ要旨ハ區長及區長代理者ハ町村長ノ事務ニシテ其區內ニ關スルモノニ限リ補助執行スヘキ職責ヲ負フモノナリ然ルニ郡會議員選擧事務ハ町村ヲ以テ單一ノ選擧區トシ町村長ノ權能ヲ以テ數區ニ分割スルヲ得ルモノニアラサレハ之ニ關スル事務モ亦便宜數區ニ劃分スル能ハサルモノナルカ故ニ町村長ハ區長又ハ區長代理者ヲシテ選擧ニ關スル事務ヲ補助執行セシムルヲ得サルモノナリ加之原告ハ本件郡會議員選擧ニ付事實上毫モ其事務ニ干與セサリシモノナリ從テ原告ハ「選擧事務ニ關係アル吏員」ニアラサレハ其當選ハ有效ナリト云フニ在リ

被告答辯ノ要旨ハ區長及區長代理者ハ町村長ノ指揮命令ニ依リ其事務ノ區內ニ關スルモノヲ補助執行セサルヘカラス郡會議員選擧ニ付テハ町村ハ選擧區トシテ單一ナルモ其事務ノ全體カ性質上不可分ノモノニアラス卽選擧人名簿調製ニ關スル事務ノ如キ又選擧ニ關スル告示ヲ區內一般ニ周知セシムル事務ノ如キハ町村長カ內部ノ關係ニ於テ之ヲ各區ニ分割シ區長又ハ區長代理者ヲシテ補助セシムルヲ妨ケス又原告ハ事實上選擧事務ニ關係セサリシコトヲ主張スルモ現實ニ之ニ干與セリヤ否ヤハ問フヘキモノニアラスト云フニ在リ

按スルニ區長及區長代理者ハ町村長ノ指揮命令ヲ受ケ區內ニ關スル町村長ノ事務ヲ補助執行スヘキ職責ヲ有スルコトハ町村制第七十三條ノ規定セル所ニシテ其事務苟クモ町村長ノ管掌ニ屬スルモノナルニ於テハ其種類性質ノ如何ヲ問ハス別ニ反對ノ規定ナキ限リハ町村長ハ同條ニ依リ區長及區長代理者ヲシテ補助セシムルコトヲ得ルハ明白ナリ原告ハ郡會議員ノ選擧ニ付テハ一町村ヲ以テ單一ノ選擧區トセルカ故ニ其事務モ亦各區ニ分割スルヲ得スト主張スルモ選擧區單一ナレハ迚町村長カ自己ノ機關トシテ區長及區長代理者ヲ指揮シ各區ニ關スル選擧事務ヲ補助セシムルヲ得サルノ理ナシサレハ區長及區長代理者カ町村長ノ補助機關トシテ郡制第六條第八項ニ所謂選擧事務ニ關係アル吏員タルコト疑ヲ容レス而シテ其事實上選擧事務ニ關與セサリシハ單ニ町村長カ關與セシメサリシニ過キス之カ爲メニ性質上選擧事務ニ關係アル吏員タルヲ失ハス之ヲ要スルニ原告ハ選擧ノ當時被選擧資格ヲ有セサルモノニシテ被告ノ裁決ハ相當ナリ依テ主文ノ如ク判決ス

明治四十一年三月十八日行政裁判所第二部公廷ニ於テ宣告ス

裁判長　行政裁判所評定官　渡邊　廉吉
行政裁判所評定官　樋山　資之
行政裁判所評定官　山脇　武三郎
行政裁判所評定官　上山　滿之進
行政裁判所評定官　三宅　德業
行政裁判所書記　國友　德芳

司法及警察

○放免　佐賀縣杵島郡武內村大字眞手野平民古賀「スワ」ハ放火未遂ノ罪ニ因リ明治三十三年十月十五日佐賀地方裁判所ニ於テ重懲役九年ニ處セラレ本犯ヨリ控訴ヲ申立テ同年十月二十二日控訴取下ヲ受理セラレ服役中昨四十年十月十日假出獄ヲ許サル　廣島縣豐田郡瀨戶田町大字瀨戶田平民須波末松ハ故殺ノ罪ニ因リ同三十四年四月二十七日廣島地方裁判所ニ於テ同十年ニ處セラレ末松ハ服役中ノ處本月十九日「スワ」ハ同十八日孰モ特典ヲ以テ放免シ併テ監視ヲ免セラレタリ

○辯護士名簿登錄　青森縣平民阿保淺次郎ノ請求ニ依リ本月二十三日東京地方裁判所檢事局ニ於テ辯護士名簿ニ登錄セリ

○出火　東京府外二縣ニ於ケル出火左ノ如シ

東京府　一昨二十六日午前二時四十分南多摩郡元八王子村大字下一分方ヨリ出火全燒住家、物置、廐各一棟同三時三十分鎭火」昨二十七日午前三時十分東京市麻布區谷町二十六番地ヨリ出火全燒五戶、半燒二戶、負傷者二同時四十分鎭火セリ

神奈川縣　本月二十三日午前十時三十分中郡伊勢原町字板戶ヨリ出火全燒住屋十一戶午後零時三十分鎭火原因詳ナラス」同二十四日午前零時三十分同郡南秦野村字今泉ヨリ出火全燒住屋十一戶同一時三十分鎭火原因過失ナリ

秋田縣　本月二十一日午後十時河邊郡和田村字福田ヨリ出火小屋一棟燒失、燒死者一原因過失ナリ

○陸海軍

○輜重兵第十八大隊移轉　輜重兵第十八大隊ハ本月二十一日久留米ヘ移轉セリ（陸軍省）

○不要徵兵終決處分者　所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中群馬縣佐波郡殖蓮村大字八寸村一三七田沼定次郎（明治二十年十月十五日生）ハ所在發見ニ付キ爾後調査ヲ要セサルモノト爲レリ（群馬縣）

○軍艦發著　各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
香取、春日、磐手、八雲、淺間、音羽、有明、吹雪、霰、曉、彌生、卯月、水無月、長月、白妙、松風	三、二六	吳		

艦名	月日	著	發	行先
野分、白雪、追風、朝風、夕暴、疾風				
葛城	三、二六	香港		
春雨	同	函館		
石見	同	吳		
白雲、朝潮	同	西鄉		
富士	同		吳	橫濱
村雨、朝霧	三、二七		德山	瀨戶崎

○學事

○東京盲啞學校長復命概要　曩ニ茨城縣ヘ出張私立茨城盲啞學校開校式ニ臨席セル東京盲啞學校長小西信八復命ノ要旨左ノ如シ（文部省）

茨城盲啞學校ハ森茨城縣知事ノ私設ニ係リ知事自身校長ニ任シ敎員ニハ東京盲啞學校敎員練習科卒業生大村幸藏ヲ聘シ鍼治按摩ニハ市內盲人三人ニ授業ヲ囑託シ彈琴ト啞生部トハ追テ開始ノ由ニテ入學生徒十八人アリ開校式當日ノ來觀者ニハ吉見休職群馬縣知事、富岡陸軍少將、馬場水戶聯隊區司令官、小澤水戶地方裁判所長、常井同檢事正、師範學校、中學校、小學校等ノ校長、各郡長、市長、縣會議員、市參事會員、篤志家、盲人關繫等凡ソ二百人ニシテ最初ニ國歌ノ彈奏アリ森校長ノ設立志意ノ演述アリ小官亦同縣盲啞ノタメニ其知事ヲ得タルヲ祝シ最大不幸者タル盲啞ノ敎育ハ徒ラニ文化ヲ衒フ餘業ニアラス人道ノ上ヨリモ經濟ノ上ヨリモ等閑ニ看過スヘカラス盲啞モ國民ノ一人ナレハ普通子弟ノ如ク公費ヲ以テ之ヲ敎育スル氣運ノ一日モ早ク到ランコトヲ望ムコト切ナリシニ森知事カ本年ノ紀元節ヲトシ此盛事ヲ擧行セラルヽハ實ニ慶スヘク悅フヘキ至トス然レトモ樹立者其人ヲ得タルモ培根ノ繼續者其人ニ乏シキトキハ生育發達ヲ期シ難シ縣下一般ノ同情ニ依リ他ニ率先シテ縣立ノ模範ヲ示サレンコトヲ望ムハ舊德川侯家祖先以來德政ノ美談ニ富ミ義擧ノ美風ニ洽キ茨城縣ニ對シテハ難キヲ求ムル所ニアラサルヲ信スル旨ヲ述ヘシ後數十ノ祝詞朗讀者アリ祝電アリ孰モ森知事カ赴任日淺キニ拘ラス早ク茲ニ著眼シ盲啞不幸ノ子弟ヲ有スル父兄カ朝夕千萬無量ノ苦辛ヲ慰藉シ縣下敎育上一異彩ヲ發輝セラレタルヲ劇賞感謝セサルハナカリキ森知事ハ昨年陸軍大演習ノ後慰勞ノ下賜

(一九)

第7423号　本文

東京高等工業學校選科修了者（三人）

染織科機織分科　石川縣平民　室　理吉

工業圖案科　富山縣平民　石塚　與作
　　　　　　富山縣平民　藤卷　清次郎

附設工業教員養成所
應用化學科卒業者
茨城縣平民　根本　諄

附屬職工徒弟學校
木工科卒業者
靜岡縣平民　西村　勇助

東京高等工業學校創立滿二十五年紀念奬學賞品受領者（二人）

此賞品ハ本校創立滿二十五年紀念ノタメ有志者ヨリ寄附ノ奬學資金ヨリ生スル利益金ノ一部ヲ支出シ賞與スルモノナリ

附設工業教員養成所
應用化學科卒業者
茨城縣平民　根本　諄

附屬職工徒弟學校
木工科卒業者
靜岡縣平民　西村　勇助

手島奬學賞牌受領者（五十九人）

此賞牌ハ當該學年間一日ノ缺課ハ勿論一回ノ遲刻早退ナク勵精セル者ヲ表彰スルタメニ授クルモノニシテ第一回ニ銅牌ヲ、第二回ニ銀牌ヲ、第三回ニ金牌ヲ、第四回ニ特別金牌ヲ付與スルモノトス

附設工業教員養成所（八人）

建築科卒業者（三人）
特別金牌　山形縣士族　神崎　誠
金牌　三重縣平民　野呂　長四郎
銀牌　群馬縣平民　木檜　恕一

染織科色染分科卒業者（二人）
特別金牌　栃木縣平民　小泉　茂作
同　山梨縣平民　湯澤　比古一

染織科機織分科卒業者（一人）
金牌　福島縣平民　田部　永次

工業圖案科卒業者（二人）
特別金牌　新潟縣士族　澁谷　興志雄
金牌　愛知縣平民　杉山　知多郎

附屬職工徒弟學校（五十一人）

木工科卒業者（三人）
金牌　靜岡縣平民　西村　勇助
同　東京府平民　城東　菊松
銅牌　東京府平民　松本　富次郎

金工科卒業者（五人）
金牌　東京府平民　石井　康治
同　東京府平民　田中　貞之
銀牌　東京府平民　林　辰三
同　東京府平民　石原　厳
銅牌　千葉縣平民　澁谷　俊一郎

木工科第三學年（五人）
銀牌　東京府平民　今田　定雄
同　茨城縣平民　谷田川　猪助
同　東京府平民　小松　義太郎
銅牌　東京府士族　幸山　健二
同　埼玉縣平民　坂本　朋太郎

金工科第三學年（十一人）
銀牌　茨城縣平民　今泉　廣龜
同　東京府平民　村田　一
同　東京府士族　山本　清三郎
同　東京府平民　小林　錄郎
同　東京府平民　杉浦　正次郎
銅牌　東京府平民　吉田　松太郎
同　東京府平民　中川　清三
同　東京府平民　杉浦　留五郎
同　東京府平民　戸田　幸一郎
同　東京府士族　高濱　達治
同　長野縣平民　小林　善次

機織科第三學年（四人）
銀牌　茨城縣平民　高橋　親
同　東京府平民　山田　豐次郎
同　東京府平民　木内　仲
同　東京府士族　關尾　修三

木工科第二學年（四人）
銅牌　東京府平民　西山　力藏
同　愛知縣平民　牧野　雅男
同　宮城縣平民　佐々木　文之助
同　福島縣士族　湯澤　正

金工科第二學年（十七人）
銀牌　長野縣士族　中村　三太郎
銅牌　東京府平民　岩崎　甲子三郎
同　千葉縣平民　石井　榮一
同　茨城縣平民　塙　一貫
同　東京府平民　宮川　豐吉
同　東京府平民　渡邊　勤
同　東京府平民　冠木　清太郎
同　東京府平民　吉村　辰雄
同　福島縣平民　棚橋　弟丸
同　東京府士族　武田　友太郎
同　千葉縣平民　矢口　正三
同　東京府士族　古谷　英鉞
同　神奈川縣平民　秋元　伊三郎
同　東京府平民　酒井　藏吉
同　北海道平民　音崎　秀一
同　東京府平民　辻　毖一郎
同　東京府平民　木下　秀雄

機織科第二學年（二人）
銅牌　東京府士族　永田　信
同　東京府士族　平山　武夫

文部大臣祝詞

實業教育ハ實業界ニ要スル知識技能ヲ授ケ實業ノ改良刷新ヲ務メ以テ國利民福ノ增進ヲ圖ルヘキ人才ヲ養成スルニアリ今ヤ我邦前日ノ面目ヲ改メ規模ヲ擴張シ各種ノ事業茲ニ振作セラレ實業界益〻其人ヲ要スルノ時ニ際シ諸子ノ卒業ヲ見ルハ洵ニ國家ノ為ニ慶賀スヘキナリ而シテ工業教員養成所ヨリ出テタル卒業諸子ハ進ンテ工業教育ノ教職ニ從事シ學理ニ通シ實地ニ巧ナル適材養成ノ衝ニ當リ更ニ良好ノ成績ヲ擧ケヨ而シテ徒弟學校ヨリ出テタル卒業諸子ハ更ニ善良熟練ノ境域ニ歩ヲ進メ本校教育ノ主旨ノアル所ヲ體認シ各自其伎倆ヲ發揮シ以テ本校ノ望ニ副ハンコトヲ望ム本日ノ卒業證書授與式ニ際シ一言ヲ敍シテ祝詞トス

校長演說大意

前略本日卒業證書ヲ授與シタル者ハ工業教員養成所ニ在テハ十八名ニシテ從前ノ卒業者三百三十八名ニ加フルトキハ三百五十一名トシ又職工徒弟學校ニ在テハ三十二名ニシテ從前ノ卒業者三百八十七名ニ加フルトキハ四百十九名トス兩者共ニ未タ多數ノ卒業者ヲ出シタリト云フヘカラサルモ今ヤ善良ナル下級工業者ヲ急需スルノ時ニ方リ一ハ下級工業者ヲ教授スヘキ職ヲ執ル者他ハ自身善良ナル職工タルヘキ者ニシテ目下是等卒業者急需ノ秋ニ際シ其幾分ヲ供給スルヲ得ルハ本校ノ窃カニ欣フ所ナリ殊ニ卒業者ニシテ在學中學業佳良ナル者及勤勉ナル者共ニ多數ナルハ賞品及精勤賞牌ヲ受クル者多キヲ以テモ知ルヲ得ヘシ

今回ノ養成所卒業者ハ在學中ニ於テ既ニ大ニ教育ノ趣味ヲ悟得シ工業教育界ニ盡瘁セントスルノ意志ノ鞏固ナルハ從前ノ卒業者ニ比シ大ニ異ナル所アルヲ以テ他日工業教育上ノ效果多カランコトハ今ヨリ知ルニ難カラス且近時地方工業學校ノ新設ハ一二ニ止ルモ今回ノ卒業者ニシテ四名ハ兵役ニ關係シ一名ハ疾病ニ罹リ直ニ就職スル能ハサル者ノ外悉ク教職ニ就カントス而シテ養成所卒業者ニ對シ世間工業者ハ其知識技能アルヲ以テ之ヲ招聘セントスルモノ少カラスト雖モ卒業者ハ教職ニ從フヘキ義務アリ本人モ亦好テ此義務ニ服シ進テ教育者タルヲ希望セリ然レトモ工業界ハ能ク彼等ヲ待遇スルヲ以テ既ニ義務年限ヲ經過シタル者ノ如キハ去テ工業界ニ職ヲ執ル者ヲ增加シテ今ヤ教育界ニ職ヲ執ル者ハ總卒業者中約五割ニ減セリ故ニ教育界モ亦教員ヲ優待スルノ途ヲ講シ以テ永ク其職ニ在ラシムルノ要アラン又徒弟學校卒業者ニ至テハ世間需要ノ多キハ近時其比ヲ見サル所ニシテ數倍ノ人員ヲ出スルモ盡シ供給ノ不足ヲ告クルナラン是レ當ニ我工業ノ發展ニ伴フノミナラス教育アル善良ノ職工ヲ要望スル結果ナリトス

今ヤ善良ナル職工ノ需要ハ金工及木工業ニ止マラス他ノ工業ニ於テモ亦然ルヲ以テ先年徒弟學校ニ機織科ヲ新設セシニ同科卒業者ニ對スル需要ハ頗ル多ク本年ノ如キモ僅カニ其幾分ヲ供給スルニ止マレリ且本校ニ於テハ金屬小細工、電氣、色染、製版、製革、漆工及窯業等ノ工場アリテ皆相當ノ設備ヲ具有セリ而シテ是等ノ工業ニ於テモ善良ナル職工ヲ要スルヲ以テ之カ養成ニ關シ往々當業者ヨリ要求セラルヽニ依リ今回徒弟學校規則ヲ改正シテ以上ノ工業ニモ新ニ生徒ヲ收容シテ本校所設ノ當該工場ニ於テ實技ノ練習ヲ為サシメ以テ善良ナル職工ヲ養成センコトヲ期セリ

本日臨場セラレタル諸君ハ皆下級工業者ニ向テ同情ヲ表セラルヽコトヲ信スルヲ以テ余ハ諸君ニ訴ヘ以テ諸君ノ協力ヲ請ハント欲スルモノアリ即チ他ナシ今ヤ我邦ニ於ケル職工ノ總數ハ百万人ニ下ラス其勞銀ノ年額ハ二億圓ヲ超過スヘキヲ以テ我邦ニ於ケル職工ノ良否ハ我經濟ノ消長ニ關スヘキハ論ヲ俟タス是レ職工ハ直接生産ノ衝ニ當レリ故ニ工業ヲ以テ一國主要ノ業ト為スモノニ在テハ或ハ職工ノ教育ニ或ハ其品性ノ改善ニ關シ施設セサルモノナシ我邦ニ於テモ近年幸ニ職工ノ改善ヲ唱道スルモノナキニアラス又職工自身モ往々教育ノ當業ニ裨補スルヲ識認シ夜學校ニ通學スル者、漸次其數ヲ增加シタリト雖モ是レ實ニ九牛ノ一毛ノミ海外諸國ニ於テハ實業者ノ外為政者、經濟學者教育者ハ皆共ニ職工改善ニ關シ策スル所少カラサルニ反シ我邦ニ於テハ僅カニ少數ノ當業者其他好奇心アル教育者等ニ依テ策セラルヽノ外他ハ對岸ノ火災視スルノ憾ナキ能ハサルナリ然レトモ今ヤ物價ノ騰貴ト共ニ職工ノ勞銀ハ昂騰スルニ拘ラス勞働ノ效果ハ增加セサルヲ以テ我製品ハ單ニ其價格騰貴スルノミナレハ內外ニ於ケル販路ノ縮少スヘキヲ疑ハサルナリ何ヲ以テ之ヲ謂フカ曰ク我物價ノ騰貴ハ十年前ニ比セハ約五割七年前ニ比セハ約三割ナルモ近時民間工業ノ勃興及政府ノ建築事業、兵器製造等ノ為メ俄カニ職工ノ急需ヲ告ケ供給ノ之ニ伴ハサルヲ以テ勞銀ハ物價騰貴ノ比較以上ニ騰貴（諸職工ノ勞銀ハ十年前ニ比セハ九割又七年前ニ比セハ三割九分ヲ增セリ）シタルモ亦當然ノ數ナリトス而シテ此ノ如

（二二）

（二三）

キノ時ニ方テハ職工ノ去就往々頻繁ニシテ職業ニ忠實ナラサル者ヲ買用スルハ免レ難キヲ以テ勞働ノ效率上進セサルモ其結果タラサルナキヲ得ンカ以上ノ如キ狀況ノ下ニ職工ノ改善ヲ企圖シ延テ工業ノ進歩ヲ希望スルモ亦難カナ然ラハ如何セハ可ナランカ蓋シ職工ヲシテ技術乃至常識ヲ上進セシメ兼テ彼等ノ品性ヲ向上セシメ誠實ニ業ニ服セシムルノ方法ヲ講スルノ外他ニ多クアルコトナカラン而シテ此方法ヲ講スルニ方リ先ツ彼等ノ狀態ヲ調査シテ之ニ適應スルノ措置ヲ為スノ急務ナルヲ以テ頃日二百有餘名ノ職工ニ就キテ十數科目ヲ設ケ調査シタルニ統計ノ示ス所吾人案外ノ感ナキニ非サルモノ多シ今試ニ其調査セシ數科目ニ就キテ言ハンニ教育ハ尋常小學ノ卒業者二割八分餘ノ多數ニシテ無教育者之ニ亞キ二割五分餘ニ達シ高等小學ノ卒業者ハ二割弱ナリトス又日給額ハ大工、石工等建築業ノ職工ハ一圓以上一圓五十錢以下ヲ受クル者多數ニシテ三割九分其以上ヲ受クル者少數ニシテ其以下ノ者多數ヲ占ム機械職工ハ七十錢以上一圓五十錢ヲ受クル者六割二分ニ達シ織物、色染、印刷等ノ諸職工ハ四十錢以上六十錢ヲ受クル者四割三分餘ニシテ其以上ヲ受クル者少數ニシテ其以下ノ者多數ヲ占メタリ彼等ノ生活費ハ之ヲ知ルニ由ナシト雖モ居家ハ借家スル者固ヨリ多數ヲ占メ借家賃ハ月收ノ平均額一割三分強ニ相當セリ彼等ノ娛樂ハ其性格ヲ知ルニ必要ナルモ之ヲ明言セサル者多數ニシテ其明言シタル者ノ中ニハ酒、遊蕩、芝居、寄席等多數ニシテ三割八分ニ達シ碁、將棋等ハ却テ少數ナリ況ンヤ音樂、讀書等ニ於テオヤ其他職工ト為リタル動機ニ就キテハ其事實ヲ知ルヲ得サル者多數ナルモ之ニ亞ク者ハ家計上ノ都合ニ依リタル者一割八分ヲ占メタリ又彼等ノ財産狀態ニ關シテハ財産ヲ有スル者一割二分餘、貯金ヲ為シ又ハ講掛ヲ為ス者二割七分餘火災又ハ生命保險ノ加入者六分餘其他ノ六割四分ハ收入全額ヲ擧ケテ支消スル者ナリ

以上敍述シタル所ハ主トシテ東京市ノ職工狀態ノ一端ニシテ而カモ其人員ハ比較的少數ナルヲ以テ全國職工ノ狀態ヲ窺知スルヲ得サルハ勿論ナルモ彼等ノ中ニハ貯金、保險等ヲ為シ後顧ノ患ヲ豫防スル等性行ノ嘉尚スヘキ者アルト同時ニ多數ハ所謂其日暮シノ體ニシテ技術優良ナラス品性陋劣ニシテ一老下層者流タルヲ想起スルヲ得ヘシ而シテ彼等カ今日ノ境遇ニ至レル徑路ヲ考フルニ教育ノ程度低ク隨テ職務ヲ解スルノ知識乏シク勞銀ハ低廉ニシテ衣食住ヲ給スルニ足ラス所謂衣食足テ禮讓ヲ知ルノ餘裕ナキハ勿論住ハ陋屋ニシテ居ハ性ヲ移シ以テ品性ノ陶冶ニ資スルニ足ラス隨テ娛樂ノ如キモ極メテ卑野ニシテ終日ノ勞ヲ慰シ翌朝ニ於ケル心身ノ爽快ヲ期スルコト能ハサルナリ夫レ此ノ如ク多數職工ノ狀態ヲ觀察シ來ルトキハ歐米國ノ職工ニ比シ我レノ遜色アルモ亦已ムヲ得スト雖モ一歩ヲ進メ我職工ノ天賦ニ就キテ觀察セハ良工タルノ素地ヲ有スル者多數ニシテ伎倆ハ歐米職工ニ匹敵スルニ足ル者多キハ勿論若シ家貲豐ナルニ於テハ大學ノ教育ヲ受ケ工業上卓絶ノ技術者タルニ足ルノ資性アル者少カラサルモ不幸ニシテ年少既ニ幼工トナリ偶々職工間ノ惡弊ニ馴致セラレ終ニ今日アルヲ思ヘハ前ニ述ヘタル如ク今ニシテ彼等ノ技術乃至常識ト品性トヲ上進セシムルヲ必要トスルノ理由ハ實ニ爰ニ在リ而シテ是等上進ニ資スルノ方法ハ蓋シ一再ニシテ止マラスト雖モ將來職工タラントスル者ニ對シテハ目下各地徒弟學校ノ設置少カラサルヲ以テ小學卒業者ヲ勸誘シテ之ニ入學セシメ又現ニ職工タル者ニ在テハ彼等ヲ勸誘シテ成ルヘク本校カ施設スル補習夜學校ノ如キ學校ニ入ラシメ以テ各自ノ技術ニ要スル知識ヲ授ケ兼テ修身其他處世ニ資スヘキ事項ヲ授ケテ勞働ノ效果ヲ增進セシムルニ在リ然レトモ職工教育ノ他ノ半面ニ於テハ社會的ニ策スヘキ事業ノ多々アルコトヲ忘ルヘカラス則チ芝居、寄席、小說、音樂等ノ娛樂トスルモノニ就キ之ヲ利用シ知ラス識ラスノ間彼等品性ノ陶冶ニ益シ以テ精神教育ヲ補ヒ其他職工ノ家屋ヲ改良シ比較的廉價ニシテ爽快ナル家屋ニ住居シ家族團欒ノ興味ヲ解セシメ又特ニ職工ノ妻女ノ為メニ割烹裁縫等ヲ授ケテ齊家ニ資セシムル等學校教育ヨリハ寧ロ社會的方面ヨリ職工ノ福祉ヲ增進スルノ途ヲ講シ恒產アルト共ニ恒心ヲ涵養シ以テ良工タルノ素地ヲ發揮セシムヘキナリ而シテ是等社會的方面ニ屬スル事業ニ關シテハ實ニ社會先覺ノ人ヲ待テ遂行スヘキモノタルヲ以テ本日臨場セラレタル諸君ニ訴ヘ援助ヲ請ハント欲スル所以ナリ（後略）

○歌曲採用認可　長野縣ヨリ下伊那郡鼎村常高等小學校唱歌用トシテ「鼎村常高等小學校校歌（長野縣師範學校教諭淺井洌作歌長野縣下伊那郡高等女學校教諭井出茂太作曲）」ヲ、福井縣ヨリ小學校唱歌用トシテ「敦賀唱歌（敦賀高等小學校長[illegible]作歌東京高等師範學校助教授吉田信太作曲）」ヲ孰モ採用方文部省ヘ伺出テシニ依リ之ヲ認可セリ（文部省）

○通運

○航海奬勵認許證書下付　遞信省ニ於テ航海奬勵法ニ依リ三菱合資會社所有船若松丸ニ對シ本月二十四日ヨリ明治四十二年三月十九日マテ有效ノ認許證書ヲ下付セリ該船ハ明治三十五年四月二十二日帝國船籍ニ登錄セラレタル鋼製汽船（總噸數二千七百七十八噸二〇、最強速力十二海里九一）ニシテ同年二月十三日進水セシモノナリ（遞信省）

○帝國議會

○貴族院

○選擧人名簿確定　岩倉爵位頭ハ本月六日子爵ニ配付セル貴族院子爵議員補闕選擧人名簿ヲ一昨二十六日確定シテ子爵選擧管理者ニ交付セリ（宮內省）

○地方行政

○縣會　香川縣ニ於テ本月二十日開會ノ臨時縣會ハ同二十三日議事結了閉會セリ（香川縣）

○在外公館報告

○露領絕東ニ關スル法案　露國議會ニ於ケル露領絕東ニ關スル法案ノ件ニ付キ同國駐箚本野特命全權公使ヨリ去月十八日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（本月十三、二十六兩日本欄內參看）（外務省）

露國商工省ハ嚮ニ露領絕東沿岸貿易及內外定期航海補助費支出ニ關スル法案ヲ議會ニ提出シタルカ右法案ハ其後下院ノ委員會ニ付セラレ目下審查中ニ屬シ未タ議事日程ニ上ルニ至ラス

今十八日露國官報ハ下院ニ於テ財政委員會カ昨十七日商工省ノ提出ニ係ル幾多ノ法案ヲ審查シ原案ニ同意ヲ與ヘタリトシテ其法案ノ名稱ヲ列擧シタリ而シテ其內ニ露領絕東ニ關スル左記ノ法案アリ

一　西伯利州制第三百四十四條ニ規定セル沿黑龍總督ニ付與スル特ニ稅ヲ課シテ外國船舶ニ沿岸貿易ヲ許可スルノ權ヲ以テスル條項ヲ本年十月一日マテ延期シテ之カ效力ヲ有セシムルノ法案

二　浦潮斯德ト淸韓及日本諸港間定期航海補助費支出法案即チ浦潮斯德敦賀間每週一回ノ定期航海ヲ十一箇年間義勇艦隊ニ行ハシメ政府ハ之ニ對シ同艦隊ニ最初ノ第一年ニ九十二万五千留ヲ補助シ後ノ十年間ニ在リテハ初ノ一年ニハ七十七万五千留ヲ補助シ其次ノ年ヨリハ每年七十七万五千留ノ百分ノ三宛之カ補助ヲ減スルノ法案

○暹國「モルヒネ」輸入ニ關スル注意　暹羅國ヘ「モルヒネ」輸入ニ關スル注意ニ付キ盤谷駐在領事田邊熊三郎ヨリ本月三日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

當暹羅國ニ於テハ阿片ハ政府ノ專賣ト為リ居リテ若シ之ヲ輸入スル者アル場合ニハ一定ノ價格ヲ以テ之ヲ政府ニ買上ケラルヽカ若クハ之ヲ再輸出セシメラルヽナリ然ルニ阿片ノ主要成分タル「モルヒネ」ノ輸入ニ關シテハ元ト何等ノ制限ナカリシヨリ昨年來之ヲ多量ニ輸入シ之ニ二三他ノ藥品ヲ調和シテ丸藥ヲ製シ名ケテ戒煙丸ト謂ヒ其他種々ノ名稱ノ下ニ「モルヒネ」ヲ混用セル丸藥ヲ輸入シテ販賣スル者アリテ甚タ需要アルカ如シ而シテ其效能ニ至リテハ或ハ阿片煙喫用ノ惡習慣ヲ除去シ得ヘシト謂ヒ或ハ腹痛及其他ノ病患ヲ治癒スヘシト稱スルモ要スルニ其實即チ阿片ノ代用ニシテ既ニ專賣ノ重課ヲ蒙リ居ラサルコトヽテ其需要ノ多キコト亦怪ムニ足ラサルナリ是ニ於テ當國政府ハ

第7423号 本文

第7423号 本文

其阿片專賣ノ利益ヲ保護スルカタメ且ツハ相當ノ資格ヲ有セサル者ニ於テ斯ノ如キ劇藥ヲ亂用スルハ生命ニ危險ヲ及スノ虞尠カラサルヲ以テ駐ニ各國代表者ニ交涉シ其同意ヲ得テ「モルヒネ」ノ輸入ニ對シテモ阿片同樣ノ制限ヲ加フルコト、爲リ即チ當館ニ於テハ昨年四月四日附館令ヲ以テ以後帝國臣民ニシテ藥用ト認メラル、分量以上ニ「モルヒネ」ヲ輸入スル者ヲ直ニ再輸出セシメラル、コトアルヘキ旨居留民一般ニ告示シ置キタリ尙ホ當港稅關ノ內規ニ依レハ所謂藥用ト認メラル、分量トハ一人一箇年ニ付キ八「オンス」ト推定シテ相當ノ資格アル醫師若クハ藥劑師ヲ限リ其輸入ヲ許可シ若シ實際其分量以上ヲ要スル場合ニハ其必要ヲ證明セシメテ然ル後之ヲ許可スル筈ナリ近來本邦賣藥業者ニシテ往々「モルヒネ」ヲ含有スル丸藥ヲ製造シテ之ヲ當港ニ輸入シ稅關ノ拒絕ニ遇ヒテ再輸出セシメラル、モノアリ依テ茲ニ之ヲ報告シテ其注意ヲ惹ク

○新嘉坡米況　新嘉坡ニ於ケル米況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生岸倉松ヨリ本月二十五日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（本月十七日本欄內參看）（外務省）

暹羅各等米一九四、一八二、一七二ラングーン一等米一五九、五柴棍長粒一六四在荷高凡ソ暹羅二万ラングーン一万擔ニテラングーン一等及柴棍在荷ナシ市況沈靜

○觀象

中央氣象臺告示第百二十八號

天氣豫報暴風警報規程ヲ左ノ通相定メ明治四十一年四月一日ヨリ施行ス

但シ明治三十五年十二月二十七日中央氣象臺告示第百二十三號天氣豫報暴風警報規則ハ明治四十一年三月三十一日限リ廢止ス

明治四十一年三月二十八日　中央氣象臺

天氣豫報暴風警報規程

第一章　全國天氣豫報

第一條　全國天氣豫報トハ午後六時ヨリ翌日午後六時ニ至ル二十四時間ニ於ケル全國氣象ノ大勢ヲ豫告スルモノニシテ中央氣象臺ニ於テ之ヲ發ス

第二條　全國天氣豫報ハ毎日午前六時ノ調査ニ依リ之ヲ發ス

第三條　全國天氣豫報ハ風、晴、曇、雨、雪及氣溫等ニ就キ之ヲ發ス

但シ氣溫ハ其溫度ノ變化著ルシキ時ニノミ其豫報ヲ發ス

第四條　全國天氣豫報ハ全國ヲ十氣象區ニ分テ之ヲ發ス

第二章　地方天氣豫報

第五條　地方天氣豫報トハ午後六時ヨリ翌日午後六時ニ至ル二十四時間ニ於ケル地方測候所所屬廳管內ノ天氣ヲ豫告スルモノニシテ地方測候所ニ於テ之ヲ發ス

第六條　地方天氣豫報ハ毎日午後二時マテニ之ヲ發スヘシ必要ノ場合ニハ更ニ追報ヲ發スルコトヲ得

第七條　地方天氣豫報ハ風、晴、曇、雨、雪及氣溫等ニ就キ之ヲ發スヘシ

但シ氣溫ハ其溫度ノ昇降著ルシキ時ニ限リ發スヘシ

第八條　霜、出水、大雨等ノ虞アリト認メタルトキハ臨時ニ其豫報ヲ發スヘシ

第九條　地方天氣豫報ハ測候所所屬廳管內ヲ四區以內ニ分テ之ヲ發スルコトヲ得

第三章　全國暴風警報

第十條　全國暴風警報トハ本邦附近ニ風雨ノ虞アルヲ豫告スルモノニシテ中央氣象臺ニ於テ之ヲ發ス

第十一條　全國暴風警報ハ左ノ二種ニ分テ之ヲ發ス

風雨ノ強カラントスル虞アルトキ發スルモノ

暴風雨ノ虞アルトキ發スルモノ

第十二條　全國暴風警報ハ全國ヲ十氣象區ニ分テ之ヲ發ス

第十三條　天候平穩ニ復セントスルトキハ解警報ヲ發ス

第四章　地方暴風警報

第十四條　地方暴風警報トハ測候所所屬廳管內ニ暴風雨アルヲ豫告スルモノニシテ地方測候所ニ於テ之ヲ發ス

第十五條　地方暴風警報ハ左ノ三種ニ分テ之ヲ發スヘシ

風强カラントスル虞アルトキ發スルモノ

風雨ノ强カラントスル虞アルトキ發スルモノ

暴風雨ノ虞アルトキ發スルモノ

第十六條　地方暴風警報ハ測候所所屬廳管內ヲ四區以內ニ分テ發スルコトヲ得

第十七條　天候平穩ニ復セントスルトキハ解警報ヲ發スヘシ

中央氣象臺告示第百二十九號

地方天氣豫報地方暴風警報信號標式ヲ左ノ通相定メ明治四十一年四月一日ヨリ施行ス

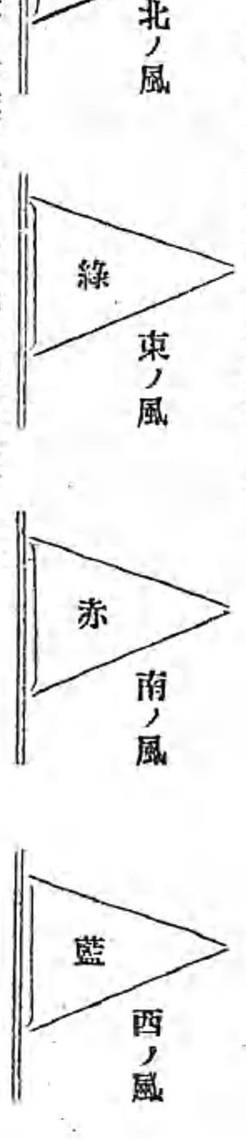
明治四十一年三月二十八日　中央氣象臺

地方天氣豫報地方暴風警報信號標式

第一章　地方天氣豫報

第一條　地方天氣豫報信號標ヲ分テ左ノ三種トス

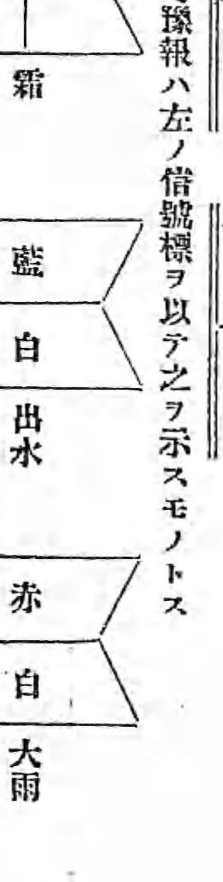
一風向ハ三角旗ヲ以テ之ヲ示ス其分類左ノ如シ



一晴、曇、雨雪ハ方旗ヲ以テ之ヲ示ス其分類左ノ如シ

一氣溫ノ昇降ハ長旒ヲ以テ之ヲ示ス其分類左ノ如シ

第二條　臨時豫報ハ左ノ信號標ヲ以テ之ヲ示スモノトス



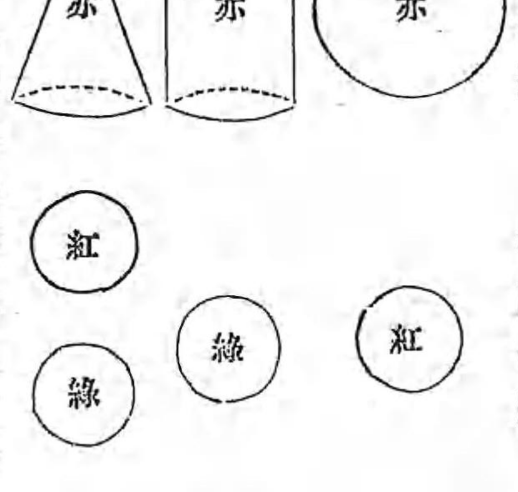
第三條　豫報用語ヲ重用スル時ハ其順序ニ依リ信號標ヲ連揭スルモノトス

第四條　天氣豫報信號標ハ毎日日沒マテ之ヲ揭揚スルモノトス但シ臨時豫報信號標ハ此限ニアラス

第二章　地方暴風警報

第五條　地方暴風警報信號標ヲ分テ赤球、赤圓筒、赤圓錐ノ三種トシ夜間ハ紅燈ヲ以テ球ニ綠燈ヲ以テ圓筒ニ紅綠二燈ヲ以テ圓錐ニ代用ス其分類左ノ如シ

晝間信號　夜間信號　解釋



風強カルヘシ

風雨強カルヘシ

暴風雨ノ虞アリ

第六條　地方暴風警報信號標ハ左ノ割合ニ據ルモノトス但シ球ノ直徑ハ三尺以上トス

	直徑	高サ
球	一、〇	
圓筒	〇、七	一、一
圓錐	一、一	一、一

第七條　地方暴風警報信號標ハ地方測候所ヨリ發シタル地方暴風警報ニ依リ揚卸スルモノトス

附則

第八條　土地ノ情況ニ依リ圓筒、圓錐ヲ缺クコトヲ得

○全國天氣豫報

三月二十八日

第一區	北ノ風、概ネ曇
第二區	北又ハ西ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ
第三區	第二區ニ同シ
第四區	第二區ニ同シ
第五區	第二區ニ同シ
第六區	第二區ニ同シ
第七區	北又ハ西ノ風、概ネ曇但シ雪模樣アリ
第八區	第二區ニ同シ
第九區	第七區ニ同シ
第十區	第七區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

三月二十七日午前九時發　北又ハ西ノ風、晴

三月二十七日午後四時發　北ノ風、曇後晴

○暴風警報　三月二十七日午前八時四十分二乃至四區ノ沿海、同日午後四時十五分五區、七乃至十區沿海ノ警戒ヲ解ク

○地震　父島外三箇所ノ地震報告左ノ如シ

父島	三月二十七日	午前四時三十分十一秒	微（感覺ナシ）	
岐阜	同	午前八時一分二十六秒	微（感覺ナシ）	性質緩
福井	同	午前八時一分三十秒	微（感覺ナシ）	
彥根	同	午前八時一分三十一秒	微（感覺ナシ）	

（以上中央氣象臺）

○土地收用公告

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　宇治川電氣株式會社

事業ノ種類　發電用水路掘鑿竝河川溝渠附替

起業地　滋賀縣滋賀郡石山村、京都府宇治郡笠取村、宇治村、久世郡宇治町地內

右公告ス

明治四十一年三月二十八日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス

起業者　津屋崎馬車軌道株式會社

事業ノ種類　軌道敷設、道路及溝渠變更

起業地　福岡縣宗像郡下西鄕村、宮地村、津屋崎町地內

右公告ス

明治四十一年三月二十八日　內閣總理大臣　侯爵西園寺公望

○廣告

○圖書發行

本局編纂

一法令全書　明治四十一年第貳號　全一册　代價郵稅共金十八錢　但シ郵送ヲ要セサルモノハ金四錢ヲ減ス

右本月二十五日發行本局直賣ノ外左記官報販賣所ニ於テ販賣ス

明治四十一年三月　印刷局

官報販賣所

販賣區域	位置	
東京府、群馬縣、千葉縣、茨城縣、栃木縣、神奈川縣、埼玉縣、山梨縣	東京市京橋區銀座一丁目	大日本圖書株式會社
大阪府、兵庫縣、和歌山縣、鳥取縣	大阪市西區靭中通一丁目	玉手弘通　合資商報會社
京都府、奈良縣、滋賀縣	京都市上京區三條通東洞院東入	合名會社永東書店
靜岡縣、愛知縣、三重縣、岐阜縣	名古屋市京町四丁目	早速勝三
廣島縣、岡山縣、島根縣、山口縣	廣島市大手町二丁目	木村許一郎
香川縣、高知縣、愛媛縣、德島縣	丸龜市大字富屋町	石田忠兵衛
福岡縣、長崎縣、佐賀縣	福岡市博多中島町	長崎次郎
熊本縣、大分縣、宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣	熊本市新町二丁目	高橋モト
新潟縣、長野縣、福井縣	新潟市本町通四番町	宇都宮源平
石川縣、富山縣	金澤市片町	
北海道、宮城縣、福島縣、岩手縣、青森縣、山形縣、秋田縣	仙臺市東三番町十八番地	佐々木重兵衛

○檢定教科用圖書

高等小學校唱歌科兒童用

敎育勅語唱歌　全一册　定價金六錢

明治四十一年三月二十五日修正再版發行

著作者　福井縣平民　友田宜剛　發行者　東京府東京市下谷區櫻木町二番地東京府平民　岩田僊太郎

右明治四十一年三月二十七日檢定ス

明治四十一年三月　文部省

○口座脫退

左記ノ者ヨリ郵便振替貯金口座脫退ノ請求アリ

明治四十一年三月　郵便爲替貯金管理所

番號	住所	氏名
八六五七	大阪市南區心齋橋通安堂寺町南エ入	奈良九蔦島九龜本店
一〇二〇三	同市西區江ノ子島東ノ町十一番地	三崎シゲ

○傳習生募集

當局ニ於テ今般男子及女子通信傳習生ヲ募集ス志願者ハ左項ヲ了知シ出願スヘシ

明治四十一年三月　東京郵便局

年齢　男子ハ滿十三年以上滿十九年以下、女子ハ滿十三年以上滿二十年以下ニシテ夫ナキ者

試驗　高等小學卒業程度ニテ讀書、作文、筆蹟、算術、地理、理科竝ニ英語ヲ科セス

手當　在學中男子ハ日額金二十五錢女子ハ金十五錢ヲ給ス

卒業　卒業後初給男子ハ日給三十錢以上女子ハ二十錢以上ノ通信事務員ニ採用シ尚ホ四箇月毎ニ勤勉手當ヲ給ス

保證　保證人ハ東京府、埼玉縣、千葉縣及山梨縣下ニ居住シ土地又ハ家屋ヲ所有スルカ若クハ所得稅ヲ納ムル丁年以上ノ男子一人ヲ要ス尚ホ女子ハ市内ニ於テ相當監督者ノ家ニ居住スルヲ要ス

願書　受附ハ來ル四月二十日限、試驗期日ハ同二十七、二十八兩日トス書式其他詳細ノ手續ハ東京市芝公園第十三號地當局分室監理課養成掛ニ承合スヘシ但シ書面照會ハ郵券封入ヲ要ス

○免許證下付

今般左記ノ者ニ對シ案内業者取締規則第二十條ニ依リ免許證ヲ下付セリ

明治四十一年三月　長崎縣

免許證番號	外國郵便ノ種別	住所	氏名
一	露語	長崎市本籠町五十七番地士族	杉山常正
二	同	同市梅香崎町五番地	林田房治
三	同	同市大浦郷五百五十三番戸寄留	椎名岡底
四	英語	同市大浦町三十三番地第十七號寄留	川浪理一
五	露語	同市浦上淵稻佐郷三百二十四番戸	山田高吉
六	英語	同市大浦郷千三百四十五番地	東海安次郎
七	同	同市本籠町四十六番地	平松勘四郎
八	同	同市西山諏訪公園内	圓城寺安太郎
九	同	同市酒屋町二十九番戸寄留	山崎惣太郎
一〇	同	南高來郡口ノ津村五百十三番戸	原田吉次郎
一一	同	同郡同村五百十三番戸第二號	荒木虎太郎
一二	露語	同郡小濱村八百二十八番地	豐村邦明
一三	同	長崎市浦上淵稻佐郷二百六十七番地平民	有田辰雄
一四	同	福岡縣門司市東川端町二丁目千六百七十八番地同居	
一五	英語	福岡縣門司市大字門司三千百二番地平民	渡虎雄
一六	露語	山口縣下關市大字岬之町七十九番地居住	尾崎虎之助
一七	英語	長崎市小島郷二十七番戸	高橋元吉
一八	同	同市十善寺中野十三番戸	早田六郎
一九	露語	同市下筑後町三十七番地第二號	前田右平
二〇	同	同市大字浦上淵稻佐郷百九十九番戸	梅津梅吉
二一	同	同市十善寺住江町二十番地	金井留三
二二	英語	同市大浦百四番地平民	藤義廣
二三	同	福井縣敦賀郡敦賀町入船百四十番地寄留	貝塚暢三
		長崎市八幡町九十一番地	
		廣島縣廣島市國泰寺村八十二番地士族	
		長崎市新大工町五十九番地居住	

○購買入札

一新入切込石炭　四百八十万基
一幌内粉石炭　七百八十万基
一磐城三星粉石炭　二百四十万基
一磐城小野田粉石炭　二百四十万基
一以上各種入札保證金各自見積代價百分ノ五以上

右購買ス入札望ノ者ハ當所ニ出頭見本入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十三日午前十一時限入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ千住製絨所長工學博士大竹多氣擔任ス

明治四十一年三月二十八日　千住製絨所

一布海苔　三万基
以上孰モ六回ニ分納
一曹達灰　八万五千基
右五回ニ分納

第一號　夏羅袢袴下　二千八十八組　歩兵第六聯隊納
第二號　蚊帳　七十箇　歩兵第三十四聯隊納

以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、契約保證金落札價格百分ノ十以上、入札者ハ二年以來當該營業ニ從事スル旨郡市區町村長ノ證明アル者ニ限ル此證明書ハ入札當日午前八時マテニ當部ニ差出スヘシ

右購買ス入札望ノ者ハ來ル四月十三日マテ（執務時限内）ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書案、標本及仕樣書等熟覽ノ上同日午前十時マテニ入札書ヲ當部入札函ニ投入スヘシ即時開札ス

此契約ハ第三師團經理部長岡田稻三郎擔任ス

明治四十一年三月二十八日　第三師團經理部

一中等「コークス」　二十万基
一西洋鹽　二箇
一松炭　十万基
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上、契約保證金請負代價百分ノ十（圓未滿切上ケ圓止トス）、

右購買ス入札望ノ者ハ當部計算課ニ就キ入札心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十三日午後一時限營業證明書及入札保證金ヲ添ヘ同課ニ入札書差出スヘシ同時三十分同課ニ於テ開札ス

此契約ハ横須賀海軍工廠會計部長樫孝太郎擔任ス

明治四十一年三月二十八日　横須賀海軍工廠會計部

一和紙類　二十八點
一舶來洋紙類　十點
以上神戸及兵庫納
一文具類　二十四點
一「インキ」類　十七點
一帶革　二點
以上神戸納
右來ル四月十三日神戸營業事務所ニ於テ入札執行
一革製品　五點
湊町納
右來ル四月十三日湊町營業事務所ニ於テ入札執行
以上入札保證金賣買總代金百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
一窯硝子板　四點
一坩堝　百十箇
一「トランシット」　一組
以上新橋納
右來ル四月四日當部ニ於テ入札執行
一電氣用品　十點
一革製品　八點
以上新橋納
右來ル四月十三日當部ニ於テ入札執行
一「トラックフォーク」　五百挺
一鐵「ビーター」（柄ナシ）　五百八十挺
一「ショベル」　九百挺
一銀塊　二千五十匁
一鐵「リベット」　八千八百封
一「ヴァキュームゲージ」　百箇
一「コーパルヴァニシュ」　二百五十英哦
一「ゴールドサイズ」　三百十二半英哦
一「ボデーヴァニシュ」　九十七半英哦
一丹礬　三千封
以上上野納
一「レッドガー」銑鐵　二百噸
隅田川納
一堅木炭　一万千五百五十貫匁

一同　二万二千貫匁
以上日光上野隅田川間又ハ小山前橋間若クハ高崎大宮間納
右來ル四月十三日上野營業事務所ニ於テ入札執行
一鑄物用骸炭　五万斤
一「ガードセリー」銑鐵　百五十噸
一眞鍮汽鑵管　三百本
一同　二百本
一地金類　十點
一護謨製品　四點
以上神戸納
一米國松角材　尺締四百本
大阪安治川口納
一堅木炭　二万貫匁
米原姫路間納
一同　五万貫匁
新井和田山間及福知山石生間納
右來ル四月十三日神戸營業事務所ニ於テ入札執行
一彩料類　二點
湊町納
右來ル四月十三日湊町營業事務所ニ於テ入札執行
一種油　五十石
一錫塊　二千封
一銅塊　二千封
一銅棒　百本
以上下ノ關納
一堅木炭　四万五千貫目
下關小月厚狹三田尻伊佐納
右來ル四月十三日下關營業事務所ニ於テ入札執行
一石油　二百石
一種油　百二十石
以上長野納
右來ル四月十三日長野營業事務所ニ於テ入札執行
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ前記各部所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時限入札書ヲ同所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳計理部長圖師民嘉擔任ス

明治四十一年三月二十八日　帝國鐵道廳計理部

一竝枕木（新形）　三万挺
一轉轍器用及橋梁用枕木　十三點
以上入代人吉間納
一竝枕木（新形）　二万千四百挺
一轉轍器用及橋梁用枕木　十二點
以上鹿兒島吉松間納
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右購買ス入札望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル四月十三日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳鹿兒島出張所長心得藤井九万三擔任ス

明治四十一年三月二十八日　帝國鐵道廳鹿兒島出張所

○購買入札公告中訂正

本月十三日本欄内掲載購買入札公告中契約擔任者「加藤勝次郎」ヲ「安松虎雄」ニ同二十日同上「看守長伊東政房」ヲ「典獄安松虎雄」ニ孰モ訂正ス

明治四十一年三月二十八日　山形監獄

○請負入札

一人用蚊帳　二百箇
二人用同　四百五十箇
以上入札保證金各自見積價格百分ノ五以上

右製作請負望ノ者ハ入札前日マテ（執務時間中）ニ當廠ニ出頭入札人心得書、契約書案、標本及仕樣書等熟覽ノ上來ル四月十五日午前十一時マテニ當廠ニ入札スヘシ即時開札ス

此契約ハ大阪陸軍被服支廠長三井清一郎擔任ス

明治四十一年三月二十八日　大阪陸軍被服支廠

○工事請負入札

一東京帝國大學農科大學動物學教室製絲室及渡廊下新營工事二棟此建坪三十六坪

右入札ニ付シ來ル四月十一日午前十時三十分當掛ニ於テ開札ス請負望ノ者ハ當掛ニ就キ仕樣書、繪圖面、東京帝國大學工事竝ニ物件入札及請負規則、現場等熟覽ノ上二年以來其業ニ從事シ且ツ見積金額二分ノ一以上ニ相當スル工事ヲ直接ニ請負ヒタル經歷ヲ有スル證明書ヲ開札期日ノ一日前マテニ入札執行ノ場所ニ差出シ承認ヲ受ケ入札保證金ハ見積金額百分ノ五以上ヲ開札時刻三十分前マテニ入札書ハ開札時刻前五分以内ニ入札執行ノ場所ニ差出スヘシ

此契約ハ東京帝國大學臨時建築掛長山口孝吉擔任ス

明治四十一年三月二十八日　東京帝國大學臨時建築掛

富山線富山停車場構内假官舍其他新設工事
一盛土　約立　三百三十七坪
一假官舍及附屬建物　十六棟約二百七十一坪
其他
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）

右請負望ノ者ハ當所ニ就キ入札人心得書、契約書案、示方書、圖面及現場等熟覽ノ上來ル四月十三日午前十一時限入札書ヲ當所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ帝國鐵道廳富山建設事務所長遠武勇熊擔任ス

明治四十一年三月二十八日　帝國鐵道廳富山建設事務所

正誤

本月四日本欄不能送付書類ノ項中一段四行割書三、二六〇番地ハ三、二六二番地ノ誤植

○商業登記

支配人張寶善登記事項中左ノ如ク變更セリ
一明治四十一年三月十三日主人ノ住所及ヒ支配人ヲ置キタル場所ヲ上海英租界松江路エー第四號ニ移轉セリ
右明治四十一年三月十七日登記

在清國上海帝國總領事館

商號登記
一商號　勝武洋行
二營業ノ種類　賀屋營業
三營業所　安東縣四番通六丁目三番地一號
四商號使用者ノ氏名住所　安東縣四番通六丁目三番地一號
右明治四十一年三月十八日登記

在清國安東帝國領事館

鴨綠江渡江株式會社登記中左ノ通變更
（十一）明治四十一年三月十三日株主總會ニ於テ監査役加藤勇二ハ再任、監査役月成勳、甲島唯槌ハ退任左ノ二名監査役ニ當選シタリ
右明治四十一年三月二十日登記

清國安東縣市場通六丁目　高橋久吉
同所五番通四丁目一番地　杉原佐一郎

在清國安東帝國領事館

韓國興産株式會社登記事項中左ノ通變更ス
一取締役岸辰一ハ明治四十一年二月五日辭任シ左者同日取締役ニ就任セリ
韓國忠清南道懷德郡太田
一監査役内藤氏雄津田長四郎ハ明治四十一年二月五日辭任シ左者同日監査役ニ就任セリ
和歌山縣東牟婁郡新宮町三百七十五番地　内藤氏雄
同縣同郡三津ノ村大字赤木千六百九十一番地　津田長四郎
浦木清十郎
一明治四十一年二月二十九日各株ニ付キ金五圓宛拂込結了シタルニヨリ各株ニ付キ拂込ミタル株金額金三十圓ト變更ス
右明治四十一年三月十九日登記

京城理事廳

支配人登記
一支配人ノ氏名住所　仁川港本町二丁目四番地
一主人ノ氏名住所　大阪市西區北堀江通二丁目五番地
一主人ノ營業　銀行業
一支配人ノ用ユヘキ商號　株式會社第五十八銀行仁川支店
一支配人ヲ置キタル場所　仁川港本町二丁目三番地ノ一
右明治四十一年三月十八日登記ス

仁川理事廳

支配人登記
一支配人ノ氏名住所　仁川港本町四丁目一番地ノ八
一主人ノ氏名住所　仁川港本町四丁目一番地ノ八
一主人ノ營業　倉庫賃貸、商品保管、金錢貸付、通關、輸出入貿易、委託販賣、物品販賣、金物類、建築材料、被服類、皮革類、麻及同製品、船具、油類、鐵道材料、米雜穀、食料品、諸雜貨、諸器械、石炭、運送業
一支配人ノ用ユヘキ商號　合資會社秋田商會
一支配人ヲ置キタル場所　仁川港本町四丁目一番地ノ八
右明治四十一年三月十八日登記ス

仁川理事廳

第 7423 号 本文

○公示催告

右申請ノ要旨ハ別紙ノ通リ本月十三日ヨリ二週間内ニ申出ヅベキ旨公示催告ス

明治四十一年三月十七日

仁川理事廳

長崎縣小値賀島上町八百十四番地元長崎縣士族

不在者　弘治元年生

右ハ不在者ノ財産管理人ヲ選任シ其ノ權限ハ別紙ノ通リ定メラレタリ

明治四十一年三月十七日

上田區裁判所

判事　平岡信次郎

○行旅死亡人

本籍不詳

原籍不詳　佐藏

明治四十一年三月十四日　千葉縣北部關村役場

○臺灣銀行券發行週報

臺灣銀行券發行高報告（自明治四十一年三月九日至明治四十一年三月十四日）

		九、三、六	四、三、二
準備	金貨及金地金	四、九八九、九〇〇	四、九八九、九〇〇
	銀貨及銀地金	四、七九八、〇〇〇	四、七九八、〇〇〇
	計	四、九八九、九〇〇	四、九八九、九〇〇
保證	公債證書	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇
	商業手形	二、一四〇、〇〇〇	二、一四〇、〇〇〇
	計	四、一三五、〇〇〇	四、一三五、〇〇〇
發行高		四、一三五、〇〇〇	四、一三五、〇〇〇

明治四十一年三月十七日　株式會社臺灣銀行

○東京郵便局小國郵便總切時限

物ヲ二十八日横濱マデ汽車便送同地ヨリ以テ英國及歐洲ヘ差立ノ郵便ハ左ノ時刻ニ總切ル

	横濱	神戸	長崎
書留通常	同日午後十時半	二十六日午後四時	二十六日午後二時
小包	同日午後十時半	二十六日午後四時	二十六日午後二時
郵便物ノ發送	二十六日午後十時半	二十六日午後四時	二十六日午後二時

（備考）小包ハ米國及ポートリコ宛ノミ

○廣告

遠距離電話開通　今十八日ヨリ左ノ通リ開通ス
一、大阪ヨリ　一、名古屋ヨリ　一、京都ヨリ
右ニ付テハ從來ノ通話料ノ外ニ左ノ通話料ヲ申受ケ候事
一、大阪ヨリ　一、名古屋ヨリ　一、京都ヨリ
右ニ付テハ從來ノ通話料ノ外ニ左ノ通話料ヲ申受ケ候事
一、大阪ヨリ　一、名古屋ヨリ　一、京都ヨリ
右ニ付テハ從來ノ通話料ノ外ニ左ノ通話料ヲ申受ケ候事
一、大阪ヨリ　一、名古屋ヨリ　一、京都ヨリ
右ニ付テハ從來ノ通話料ノ外ニ左ノ通話料ヲ申受ケ候事
一、大阪ヨリ　一、名古屋ヨリ　一、京都ヨリ
右ニ付テハ從來ノ通話料ノ外ニ左ノ通話料ヲ申受ケ候事

○廣告　今十八日ノ官報ハ第四頁ニ掲載ス　○官報　今二十八日ノ官報ハ第二頁ニ掲載ス

第7423号　本文

第7423号 付録

付録

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項勳等ノ部ニ「勳六瑞」賜金ノ部ニ「一二〇」トアルハ明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勳六等瑞寶章及金百二十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又同項勳等ノ部ニ「勳七旭」年金ノ部ニ「四六」トアルハ同シク勳七等青色桐葉章及年金四十六圓ヲ授ケ賜ヒシ者又單ニ賜金ノ項ニ「六〇」トアルハ同シク金六十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩瀚ニ涉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

敍賜 勳等	敍賜 賜金	官位勳爵	氏名
○明治三十九年四月一日			
埼玉縣			
大里郡			
勳七旭	五〇	熊谷町長 正八位勳八等	荒木 度三
同	同	久下村長	吉田 清三郎
同	同	佐谷田村長	日向 佐一
同	同		須長 富夫
同	同		塚本 福齋
同	同	吉岡村揚井村組合村長	堀 宗禄
同	同	御正村長	持田 宗一
同	同	大麻生村長	新井 健吉
同	同	大幡村長	清水 銀三
同	同	肥塚村長	東 寛左衛門
同	同		黒田 清一郎
同	同	玉井村長	高橋 市三郎
同	同	奈良村長	青木 清太郎
同	同	長井村助役	長島 太平
同	同	秦村長	大島 彌久
同	同		茂木 昌一郎
同	同		椎橋 昌三郎
同	同		井上 金三郎
同	同	明戸村長	飯塚 岱藏
同	同	別府村長	明戸 周三郎
同	同		栗原 留三郎
同	同	深谷町長	竹之内 其治
同	同	大寄村長	小暮 隆太郎
同	同	新會村長	荒木 常四郎
同	同	中瀬村長	河田 文衛
同	同		澁澤 市郎
同	同	八基村長	橋本 芳郎
同	同	岡部村長	小林 徳次郎
同	同	榛澤村長	高橋 宇三郎
同	同	本郷村長	山崎 富太郎
同	同	本郷村助役	伊藤 房治郎
同	同	藤澤村長	大谷 幸治郎
同	同	武川村長	吉野 虎吉
同	同	花園村長	金子 虎吉
同	同		押田 直八
同	同	寄居町長	湯本 新藏
同	同	櫻澤村長	福島 庄太郎
同	同	男衾村長	森 重定
同	同	折原村長	町田 光五郎
同	同	鉢形村長	新田 園治
同	同	小原村助役	島田 長吉
同	同	本畠村長	淺見 園吉
北埼玉郡			
勳七旭	五〇	南河原村長	柳瀨 忠八
同	同	北河原村長	中村 勝助
同	同	星河村長	森 鯉登吉
同	同	星宮村長	小林 貞吉
同	同	持田村長	福田 庫三郎
同	同	太井村長	金子 治部左衛門
同	同	下忍村長	島崎 清太郎
同	同	忍町長	吉田 謹藏
同	同	長野村長	岡安 梅吉
同	同	荒木村長	粂川 貞三郎
同	同	屈巣村長	羽鳥 宇一郎
同	同	須影村長	田島 柳三郎
同	同	川俣村長	春山 徳太郎
同	同	羽生町長	三木 辰五郎
同	同	志多見村長	岡村 榮次郎
同	同	田ヶ谷村長	高橋 倉之助
同	同	笠原村長	常見 新助
同	同	種足村長	清水 壽棟
同	同	騎西町長	齋藤 庄三郎
同	同	高柳村長	田沼 清三郎
同	同	禮羽村長	松本 宗助
同	同	不動岡村長	横田 角次郎
同	同	樋遣川村長	塚越 釜太郎
同	同	三田ヶ谷村長	岡田 孝八
同	同	村君村長	田口 與左衛門
同	同	大越村長	齋藤 甚五郎
同	同	利島村長	石井 小太郎
同	同	川邊村長	山岸 平作
同	同	東村長	松島 要
同	同	原道村長	松村 邦吉
同	同	元和村長	田口 壽作
同	同	豐野村長	田村 庄太郎
同	同	澁堅村長	小山 平三郎
同	同	手子林村長	關根 長藏
同	同	中島村長	長島 英次郎
同	同	須加村長	川島 得太郎
同	同	三俣村長	堀江 忠四郎
同	同		岡田 左右吉
同	同	新郷村長	富岡 熊太郎
同	同	埼玉村長	關口 由太郎
同	同	廣田村長	荒川 町次郎
同	同	加須町長	野本 龜吉
同	同	水深村長	大熊 與兵衛
同	同	太田村長	田口 要吉
同	同		酒卷 房次郎
南埼玉郡			
勳七旭	五〇	岩槻町長	江藤 淸
同	同	豐春村長	小島 鎌四郎
同	同	內牧村長	關根 次兵衛
同	同	粕壁町長	關根 富士太郎
同	同	川通村長	中島 松之進
同	同	櫻井村長	田川 新三郎
同	同	新方村長	遠藤 倉之助
同	同	增林村長	今井 晃
同	同	大袋村長	栗原 永富
同	同	荻島村長	川上 道太郎
同	同	柏崎村長	吉田 俊一郎
同	同	和土村長	金井 大徹
同	同	新和村長	大塚 新太郎
同	同	出羽村長	中村 悅藏
同	同	蒲生村長	中野 文香
同	同	川柳村長	豐田 貞治
同	同		鈴木 仁左衛門
同	同	八條村長	小澤 謙助
同	同	潮止村長	田中 四一郎
同	同	大相模村長	中村 重太郎
同	同	越ヶ谷町長	小泉 市右衛門
同	同	大澤町長	井上 順之助
同	同	慈恩寺村長	關根 右馬之輔
同	同	日勝村長	佐川 重作
同	同	須賀村長	岡安 喜平治
同	同	百間村長	關根 甲子三郎
同	同	太田村長	長澤 巳助
同	同	久喜町長	平岡 廣
同	同	鷲宮村長 勳八等	本多 長五郎
同	同	清久村長	高木 亮助
同	同		關根 重藏
同	同	河合村長 勳八等	押田 彦太郎
同	同	綾瀨村長	飛田 百之助
同	同	平野村長	池內 中助
同	同	栢間村長	三須 保造
同	同		柴崎 竹次郎
同	同		青木 龜吉
同	同	篠津村長	折原 金吾
同	同	大山村長	渡邊 嘉藤次
同	同		八木橋 朝治郎
北葛飾郡			
勳七旭	五〇	栗橋町長	橋本 榮
同	同	靜村長	神田 正作
同	同	櫻田村長	染谷 九重郎
同	同	行幸村長	白石 杢一郎
同	同	幸手町長	鈴木 潔
同	同	上高野村長	江森 健三郎
同	同	高野村長	大島 得郎
同	同	權現堂川村長	石塚 清十郎
同	同	吉田村長	川島 庫平
同	同	八代村長	小林 隈次郎
同	同	田宮村長	松本 松太郎
同	同	杉戸町長	栗原 文助
同	同	堤郷村長	折原 昌之助
同	同		高橋 勝平
同	同	豐野村長	遠藤 榮太郎
同	同	松伏領村長	飯島 東一郎
同	同	旭村長	中村 網太郎
同	同	戸ヶ崎村長 勳八等	恩田 林藏
同	同	八木郷村長	岡庭 正之助
同	同	寶珠花村長	芝田 安平
同	同	富多村長	大作 新右衛門
同	同	南櫻井村長	小林 澤一郎
同	同	金杉村長	森 丑太郎
同	同		立澤 鼎
同	同	櫻井村長	吉田 運助
同	同	川邊村長	新井 慶十郎
同	同	三輪野江村助役	小島 信太郎
同	同	豐田村助役	中村 源藏
同	同		川上 清十郎
○明治三十八年十一月九日			
兒玉郡			
勳七旭	五〇	長幡村長	新井 貞治
○明治三十九年四月一日			
北足立郡			
勳八旭		六辻村長	細淵 寅象
同		笹目村長	森岸 柳次郎
單光旭日章		浦和町長 正六位勳六等	土肥 政芳
勳八旭			高橋 源之輔
同			關根 市藏
同			細井 平太
同		川口町長	福吉 友吉
同			淺井 增五郎
同		新田村長	白石 松之輔
同			山下 才之丞

第7423号付録

敍賜 勳等	賜金	官位勳爵	氏名
勳八旭		戸塚村長	鈴木啓藏
同			野口順平
同		谷田村長	野口義作
同			前川正則
同			細井竹次郎
同		上尾町長	永倉竹次郎
同			代田仙三郎
同		吹上村長	關口源左衛門
同			大谷賢太郎
同			須賀清作
同		宮原村長	村田龜藏
同			須田泰次郎
同		志木町長	高野武兵衛
同		鴻巣町助役	栗林安兵衛

入間郡

勳八旭		東金子村長	吉田嘉助
同		藤澤村長	石田平太
同		柏原村長	増田忠順
同		鶴瀬村長	横田源九郎
同			小野金三郎
同		福原村長	新井玉三郎
同		奧富村長	山崎兼三郎
同			新井儀平
同		高麗川村長	小岩井利重
同		三ケ島村長	沖田増五郎
同			原傳三
同			細淵源三郎
同			梅林金平
同			三田孝三郎
同			川口布司太郎
同		越生町長	島野長之助
同			瀧澤福太郎
同			平沼春太郎
同		原市場村長	本橋鱗次郎
同		福岡村長	吉野球之助

比企郡

勳八旭		東吉見村長	木村清夫
同		北吉見村長	藤崎千代作
同			小室元貞
同			平井幾太郎
同		明覺村長	馬場貞治

秩父郡

勳八旭			高橋源三郎
同		大瀧村長	山中與志惠
同		中川村長	町田龍太郎
同			淺見篤助

兒玉郡

勳八旭		兒玉町長	井田春太郎

大里郡

勳八旭		三尻村長	島野義智
同		男沼村長	田中初

北埼玉郡

勳八旭		岩槻村長	荒木熙平司
同		井泉村長	長谷川清次郎
同		大桑村長	中山正一
同		成田村助役	櫻井倚晪
同			石井高治
同			平野準之助
同			門井太市郎
同			田村盛吉
同			內田牧之助
同			八木原愛助
同			入江幾三郎

南埼玉郡

勳八旭		武里村長	森泉貞之助
同			中村近藏
同			井出庸造
同			河野孝義
同			會田善治
同			橋本辨藏
同		江面村長	宮內純
同			齋藤淺次郎
同		小林村長	吉田保造
同			中村長右衛門
同			鈴木久太郎

北葛飾郡

勳八旭			深井〆太郎
同			新井和平太
同			中江直次郎
同			富澤友吉
同		早稻田村長	石井宗四郎
同		三輪野江村長	飯島道治郎

○明治三十七年八月十九日

入間郡

勳八旭		鶴瀬村長	加治幸之助

群馬縣

○明治三十九年四月一日

勢多郡

勳七旭	五〇	上川淵村長	中澤久彌
同	同	敷島村長	茂木多造
同	同	芳賀村長	宇田邦三郎
同	同	桂萱村長	長沼佐文治
同	同	黑保根村長	星野耕作
同	同	東村長	松島友太郎
同	同	富士見村長	羽鳥多三
同	同	大胡町長	大竹勝衛
同	同	宮城村長	前原芳雄
同	同	下川淵村長	石原儀扶
同	同	木瀬村長	清水忠次郎
同	同		大澤喜代七
同	同		金子紋五郎

群馬郡

勳七旭	五〇		堀口久四郎
同	同	倉賀野町長	吉野常吉
同	同		長井水之助
同	同	瀧川村長	井田勝太郎
同	同	京ケ島村長	八木仙十郎
同	同		梅山龜吉
同	同	東村長	立木守三
同	同		都木勝彌
同	同	中川村長	湯淺又五郎
同	同	塚澤村長 勳八等	塚越藤三郎
同	同	六鄉村長	相川鶴吉
同	同	長野村長	白石唯七
同	同	久留馬村長	濱名里丸
同	同	室田町長	宮下清三郎
同	同		戸塚儀三郎
同	同	車鄉村長	後藤平太郎
同	同	箕輪村長	坂和長十郎
同	同	相馬村長	一倉意三郎
同	同	上郊村長	關根治部平
同	同		青木織之助
同	同	總社町長	都丸時松
同	同		間庭源造
同	同		櫻井榮三郎
同	同		高橋儀平
同	同		相川寛三郎
同	同	明治村長	森田周作
同	同		高橋小太郎
同	同	豐秋村長	平形庄吉
同	同	澁川町長	後藤善十郎
同	同	伊香保町長	大島甚左衛門
同	同	金島村長	都丸房治郎
同	同	長尾村長	鴻田山造
同	同	白鄉井村長	生方清作
同	同		飯塚熊太郎
同	同	岩鼻村長	五十嵐豐太郎

多野郡

勳七旭	五〇	吉井町長	安藤萬五郎
同	同	三波川村長	飯塚志賀
同	同	多胡村長	向井周彌
同	同	神川村長	新井保三郎
同	同	中里村長	山口九十郎
同	同		永野正太郎
同	同	神流村長	白岩重次郎
同	同	上野村長	黑澤萬吉
同	同	美九里村長	高瀨金四郎
同	同	新町長	高橋大三郎
同	同	平井村長	久米胎一郎
同	同	八幡村長	赤穗要八
同	同	入野村長	倉林茂十郎
同	同	美原村長	新井壽作
同	同		眞下保太郎
同	同	日野村長	小島芳五郎
同	同	藤岡町長	大戸作兵衛

北甘樂郡

勳七旭	五〇	黑岩村長	本多新太郎
同	同		笠原太平
同	同	高田村長	清水鶴吉
同	同		田村吉五郎
同	同	小坂村長	金井小彌吉
同	同	西牧村長	黛龍太郎
同	同		掛川佐一郎
同	同		市川虎太郎
同	同	青倉村長	小松倚阿
同	同	下仁田町長	市川孫八
同	同	馬山村長	神戸禎三郎
同	同		小柴龜吉
同	同	秋畑村長	田村恆太郎
同	同	小幡村長	田中宗三郎
同	同	福島町長	高橋中六
同	同	岩手村長	山崎萬吉
同	同	小野村長	白石榮三郎
同	同	富岡町長	古澤小三郎

碓氷郡

勳七旭	五〇	安中町長	金井愼三
同	同	原市町長	櫻井幹
同	同	里見村長	廣神定五郎
同	同	磯部村長	萩原量平
同	同	秋間村長	萩原榮太郎
同	同	西横野村長	武者寅吉
同	同	東横野村長	茂木健三郎
同	同	岩野谷村長	白石富士松
同	同	板鼻町長	福田彰三郎
同	同		柄澤藤三郎
同	同	後閑村長	鬼形直太郎
同	同		上原宇三郎
同	同	九十九村長	小林金次
同	同	坂本町長	市川岸郎
同	同	臼井町長	柴崎波吉
同	同	烏淵村長	下平餘文次

吾妻郡

勳七旭	五〇		田村喜八
同	同	坂上村長	上原定一郎
同	同	名久田村長	小林兵作
同	同	草津町長	黑岩忠四郎
同	同	伊參村長	森田安四郎

利根郡

勳七旭	五〇	川場村長	今井今助
同	同	久呂保村長	眞下彝次郎
同	同	川田村長	深津寅吉
同	同	糸之瀨村長	高橋豐三郎
同	同		高橋總次郎
同	同	薄根村長	長谷川寡之助
同	同	沼田町長	茂木蕃榮
同	同	池田村長	石田準太
同	同	久賀村長	神保勝次郎
同	同		原澤祐治郎

山田郡

單光旭日章	五〇	桐生町長正七位勳六等	甲斐信夫

勳七旭	同	境野村長	野邊三左
同	同	梅田村長	桁津貞八郎
同	同	韮川村長	小林德次郎
同	同	福岡村長	小池仙太郎
同	同	大間々町長	藤生一次郎
同	同	廣澤村長	中里繁彌
同	同	休泊村長	堀越浦二郎
同	同	相生村長	明戸松次郎

新田郡

勳七旭	五〇	太田町長	成田定三郎
同	同	強戸村長	岡部駒次郎
同	同	綿打村長	荒牧孫三郎
同	同	鳥之鄉村長	大島伊平
同	同	澤野村長	碓氷慶作
同	同	藪塚本町長	伏島作藏
同	同	九合村長	對比地幸吉
同	同	笠懸村長	蕪山德次郎
同	同	木崎町長	安藤一麿

邑樂郡

勳七旭	五〇	館林町長	宮杉啓藏
同	同	鄉谷村長	越澤順四郎
同	同	大島村長	大出喜平
同	同	大箇野村長	高瀨平一郎
同	同	赤羽村長	松本新太郎
同	同	六鄉村長	阿部作太郎
同	同	富永村長	石川理平
同	同	永樂村長	小林德太郎
同	同	中野村長	松原房次郎
同	同	長柄村長	島田梅三郎
同	同	渡瀨村長	谷津富三郎
同	同	海老瀨村長	市澤萬平
同	同	伊奈良村長	山岸淳三郎
同	同		瀨下義太郎
同	同	佐貫村長	齋藤金重郎
同	同	三野谷村長	小暮積造
同	同		石井榮八
同	同		熊倉評次郎

佐波郡

勳七旭	五〇	采女村長	小暮貞啓
同	同	伊勢崎町長	石原藏藏
同	同	上陽村長	高井宣昭
同	同	赤堀村長	龜井桂作
同	同	境町長	村上義郎
同	同	島村長	田島彌四郎
同	同	豐受村長	松本宗藏
同	同	剛志村長	石原眞次郎
同	同	殖蓮村長	川田勇作
同	同	東村長	牛久保喜平
同	同	三鄉村長	橫堀宇東
同	同		高橋敬太郎
同	同	茂呂村長	大澤啓太郎
同	同		高橋清平
同	同		岡本八十藏

北甘樂郡

○明治三十八年八月二日

勳七旭	五〇	丹生村長	宮澤義生

○明治三十九年四月一日

勢多郡

勳八旭		新里村長	峯岸儀三郎
同			羽島傳平
同			森田定治郎
同		北橘村長	今井曾兵衛
同			津久井和一
同		橫野村長	角田格七
同			小屋右兵衛
同		荒砥村長	阿部初太
同		粕川村長	猪熊源藏
同			井田宗三郎
同			長谷川敬七

群馬郡

勳八旭		佐野村長	馬場伊平
同			勅使河原太一郎
同		大類村長	根岸歸太郎
同		新高尾村長	湯淺信太郎
同		倉田村長	道川京太郎
同			新谷常次郎
同		國府村長	住谷林次郎
同			高野惠八
同		桃井村長	高野邊惣三郎
同			齋藤安五郎
同		小野上村長	齋藤芳平
同		片岡村長	片山慶作

多野郡

勳八旭			茂木金彌
同			高柳貞雄
同			吉江犬太郎
同			小林省三
同			新井利太郎
同			瀧澤武次郎
同			堀越賴三
同			黑澤信太郎

北甘樂郡

勳八旭		一ノ宮町長	橫田喜一郎
同			佐藤源七
同		磐戸村長	齋藤長太郎
同			高田宇七
同			臼田卯之吉
同			岡田三津吉
同			高橋嘉平
同		新屋村長	森平三郎
同			澤田吉五郎
同			吉江太三郎
同			佐々木才七

碓氷郡

勳八旭			村山初太郎
同			飯野吉三郎
同		豐岡村長	外處輝造
同			小板橋善松
同			山中兵三郎

吾妻郡

勳八旭			中島三平
同		原町長	新井伊三郎
同			篠原友吉
同		東村長	佐藤島吉
同			茂木壯兵衛
同		太田村長	須田文次郎
同			山田彌惣治
同		六合村長	市川久三郎
同		高山村助役	都筑爲吉
同			高橋源四郎
同		岩島村長	菅谷愼三郎
同			櫻井傳三郎
同			松木藤平
同		嬬戀村長	黑岩常五郎
同			平形龜三郎
同			萩原國三郎
同		澤田村長	關善平

利根郡

勳八旭			松水綾之助
同		水上村長	山田儀八
同			井上久次郎
同			蜂岸牛藏
同			池田瀧三郎
同			山口義三郎
同		利南村長	星野貝七
同		白澤村長	小林藤次郎
同		東村長	小林政太郎
同		古馬牧村長	增田弘左衛門
同		赤城根村長	吉野爲作
同		片品村長	林曾市郎

山田郡

勳八旭		川內村長	園田才三郎
同		毛里田村長	野村直次郎
同			宮下羊太郎
同		矢場川村長	長島友吉
同			蛭沼慶三郎
同			久保田健次郎
同			篠原浦十郎

新田郡

勳八旭		世良田村長	金子源助
同		尾島町長	高田宗規
同		生品村長	高橋要平
同		寶泉村長	中田多之吉
同			渡邊梅五郎

邑樂郡

勳八旭			飯塚宇十郎
同		千江田村長	新井濟兵衛
同		梅島村長	今成丈吉
同			奈良原與吉
同			田口紋次郎
同		西谷田村長	松本森松
同		大川村長	大澤武平
同			野村啓次郎
同		小泉町長	酒卷友三郎
同			村田悅太郎
同		高島村長	岩崎定六
同		多々良村長	今泉米造

佐波郡

勳八旭			貫井浦造
同		宮鄉村長	齋藤延太郎
同		芝根村長	大塚督太郎
同		玉村町長	大山貞太郎

○明治三十七年十一月二十三日

群馬郡

勳八旭		伊香保町長	木暮八郎

○明治三十八年九月十四日

山田郡

勳八旭		矢場川村長	相場傳吉

千葉縣

○明治三十九年四月一日

印旛郡

勳七旭	一〇〇	佐倉町長	吉田元次郎
同	同	成田町長	石原忠三郎

千葉郡

勳七旭	五〇		鈴木太郎吉
同	同	蘇我町長	國吉繁次郎
同	同	白井村長	高橋重藏
同	同	千城村長	押火喜三郎
同	同	都村長	市原直次郎
同	同	幕張町長	小川小平治
同	同	二宮村長	三山安左衛門
同	同	大和田町長	高橋竹松
同	同	睦村長	安原彌壽
同	同	豐富村長	白井閑五郎
同	同	檢見川町長	大野義一
同	同		日暮小二郎
同	同		大野倉吉
同	同	都賀村長	萩原顯之允

市原郡

勳七旭	五〇	五井町長	大野鐵次郎
同	同	千種村長	始關勇吉
同	同	姉崎町長	大野平次郎
同	同	菊間村長	市川福太郎
同	同	市原村長	岡本辭太郎
同	同	養老村長	岡崎常松
同	同	內田村長	鈴木幸吉
同	同	鶴舞町長	板倉政治
同	同	富山村長	長谷川近三郎
同	同		常住彥五郎
同	同		植田辨造
同	同		前田秀太郎

第7423号 付録

敍賜

勲等	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇		木村衞
同	同	八幡町長	萩原昇吉
同	同	東海村長	三橋和足
同	同	市西村長	中野中
同	同		桐谷傳作
同	同		積田龜吉
		東葛飾郡	
勲七旭	五〇	浦安村長	田中德次郎
同	同	南行德村長	田中忠右衞門
同	同	行德町長	中村操
同	同		金子宇右衞門
同	同	八柱村長	湯淺甚之助
同	同	市川町長	海津攻修
單光旭日章	同	正七位勲六等	吉田精一
勲七旭	同	高木村長	安藤啓之助
同	同		木村燊
同	同	小金町長	鈴木源次郎
同	同		竹内清三郎
同	同	流山町長	淺見喜兵衞
同	同	八木村長	稻生宅之助
同	同	新川村長	大作榮助
同	同	福田村長	荒卷作太郎
同	同	野田町長	宮野三五郎
同	同	旭村長	勝田秀五郎
同	同	七福村長	山崎藤二郎
同	同	木間ヶ瀨村長	岩本尹次
同	同	關宿町長	栗田陳保
同	同		中野治四郎
同	同	我孫子町長	中村一也
同	同	風早村長	坂本周藏
同	同	手賀村長	園邊岩次郎
同	同		湯淺太左衞門
同	同		岡田耕平
同	同	大柏村長	杉田豐次郎
同	同	法典村長	鈴木清
同	同		大塚一雄
同	同	千代田村豐四季村組合村長	澁島米三
同	同	田中村十余二村組合村長	染谷馬司
同	同		松島重右衞門
同	同	富勢村長	成島龜一郎
		印旛郡	
勲七旭	五〇	千代田村長	市原市之助
同	同	臼井町長	高村庄左衞門
同	同	富里村長	石原文太郎
同	同	八生村長	山田由太郎
同	同	内郷村長	清宮昇
同	同	久住村長	山岡元吉
同	同	和田村長	圓城寺榮亮
同	同	宗像村長	馬場辰光
同	同	志津村長	鈴木慶助
同	同	船穗村長	香取友吉
同	同	永治村長	小手理右衞門
同	同	安食町長	後藤榮助
同	同	白井谷清組合村長	松丸庄三郎
同	同	布鎌村長	長澤倉之丞
同	同	阿蘇村長	今井磯七
同	同	川上村長	鈴木辰助
同	同		野平七衞
同	同	六合村長	狩野新吾
同	同	彌富村長	島田忠次
同	同	公津村長	小川誠
同	同		岩澤禎之助
同	同		寶田俊
同	同		飯沼喜一郎
同	同		岩井庸之助
		長生郡	
勲七旭	五〇	東郷村長	加藤三郎治
同	同	新治村長	伊藤七太郎
同	同	二宮本郷村長	及川三則
同	同	茂原町長	板倉謙輔
同	同	豐榮村長	居鐵忠三郎
同	同	五郷村長	小出菊次郎
同	同	長南町長	佐久間親藏
同	同		諸岡太郎左衞門
同	同	東浪見村長	秋場一郎
同	同	太東村長	田邊元吉
同	同	高根本郷村長	高地七三郎
同	同	豐田村長	久我辰平
同	同	水上村長	石井喜一
同	同	南白龜村長	石川實之吉
同	同		齋藤義藏
同	同		中村成之
同	同		渡邊主計
同	同		大谷庄三郎
同	同	白潟村長	御園恒太郎
同	同	長柄村長	島山敬三
同	同	西村長	古市藤太郎
同	同		清宮陸
同	同		增田安五郎
		山武郡	
勲七旭	五〇	源村長	山本八三郎
同	同	大總村長	伊藤源之助
同	同	丘山村長	秋山三藏
同	同	大和村長	鶴岡華治郎
同	同	土氣本郷町長	伊藤政任
同	同	大網町長	岩佐春治
同	同	增穗村長	中村豐三郎
同	同	福岡村長	嘉瀨清之助
同	同	豐海村長	川島饒三郎
同	同	成東町長	伊庭弘道
同	同	日向村長	京相與助
同	同	大富村長	平澤平太郎
同	同	南郷村長	湖島長藏
同	同	緣海村長	伊藤伴三
同	同		平山伊曾次
同	同	松尾町長	押尾大次郎
同	同	豐岡村長	高宮貞
同	同	東金町長	高剛三郎
同	同		川島孫次郎
同	同	山邊村長	橋本熊次郎
同	同		鵜澤彌太郎
同	同		川島六太郎
同	同	横芝町長	宇井清太郎
同	同		渡邊九郎兵衞
同	同	白里村長	上代平左衞門
		香取郡	
勲七旭	五〇	滑河町長	大竹勢太郎
同	同	高岡村長	橋本莊作
同	同		卷島一夫
同	同	新島村長	椎名勇次郎
同	同		平野長右衞門
同	同	本大須賀村長	堀越才助
同	同	大倉村長	香取已之助
同	同		細根卓爾
同	同	小見川町長	滿石傳右衞門
同	同	森山村長	松本賢藏
同	同	山倉村長	齋木正藏
同	同	栗源村長	齋木清吉
同	同		秋山丑吉
同	同	久賀村長	香取安五郎
同	同	多古町長	宇井市郎左衞門
同	同		勝又增之助
同	同		土屋長增
同	同		前林庄輔
同	同	飯高村長	那須榮治郎
同	同	豐和村長	日色松太郎
同	同	中和村長	木内新左衞門
同	同	萬歳村長	鈴木吉藏
同	同	笹川村長	五十嵐莊太郎
同	同		飯田助作
同	同		宇野澤本藏
同	同	豐里村長	宮内孫右衞門
同	同		笹本莊三郎
同	同		高橋米吉
同	同		玉井伊之助
同	同		久保木兵吉
同	同		佐藤五左衞門
同	同		本城久右衞門
同	同	良文村長	布施茂助
同	同	八都村長	平野太十郎
		海上郡	
勲七旭	五〇		向後直藏
同	同	高神村長	寺島賢之助
同	同	本銚子町長	谷村常行
同	同	銚子町長	石上忠平
同	同	三川村長	宮内政之助
同	同		林五兵衞
同	同	浦賀足川組合村長	加瀨金治郎
同	同	豐浦村長	野口藤右衞門
同	同	西銚子町長	越川德太郎
同	同	旭町長	鏑木眞吾
同	同	豐岡村長	小池彌平
同	同	鶴卷村長	服部治右衞門
同	同		石毛長太郎
同	同	椎柴村長	佐久間米藏
同	同		木内孫兵衞
		匝瑳郡	
勲七旭	五〇	飯岡町長	布施健吉
同	同	椿海村長	高橋半藏
同	同	匝瑳村長	大木保藏
同	同		伊藤長次右衞門
同	同	須賀村長	金杉靜
同	同	豐畑村長	高橋源治郎
同	同	南條村長	齋藤憲治
同	同		山崎茂兵衞
同	同		林久作
同	同		大木茂
同	同		多田東作
同	同		佐久間庄藏
同	同		吉田龜太郎
同	同		椎名牛之助
		君津郡	
勲七旭	五〇	木更津町長	香々見儀助
同	同	清川村長	水野幸治
同	同		長谷川辰次
同	同	富岡村長	鈴木清三
同	同	吉野村長	武内三郎
同	同	鎌足村長	池田辰之助
同	同	青堀村長	津川鎭夫
同	同		重城殿
同	同		森國松
同	同	金田村長	野村辰之助
同	同	楢葉村長	小藤田幾藏
同	同	中村長	杉谷彌之助
同	同	三島村長	眞板新太郎
同	同	周南村長	田中政衞
同	同	貞元村長	鈴木祐太郎
同	同	飯野村長	稻村廣吉
同	同	環村長	林菊藏
同	同	大貫村長	山中關藏
同	同		齋藤新吉
同	同		毛利政次
同	同	龜山村長	朝生專夫
同	同	周西村長	大野甚太郎
同	同	小糸村長	豐田饒平
同	同	佐貫町長	大森俊
同	同	關豐岡組合村長	見本藤太郎
同	同	天神山村長	進藤佐吉
同	同	金谷村長	三浦丈男

勲等	賜金	官位勲爵	氏名
同	同		藤江小兵衞
同	同	長浦村長	米本寅
同	同	中郷村長	伊丹豐次郎
同	同		山下增五郎
同	同	波岡村長	大森市郎平
		夷隅郡	
勲七旭	五〇	上野村長	鈴木磐
同	同	清海村長	安西直一
同	同	總野村長	佐藤政吉
同	同	總元村長	江澤莊司
同	同		森與太郎
同	同	大多喜町長	白井豐
同	同		田中常吉
同	同	古澤村長	長野三代吉
同	同	國吉町長	久貝源一
同	同	中川村長	關確郎
同	同	東村長	高梨正助
同	同	御宿村長	式田啓治郎
同	同	浪花村長	市東伊三郎
同	同	大原町長	長島金夫
同	同	東海村長	吉清新次郎
同	同	長者町長	淺野甚平
同	同	中根村長	三上佐助
同	同	從八位	齋藤信道
同	同		今關吉太郎
同	同		關親忠
同	同		若林武司
		安房郡	
勲七旭	五〇	舘山町豐津村組合町村長	長谷川仲三郎
同	同		木村茂
同	同	西岬村長	原啓太郎
同	同	神戸村長	岡崎孝右衞門
同	同	富崎村長	石井嘉右衞門
同	同	豐房村長	鈴木周太郎
同	同		山本周吉
同	同	舘野村長	小原健夫
同	同	稻都村長	岡崎大吉
同	同	那古町長	長井慶二郎
同	同	船形町長	相川織江
同	同	八束村長	穗積彥一
同	同	富浦村長	川名正吉郎
同	同	勝山町長	龜島金之助
同	同	佐久間村長	高梨五五辰
同	同		小倉網五郎
同	同	瀧田村長	小倉尹司
同	同	白濱村長	立見常五郎
同	同	健田村長	佐藤伊太郎
同	同	豐田村長	伊曾儀平
同	同	丸村長	高橋美雄
同	同	南三原村長	大島邦任
同	同	和田町長	屋城市左衞門
同	同	江見村長	篠崎久治辰
同	同	太海村長	鈴木松五郎
同	同	曾呂村長	佐枝萬治郎
同	同	山基村長	佐藤角次郎
同	同	鴨川町長	福田友政
同	同	西條村長	飯塚耕太
同	同	天津町長	織田慶如
同	同	岩井村長	吉野逸太郎
同	同	吉尾村長	落合常三郎
同	同		小島啓二郎
同	同		宇山德太郎
同	同		平柳吉太郎
同	同	千歳村長	大川長三郎
同	同		鎌倉昭
同	同	保田町長	岩崎晉右衞門
同	同		和田富太郎
同	同	北三原村長	相澤善藏
同	同		高橋幸治郎
		東葛飾郡	
○明治三十八年五月二十四日 勲七旭	五〇	二川村長	飯田喜代松
		海上郡	
○明治三十八年六月四日 勲七旭	五〇	海上村長	宮内寅松
		千葉郡	
○明治三十九年四月一日 勲八旭		生實濱野村長	關谷幸次郎
同		椎名村長	篠崎太郎
同			藤井勇吉
同			今井喜代太
同			古川豐吉
同			長島金三郎
同			長岡德治郎
同		津田沼町長	中島佐内
同			豐田三郎兵衞
		市原郡	
勲八旭			桑田民太郎
同			早川文中
同		海上村長	岡田稻藏
同		市東村長	森有義
同			秋庭忠五郎
同		戶田村長	永野文太郎
同			武田榮之助
同		里見村長	久保田熊次郎
同			何木貞太郎
同			石橋久太郎
同			林不美男
同		高瀧村長	丸房治郎
同		湯津村長	今井保三
同		明治村長	福井豐三郎
		東葛飾郡	
勲八旭		塚田村長	高橋千之助
同		國分村長	三橋佳之助
同			藤城泰之丞
同			上原信太郎
同		川間村長	永井定吉
勲七瑞		船橋町長 從八位勲八等	深津方矩
勲八旭		葛飾村長	齋藤清八
同			石井己之助
同			木村音次郎
同		鎌ヶ谷村長	淺海銀次郎
同			石井德治
同			石渡啓治郎
勲六瑞		八幡町長 勲七等	堀貞教
勲八旭		明村長	月張傳兵衞
同			吉野幸助
同			砂川楓右衞門
同		梅郷村長	中村幸右衞門
同			望月時之助
同			大井新藏
同		二川村長	戶塚彥太郎
同		中山村長	田中常五郎
		印旛郡	
勲八旭		旭村長	梅澤常次郎
同			深山清治郎
同			岡田庄藏
同		大杜村長	植村國治
同			田口善左衞門
同		根郷村長	渡邊庄治
同			高宮村藏
同			越川和三郎
同		遠山村長	神崎熊太郎
同		本郷埜原組合村長	高橋慶治郎
同			中村光輔
同		八街村長	下村充
同			綿貫右馬之進
同			山本太郎左衞門
		長生郡	
勲八旭		八積村長	根本俊郎
同			市東國夫
同		日吉村長	伊藤龜吉
同		鶴枝村長	林吉太郎
同			麻生常治
同			細矢道太郎
同			柴崎民五郎
同			鈴木源次郎
同			森川廣
同			河野庄作
同			長谷川要
同			鈴川正衞
同		土睦村長	市原五三郎
		山武郡	
勲八旭			伊藤貞太郎
同			安井志正
同		瑞穗村長	金坂健藏
同			小川德四郎
同			高柳啓次郎
同			廣瀨傳三郎
同		睦岡村長	鈴木祥英
同			川面新治郎
同			勝俣喜太郎
同			鈴木篤太郎
同		千代田村長	小川大治郎
同			麻生音治郎
同			君塚周司
同			佐久間周治郎
同			成川重義
同		鳴濱村長	渡邊伊十郎
同			鶴岡剛藏
同			伊藤忠敬
同			成井儀太郎
同			富塚辰司
		香取郡	
勲八旭			高木竹松
同		吉田村長	大木健之助
同			鈴木利左衞門
同			樺與兵衞
同			石橋宗太郎
同			高柴榮太郎
同			久保木庄之助
同			小堀豐作
同		小御門村長	椿眞太郎
同		東大戶村長	萱谷藤次郎
同			富澤藤吉
同		香取町長	木村長治郎
同			日下部辰助
同		神代村長	木内剛
同			高木武右衞門
同			風祭兼次郎
同			篠塚敬之助
同			石毛己之助
同			石毛傳兵衞
同			高橋勇七
同			宇井安太郎
同			幸島芳藏
同		中村長	平山龜之助
同			鈴木安太郎
同		古城村長	鵜野吉造
同			多部田子之助
同		東城村長	鈴木助治
		海上郡	
勲八旭			崎山佐野右衞門
同		嚶鳴村長	鈴木儀左衞門
同			滑川藤兵衞
同			木内欽次郎
同			加瀨清右衞門
同			島田茂兵衞
同		海上村長	大胡定吉
同		富浦村長	加瀨要藏
		匝瑳郡	
勲八旭		共和村長	赤坐半平
同		平和村長	栗田策二

第7423号 付録

叙賜 勲等 賜金 官位勲爵 氏名

勲八旭 同 同 同 同 同
官位: 豐岡村長、東陽村長、白濱村長、野田村長
氏名: 布施武平、竹內啓太郎、加瀬與兵衛、宮川良之助、林半左衛門、大木卯之助

君津郡
勲八旭 同（以下同）
官位: 靜納村長、富津町長、馬來田村長、駒山村長、小櫃村長、松丘村長、竹岡村長、久留里町長、湊町長
氏名: 渡邊直司、齋藤文治郎、磯崎晋三郎、長谷川萬藏、小川米藏、高澤善六、伊藤榮吉、前田梅吉、石井增藏、三木文左衛門、牧野德三郎、平野幾次郎、白井菊之助、小倉金右衛門、鈴木周庵、高橋增次郎、山田周助、池田友雄、緒形長兵衛、伊東常吉、中後[illegible]藏、鈴木惣吉、大野直吉

夷隅郡
勲八旭 同（以下同）
官位: 老川村長、千町村長、布施村長、瑞澤村長
氏名: 永島倉太郎、就田直吉、井上雄輔、井上磐雄、八代眷三郎、齋藤莊作、佐藤善右衛門

安房郡
勲八旭 同（以下同）
官位: 九重村長、北條町長、國府村長、館町長、田原村長、東條村長、七浦村長
氏名: 石橋磯吉、濱田定治、栢尾度一、加藤音城、渡邊利七、川上直吉、小林專吉、植田利八郎、吉野幾藏、渡邊鏡二、石井鶴治郎、飯田幸次

○明治三十八年三月十五日
東葛飾郡
勲八旭 鎌ケ谷村長 皆川晃藏

○明治三十七年八月二十六日
印旛郡
勲八旭 白井谷清組合村長 風間錠作

○明治三十八年六月二十六日
勲八旭 中村橋兵衛

○明治三十七年七月二十四日
香取郡
勲八旭 滑河町長 根本悅

茨城縣

○明治三十九年四月一日
東茨城郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 上大野村長、下大野村長、稻荷村長、大場村長、酒門村長、吉田村長、綠岡村長、常磐村長、河和田村長、上中妻村長、長岡村長、上野合村長、橘村長、小川町長、下中妻村長、中妻村長、飯富村長、石塚村長、小松村長、西郷村長、岩船村長、伊勢畑村長、大貫町長、堅倉村長
氏名: 鑄田廣彥、鈴木雄之丸、飛田專藏、矢萩忠一、鬼澤昌太郎、深作子之吉、三田寺淺次郎、高倉菊三郎、小林彌之介、木村陸次郎、鳥羽田恒之介、信戶英之介、橋本忠成、藤咲條助、大圖清衛門、小圷君之助、關野兵吾、富永仙太郎、纓淵龜太郎、高須彥助、所寅之介、董田德三郎、加藤傳右衛門、石田輔七、飯島竹三郎

西茨城郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 宍戶町長、岩間村長、南川根村長、北川根村長、大原村長、大池田村長、七會村長、北山內村長、南山內村長、西山內村長、東那珂村長、北那珂村長
氏名: 鈴木重嗣、菅谷疊造、若菜爲五郎、上野長三郎、塙芳之介、赤尾杉理平治、阿久津仁一、大月敎千壽、青木右衛門、長谷川球市郎、長家辰治郎、野村良次郎

那珂郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 湊町長、中野村長、佐野村長、村松村長、石神村長、神崎村長、額田村長、菅谷村長、柳河村長、國田村長、芳野村長、木崎村長、瓜連村長、靜村長、大場村長、大宮町助役、大賀村長、玉川村長、檜澤村長、野口村助役、長倉村長、𡶌鄉村長
氏名: 多治見國明、大內春太郎、助川伊七、大谷新介、鶴志田實、清水安之允、川崎義郎、黑澤千十郎、小田倉平助、宮崎熊吉、軍司繁松、海老澤清次郎、五來寅松、青山恒之介、小泉三次郎、木內千吉、富山政之介、安齋幾之進、野上政雄、井坂正太郎、引田仙太郎、綿引英、小室政雄、堀江信寬、廣木玉吉、岡田昇平

久慈郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 坂本村長、久慈町長、西小澤村長、小里村長、黑澤村長、依上村長、大子町長、佐原村長、機初村長、金鄉村長、金砂村長、東小澤村長、幸久村長、高倉村長、山田村長、佐竹村長、佐都村長、諸富野村長、賀美村長、久米村長、天下野村長
氏名: 赤津德太、五來中之介、長山秀彥、佐藤信邦、益子繁、水澤源太郎、益子彥五郎、黑澤幸之介、大島經次郎、武石謙之助、小林彌重、須藤繼之介、石川常政、大內庄之介、稻川彌次、細谷治一郎、和田清之介、篠原仙十郎、井坂章一、柴田兵介、栗田知方、神長善五郎、北野佐一衛門、高杉健作、成井源三郎、木村藤九郎

同 同 同 同 同
官位: 生瀬村長、宮川村長、太田町長
氏名: 石井秋次郎、鈴木辰重郎、柴田藤衛門、石田潤之介、羽部靖

多賀郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 日立村長、松原町長、松岡村長、大津町長、河原子町長、國分村長、高鈴村長、高岡村長、日高村長、豐浦町長、櫛形村長、黑前村長、北中鄉村長
氏名: 佐藤仙三郎、石平三郎、阿久津忠平次、近藤義行、大內八十太郎、照山重夫、長山浩一郎、森島清見、石川敬三、滑川清藏、小野博、樫村猪之介、大津亥之吉、樫村民太郎、椎名[illegible]、綠川[illegible]

鹿島郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 夏海村長、大谷村長、鉾田町長、大同村長、矢田部村長、豐鄉村長、鹿島町長、輕野村長
氏名: 清宮久、山崎阜、淺井芳次郎、池田順之助、長谷川喜惣兵衛、笠貫亮造、鈴木茂助、野口蓋

行方郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 潮來町長、延方村長、太田村長、大和村長、津澄村長、武田村長、秋津村長、現原村長、立花村長、玉造町長、手賀村長、玉川村長、八代村長
氏名: 磯山爲吉、西山定次郎、丸木貞信、久保田熊次郎、齋藤龜吉、額賀銀之助、關口米次郎、小沼龜之助、舟串行藏、佐竹千代松、青木庄次郎、郡司仙太郎、小川松之助、三輪一郎、小沼源平

稻敷郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 江戶崎町長、沼里村長、君賀村長、阿見村長、舟島村長、木原村長
氏名: 大久保武郎、森永才助、關川一郎、湯原綃一、吉田貞藏、坂本寄七

同（以下同）
官位: 古渡村長、十余島村長、阿波村長、大須賀村長、太田村長、高田村長、根本村長、長戶村長、長竿村長、源清田村長、馴柴村長、岡田村長、朝日村長、君原村長、伊崎村長、柴崎村長、大宮村長
氏名: 山崎義造、永長忠平、坂本峯吉、藤生一郎、小泉廣城、吉小神仁、神保善藏、大德島吉、池田富次郎、岡野省雄、鈴木壽三郎、勲八等 櫻井清四郎、川村喜太郎、根本新作、大久保意吉、中山鑒助、根本治郎吉、宮水熊藏、大塚茂、武田富之助

新治郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 高濱町長、美並村長、九重村長、小幡村長、藤澤村長、眞鍋村長、上大津村長、安飾村長、下大津村長、關川村長、中家村長、志筑村長、三村長、柿岡町長、瓦會村長、戀瀨村長、林村長、七會村長、小櫻村長、斗利出村長、新治村長、芦穗村長、佐賀村長、東村長、牛渡村長、園部村長、土浦町長 從七位、石岡町長
氏名: 小松崎美代之助、古川定助、關本國之助、櫻井清藏、塚崎彌三郎、菊間久治、入江柳平、栗原安兵衛、橫田尙文、小松崎小七郎、中山敬司、佐野眞之助、橫手信太郎、福田信太郎、松川仙吉、渡邊藤吾、友部重太郎、河合安太郎、君山佐太郎、山田藤太郎、淺野廣三郎、飯沼德松、足立行次郎、貝塚民三郎、中村吉太郎、佐賀貫、眞家庄之助、檜山信邦、矢口大次郎

筑波郡
勲七旭 五〇 同 同
官位: 谷田部町長、小張村長、板橋村長
氏名: 庄司慶司、根本龜次郎、市村貞吉

同（以下同）
官位: 久賀村長、三島村長、谷井田村長、豐村長、十和村長、福岡村長、眞瀨村長、島名村長、旭村長、上郷村長、吉沼村長、高道祖村長、作岡村長、田水山村長、菅間村長、田井村長、北條村長、小田村長、大穗村長、葛城村長、小野川村長
氏名: 片山惣七郎、飯塚好三郎、直井郁太郎、小島鎌造、沼尻文吾、中澤茂八、飯泉傳一、山田幸之助、石川慶喜、久保田雄輔、糸賀新八、矢島清、吉葉正男、前野作平、大里銀治、青木源三郎、杉田清治郎、黑田慶三郎、長島愼彌、白井彌太郎、櫻井善三郎、中山達

眞壁郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 下館町長、養蠶村長、河間村長、中村長、五所村長、伊讚村長、川西村長、騰波ノ江村長、黑子村長、嘉田生崎村長、鳥羽村長、上野村長、大村長、古里村長、谷貝村長、紫尾村長、眞壁町長、樺穗村長、雨引村長、大國村長、新治村長、小栗村長
氏名: 早瀨健、藤田善次郎、廣瀨清三郎、中澤正作、谷中彥次郎、新山金之丞、田所孫三郎、篠崎七三郎、磯山六兵衛、浦田藤馬、猪瀨宇一郎、橫瀨忠右衛門、河原井義一郎、渡邊彌作、坂田織錦、谷口彌五郎、尾見延壽、古橋國之助、尾野壽作、藤沼唯平、武井喜代次、戶頃市造、藤田市太郎、深谷久太郎、小田部庄右衛門、長岡寬十郎、島田健市郎、廣澤善一郎、飯村爲三郎、中原義次

結城郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 水海道町長、石下村長、絹川村長、菅原村長、中結城村長、西豐田村長、豐加美村長、名崎村長、下結城村長、大形村長、岡田村長、飯沼村長、大花羽村長、玉村長、豐岡村長、上山川村助役、安靜村長、三妻村助役、結城町長 從七位勲七等
氏名: 長塚重明、新井球三郎、平澤周作、齋藤伊吉、高島長治郎、草間清平、稻葉四郎、染野保三郎、宮本和七郎、松田太一郎、增田久吉、秋葉源治郎、草間輔二郎、倉田竹三郎、飯田盛之助、池田重郎平、雨甲斐文之助、湯本佐吉、落合島次郎
勲六瑞 同 宮田保太郎

猿島郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 五霞村長、靜村長、生子管村長、七重村長、神大實村長、新鄉村長、岡鄉村長、香取村長、長田村長、幸島村長、猿島村長、逆井山村長、石掛村長、飯島村長、中川村長
氏名: 栗原信平、田村兼三郎、佐怒賀政一、木村喜十郎、木村岩三郎、針谷高之助、秋庭彌一郎、三田周助、諏訪數馬、高橋義三郎、齋藤忠次、須藤辨次郎、飯塚靜、大橋芳兵衛、渡邊元治、中山清次郎、倉持三右衛門、小林林藏、橫川作次郎、倉持長也、船橋綠次郎、宮山溫

北相馬郡
勲七旭 五〇 同（以下同）
官位: 寺原村長、六鄉村長、小文間村長、取手町長、高野村助役、高井村助役、文村長、文間村長
氏名: 青芳覺右衛門、今關甚左衛門、大野山松、寺田登二、鮎川戶一郎、廳生信次郎、海老原德松、石川大助

同 同 同 同 同
官位: 川原代村長、大野村長、稻戶井村長、內守谷村長、小絹村長
氏名: 木村源太郎、椎名角治、飯田治助、新井芳之助、吉田万次郎

○明治三十九年三月二十九日
行方郡
勲七旭 五〇 行方村長 磯山周造

○明治三十八年十月三十日
眞壁郡
勲七旭 五〇 河內村長 齋藤麻之介

○明治三十八年七月二十八日
猿島郡
勲七旭 五〇 古河町長 潮田資敬

○明治三十八年十一月三十日
北相馬郡
勲七旭 五〇 元守谷村長 平尾讓吉

○明治三十九年四月一日
東茨城郡
勲八旭 同（以下同）
官位: 白河村長、竹原村長、渡里村長、山根村長、圷村長、澤山村長
氏名: 海老澤久吉、郡司渙、木村豐彥、宮內彌惣治、小野瀨政之介、笠野孝八、小園江尙正、大高鷹介、大森兵左衛門、德宿壽吉

西茨城郡
勲八旭 同 同 同
官位: 笠間村長、西那珂村長 正七位
氏名: 飯田榮三郎、深谷文哉、原百之、飯田信三郎

那珂郡
勲八旭 同（以下同）
官位: 川田村長、上野村長、戶多村長、鹽田村長、小瀨村長、山方村長、八里村長、五台村長
氏名: 川又福太郎、山田貞成、寺沼武雄、後藤勘次郎、岩上孝太郎、市野澤惣之介、眞崎諒、柴田庄九郎、金子啓介、根本正之介、五十嵐強輔、五位淵齊介、桑名正五郎、川上平衛門、根本信之介

久慈郡
勲八旭 同
氏名: 平山孝太郎、村田弘

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭			會澤八郎兵衛
同		部戸村長	塙維直
同		罄田村長代理者	小泉源四郎
同			和田利八郎
同		中里村長	齊藤勇太郎

多賀郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		坂上村長	佐藤欣一郎
同			大窪定七
同		南中郷村長	大塚義次
同			菊池八次郎
同		關南村長	菊池正夫
同			菊池半兵衛
同		平潟町長	後藤善三郎
同		關本村長	酒井松太郎

鹿島郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		巴村長	井川豐之助
同		新宮村長	池田任
同			齊藤憲常
同		東下村長	野中信平
同			高橋煥一郎
同		沼前村長	海老澤熊之助
同			山口源兵衛
同		德宿村長	小島又兵衛
同		諏訪村長	小沼哲太郎
同		上島村長	田山稔之輔
同		白鳥村長	荒野仁兵衛
同		中野村長	遠峰與右衛門
同			信田善一郎
同		波野村長	大久保甚一郎
同		高松村長	戸田藤助
同		中島村長	沼田直輔

行方郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		麻生町長代理者	河須崎千代松
同			根崎伊三郎
同		津知村長	秋永常七
同		要村長	石橋茂作
同			山野正亮
同			廣原節之助

稻敷郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		莖崎村長	高橋治三郎
同			坂本寅松
同			諸岡藤藏
同		本新島村長	羽生潔
同		奥野村長	富山暢
同		安中村長	平野隆助
同		浮島村長	宮本右太郎
同			淺野逕平

新治郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		志士庫村長	濱野定之助
同			木橋敬之助
同		山ノ莊村長	前野市十郎
同		都和村長	吉田忠右衛門
同		栗原村長	國府田實
同		玉川村長	羅田五郎三郎
同			井坂太右衛門
同			小松崎豐之助
同			小貫寅太郎

筑波郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		鹿島村長	吉田桂次
同			川口鐵之輔
同		筑波町長	原重太郎

眞壁郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		竹島村長	中尾藏之助
同			荒井健藏
同		太田村長	川田泰三郎
同		關本町長	西村喜久次
同		村田村長	尾見半三
同			古田部嚴之佐
同		長讃村長	毛利與三郎
同			宇賀榮壽
同			勝田四郎

結城郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		總上村長	増田六郎
同			杉山泰助
同		江川村長	池田幸之介
同			飯岡德治
同		蠶飼村長	國府田精一
同		豐田村長	荒川榜二郎
同		宗道村長	渡邊朝之介
同			鈴木直三郎
同			坂本庫三郎
同			皆藥浦之助
同			秋葉彌之助
同			木村祜三郎

猿島郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		長須村長	片倉民三郎

北相馬郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭			京坂力之助
同		山王村長	鈴木勇吉
同			猪股五左衛門
同		井野村長	蝶原寅平
同			荒川増郎
同		布川町長	白井春五郎
同		東文間村長	岩戸幸之助
同		北文間村長	淺野太市
同			大鹿利八
同		高須村長	植田宗三郎
同			大澤幸藏
同		相馬町長	秋田靜
同		大井澤村長代理者	海老原郁太郎
同		坂手村長	長塚喜和
同		菅生村長	佐賀安助

○明治三十八年十月四日

久慈郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		染和田村長	河井兵八郎

○明治三十九年一月二十七日

新治郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		元安飾村長	磯山忠太郎

○明治三十七年十月二十八日

北相馬郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲八旭		東文間村長	古田作之助

○明治三十九年四月一日

栃木縣

河内郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇	横川村長	菊地吉藏
同	同	平石村長	直井龜三郎
同	同	穗積野村長	増淵季三郎
同	同	本郷村長	野澤近太郎
同	同	上三川町長	直井久平
同	同	吉田村長	峰岸彌伊茂
同	同		大山又三郎
同	同	明治村長	森田春次
同	同	姿川村長	渡邊新三郎
同	同	城山村長	矢古宇諱一郎
同	同	國本村長	高橋半吾
同	同	富屋村長	入江覺次
同	同	羽黑村長	手塚武三郎
同	同	古里村長	湊定次
同	同	篠井村長	齋藤惣八

上都賀郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇	南押原村長	小林廣作
同	同	鹿沼町長	猪野春吉
同	同	粟野村長	神山太一郎
同	同	西方村長	鮎田祐次郎
同	同	粕尾村長	倉澤源内
同	同	日光町長	藤沼傳郎
同	同	北犬飼村長	佐藤藤平
同	同	北押原村長	黑川佐平
同	同	今市町長	渡邊佐平
同	同	菊澤村長	渡邊順
同	同	落合村長代理者	細川平之進

芳賀郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇		坂入重郎
同	同	大内村長	大塚廣吉
同	同	中村長	篠崎藤太
同	同	長沼村長	井澤太郎
同	同	久下田町長	鶴見清左衛門
同	同	物部村長	豐田平藏
同	同	山前村長	戸川彌三郎
同	同		高松健吉郎
同	同	益子町長	飯塚倹次郎
同	同	七井村長	手塚房吉
同	同	逆川村長	河原傳吉
同	同		矢野久吉
同	同	須藤村長	九石市太郎
同	同	小貝村長	大畑長一郎
同	同	市羽村長	君島熊一郎
同	同	祖母井村長	鹽田彦四郎
同	同	水橋村長	大塚角三郎
同	同	清原村長	坂本吉十郎
同	同		大谷津新三郎

下都賀郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇	豐田村長	生井萬一郎
同	同		梁島松治
同	同	姿村長	若松元三郎
同	同	小山町長	羅田定吉
同	同	大谷村長	中村森三郎
同	同	間々田村長	谷内清一郎
同	同	野木村長	木村治郎左衛門
同	同		海老沼信作
同	同	穗積村長	靑木重藏
同	同	中村長	玉野啓治
同	同		關口德三郎
同	同	赤麻村長	海老沼茂平
同	同	三鴨村長	上岡文右衛門
同	同	岩舟村長	島田源四郎
同	同	小野寺村長	中田喜太郎
同	同	富山村長	白石莊藏
同	同	静和村長	河田周一郎
同	同	赤津村長	柏倉七太郎

鹽谷郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇	矢板町長	坂巻金一郎
同	同	泉村長	渡邊玉三郎
同	同	箒根村長	相馬正直
同	同	玉生村長	石下寅松
同	同	大宮村長	山下喜運
同	同	北高根澤村長	古口軍平
同	同	阿久津村長	若目田晋三郎
同	同	片岡村長	渡邊市次郎
同	同		黑駒清直

那須郡

叙賜（勲等）	賜金	官位勲爵	氏名
勲七旭	五〇	太田原町長	藤田吉亨
同	同		高橋安晉
同	同	佐久山町長	原蕃次郎
同	同	上江川村長	輕部金八郎
同	同	荒川村長	鰕谷塑
同	同	向田村長	岡本長夫
同	同	境村長	佐藤金五郎
同	同		大久保登
同	同	七合村長	關根平藏
同	同		石塚冷次郎
同	同	武茂村長	磯野譴壽
同	同		菊池武夫
同	同	大山田村長	長谷川千次郎
同	同	湯津上村長	杉井學時
同	同	川西町長	益子匡輔
同	同	両郷村長	大平初太郎
同	同	伊王野村長	佐藤兼吉
同	同	芦野町長	渡邊佐太助
同	同	那須村長	鈴木嚴三郎
同	同	鍋掛村長	前田慶吉
同	同	東那須野村長勲八等	江口春治
同	同	狩野村長	相馬芳平
同	同	西那須野村長	品川貞之進
同	同	高林村長	月井兼吉

官報第七千四百二十三號附錄

明治四十一年三月二十八日

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勲章竝ニ年金百圓及勲八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勲八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩澣ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

陸海軍軍人軍屬ニシテ前項ノ賞與ヲ受ケタル者ハ總テ明治三十七八年從軍記章ヲ授與セラル

○明治三十九年四月一日

叙賜（勲等）	賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
旭八等	二〇〇	元砲兵一等卒	根岸恒吉
同	一五〇	元歩兵一等卒	久保井鹿吉
瑞八等	八〇	輜重輸卒	角田與右衛門
同	同	砲兵一等卒	城權植
同	七〇	工兵一等卒	河田松太郎
同	同	輜重輸卒	阿部助藏
同		砲兵一等卒	讃岐秀正
同		同	野中助一

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
四〇	砲兵一等卒	吉口與作
同	輜重輸卒	鬼頭金次郎
同	歩兵一等卒	若杉光五郎
同	砲兵上等兵	島津儀三郎
三五	砲兵助卒	若山富三郎
同	輜重輸卒勲八等	藤山豐松
同	工兵一等卒	水口鶴松
同	歩兵二等卒	神田伊作
同	同	國廣國男
同	同	大津今朝男
同	同	大久保環
同	同	森崎佐太郎
同	同	菊谷岩太郎
同	同	藤原金三郎
六〇	歩兵伍長勲八等	正崎愛吉
三五	歩兵一等卒	園田休次郎
同	砲兵輸卒	安部三之丞
同	同	兵藤兵太
同	砲兵一等卒	伊藤政術
同	歩兵二等卒	佐藤末吉
同	歩兵一等卒	伊勢幸次郎
同	輜重輸卒	渡邊金助
同	同	近藤清吾
同	砲兵二等卒	福井晉治郎
同	歩兵一等卒	澤野久之助
同	同	大家嘉吉
同	歩兵二等卒	竹内熊太郎
六〇	陸軍省雇員	谷本惣太郎
三五	同	永木幸三郎

本欄敍賜ノ項ニ「七級（年金一〇〇）旭八等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金鵄勲章竝ニ年金百圓及勲八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等一五〇」トアルハ同シク勲八等白色桐葉章及金百五十圓ヲ授ケ賜ヒシ者又賜金ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒシ者ナルモ卷帙浩澣ニ渉ルヲ以テ其要略ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

○明治三十九年四月一日

賜金	陸軍官等位勲功爵	氏名
四〇		菊地萬兵衛
同		城戸晉吉

第7423号付録

官報第七千四百二十三號附錄

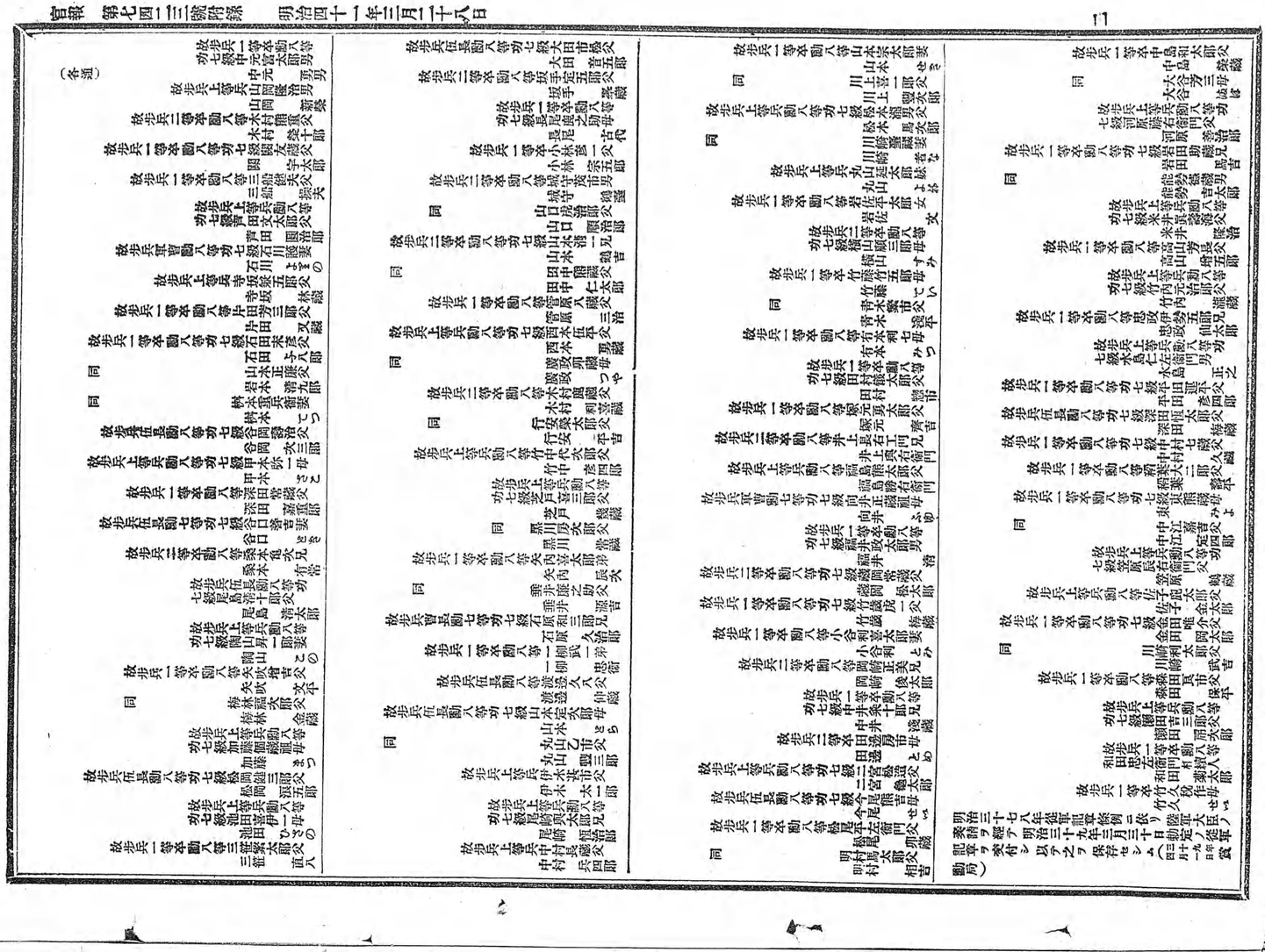
明治四十一年三月二十八日

○辭令

故步兵一等卒來海房太郎父
來海　福次郎
同　足立恒太郎女
足立　フキヱ
故步兵上等兵勳八等桂義雄父
桂　金太郎
故步兵一等卒勳八等谷口佐一郎男
谷口　霸雄
故步兵二等卒勳八等內山福太郎父
內山　久三郎
故步兵上等兵山本豐藏父
山本　兼藏
故步兵一等卒水島熊市妻
水島　けふ
同　藤原春三郎父
藤原　弥三郎
故步兵一等卒勳八等
功七級井上平一郎妻
井上　あさの
故步兵軍曹勳七等功七級仲田長重妻
仲田　しけ
故步兵一等卒手島由太郎父
手島　定太郎
故步兵伍長勳七等田畑德治妻
田畑　千代野
故步兵伍長勳八等功七級武地友太郎男
武地　幸朔
故步兵一等卒有木關三郎父
有木　孫藏
故步兵上等兵勳八等
功七級井上佐之助弟
井上　竹次郎
故步兵一等卒勳八等井上雄治郎弟
井上　詁市
同　香山彌七父
香山　伊平治
故步兵二等卒池田曲太郎父
池田　太平治
故步兵上等兵勳八等渡邊猶一父
渡邊　藤次郎
故步兵上等兵勳八等
功七級速藤幾三郎父
速藤　元次郎
故步兵一等卒勳八等北尾芳次郎父
北尾　勇藏
故步兵伍長勳八等功七級大寺喜之助男
大寺　部

故步兵一等卒勳八等功七級中川正三父
中川　繁治郎
故步兵二等卒勳八等梅木鵜市父
梅木　淺治郎
故步兵一等卒勳八等阿曾春藏妻
阿曾　まさの
故步兵伍長勳七等功七級黑見伊勢松父
黑見　竹次郎
同　森上敬四郎父
森上　勝太郎
故步兵一等卒勳八等
功七級濱田良太郎妻
濱田　まさ
故步兵一等卒足立保太郎母
足立　たけの
故步兵一等卒勳八等功七級野口熊市父
野口　又藏
故步兵二等卒勳八等丸山庄治郎妻
丸山　たけ
同　門脇福榮妹
門脇　おせつ
同　大塚八治父
大塚　元次郎
故步兵一等卒勳八等建井常淸母
建井　はる
故步兵一等卒奧村万太郎父
奧村　鹿太郎
故步兵二等卒勳八等山根文市兄
山根　槌四郎
故步兵一等卒岩藤朝惠父
岩藤　明信
故步兵一等卒勳八等石賀亀次郎姉
石賀　かつの
故步兵上等兵勳八等
功七級金澤萬壽郎妻
金澤　あさの
故步兵一等卒勳八等功七級渡部福市妻
渡部　やすよ
故步兵二等卒勳八等功七級秋田榮重父
秋田　重次郎
故步兵一等卒勳八等石橋菊次郎兄
石橋　榮市
故步兵二等卒阿部武一父
阿部　豐次郎
故步兵上等兵勳八等功七級橋田文一母
橋田　かつの
故步兵一等卒勳八等種田嘉市父
種田　定太郎

故步兵一等卒勳八等
功七級相野與三郎父
相野　榮次郎
故步兵一等卒勳八等和田宇三郎男
和田　定年
同　安田富吉女
安田　よ丨子
故步兵上等兵勳八等功七級稻田貞利男
稻田　政雄
故步兵一等卒勳八等杉山富市父
杉山　吉太郎
同　牧野安太郎弟
牧野　金五郎
同　山本琨二母
山本　きう
同　岩田定壽男
岩田　文太郎
同　笠木梅三郎男
笠木　熊藏
同　小田正夫妻
小田　うた
故步兵二等卒勳八等伊東萬次郎父
伊東　平太郎
故步兵伍長勳七等功七級鹿島貞藏父
鹿島　藤藏
故步兵上等兵勳八等功七級森岡近藏父
森岡　重藏
故步兵一等卒勳八等足賀義隆妻
足賀　つゆの
同　後藤秀太郎妻
後藤　トヨ
同　足立熊次郎父
足立　熊太郎
故步兵二等卒勳八等前田清一郎母
前田　まさ
故步兵伍長勳七等功七級沖田勇父
沖田　眞澄
故步兵上等兵勳八等
功七級山本治郎助父
山本　嘉吉
故步兵一等卒勳八等功七級近藤庄吉兄
近藤　貞造
故步兵二等卒淸水伊三郎男
淸水　常雄
故步兵一等卒勳八等功七級鎌田寅治男
鎌田　十万太
故步兵一等卒勳八等高山林右衛門弟
高山　淸美
同　道廣官左衛門父
道廣　淺太郎
故步兵一等卒勳八等功七級梅本樫治妻
梅本　スミ

同　大西繁太郎男
大西　繁男
故步兵一等卒勳八等龍谷佐與吉妻
龍谷　スカ
故步兵上等兵勳八等宮本瀧太郎男
宮本　榮太郎
故步兵二等卒勳八等佐義市松妻
佐義　コン
故步兵曹長勳七等功七級三宅豐治妹
三宅　幾代
故步兵軍曹勳七等船越萬太郎男
船越　鉄藏
故步兵上等兵勳八等
功七級稻田永太郎父
稻田　庄八
同　黑川保治父
黑川　豐吉
故步兵一等卒勳八等住吉新三郎父
住吉　淸藏
故步兵一等卒勳八等功七級能見作藏妻
能見　かや
故步兵上等兵岡崎淸藏父
岡崎　岩吉
故步兵二等卒勳八等德山辨次郎父
德山　庄藏
故步兵一等卒勳八等功七級中山文市母
中山　ちやう
故步兵伍長勳八等功七級山本豐市母
山本　のぶ
故步兵一等卒勳八等牧野民藏父
牧野　勘吉
故步兵一等卒勳八等功七級田桑鹿造父
田桑　鉄次郎
同　立石太郎吉母
立石　しげ
故步兵一等卒勳八等坂本亦藏兄
坂本　榮藏
同　內田万一妻
內田　いち
故步兵上等兵勳八等功
七級淸友藤左工門母
淸友　起ゟの
故步兵上等兵勳八等中山正勝父
中山　亦三郎
同　近藤岩治郎妻
近藤　あさの
故步兵一等卒勳八等功七級川口耕桑女
川口　恒代
故步兵一等卒勳八等三村永助妻
三村　ヨシ之

第7423号付録